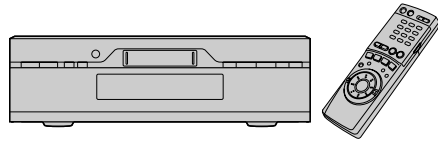


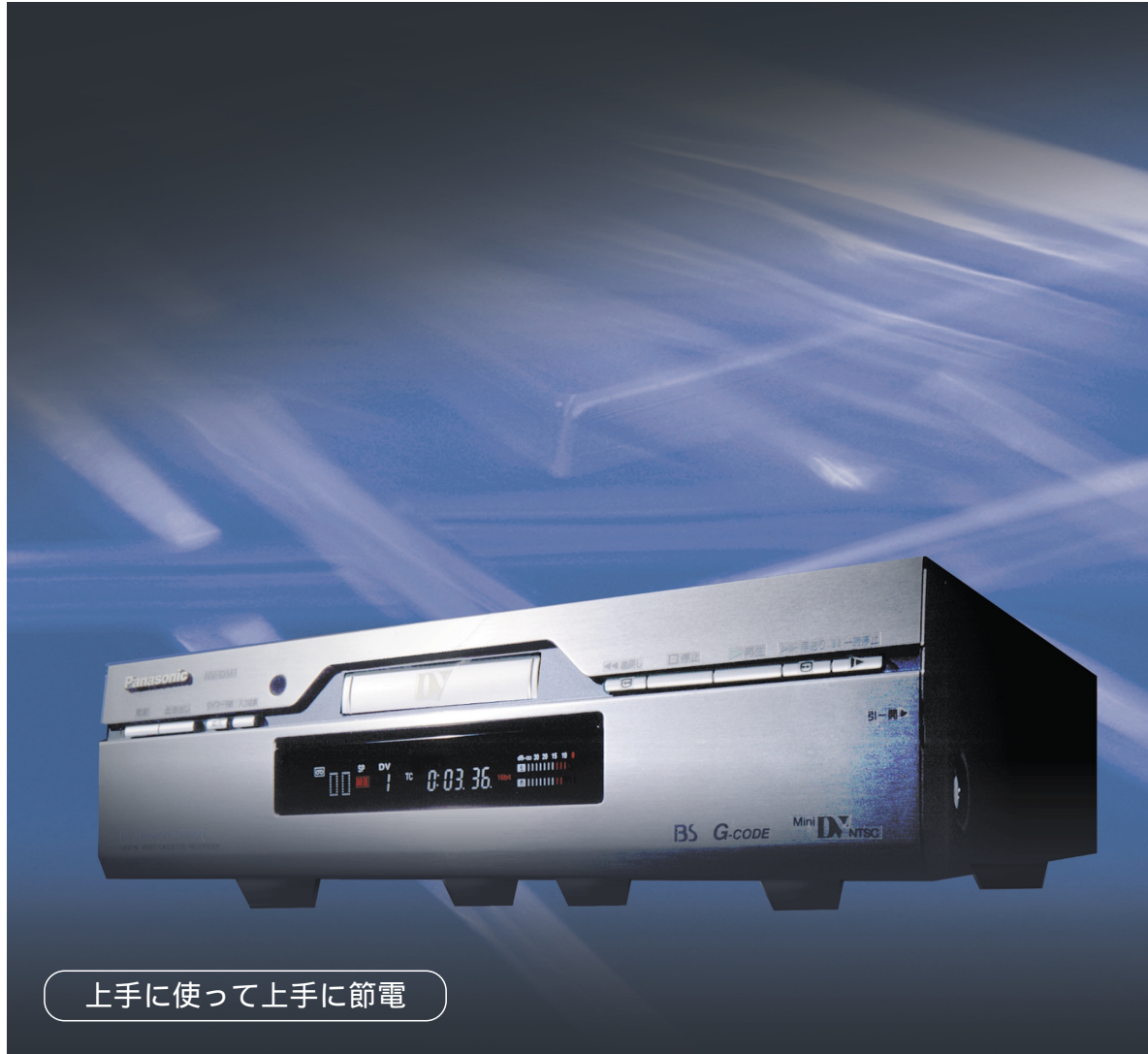
# Panasonic

BSチューナー内蔵 / Hi-Fi (ステレオ) タイプ  
デジタルビデオカセットレコーダー

## 取扱説明書・基本編



品番 NV-DM1



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはデジタルビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

Mini DV NTSC

取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

Gコード®

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT8144-3

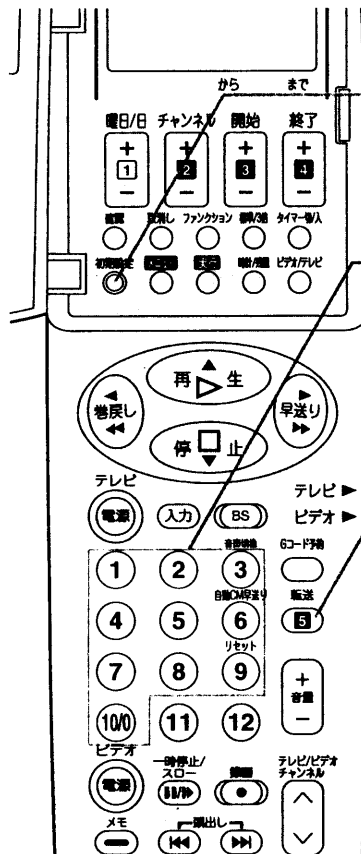
操 作 手 順

市 外 局 番 入 力 チャンネル 設 定

ご使用になる地域の市外局番を入力するだけで、受信チャンネルの設定を行います  
 ご使用になる地域により、あらかじめ決められた放送局を設定し、実際にそのチャンネルで放送が行われているかどうかをビデオが調べ（オートサーチ）、放送のない場合はそのチャンネルをとばし、設定されていない放送局を受信すると、そのチャンネルを記憶します

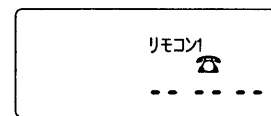
- 準備：●アンテナ・テレビ・BSアンテナなどとの接続や設定が正しく行われていることを確認する。  
 ●テレビにビデオの画面を出す。

操作例：東京都（03）を入力した場合。



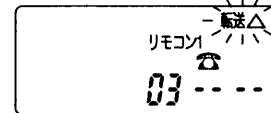
1 リモコン表示部に☎マーク  
を出す

リモコン表示部



- 初期設定ボタンを押す。

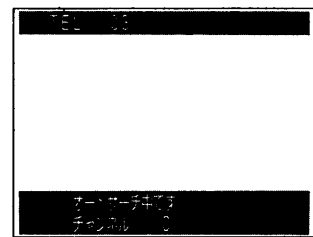
2 市外局番を入力する



- 数字を間違えたときは、ファンクションボタンを押し、最初からやり直してください。

3 転送する

テレビ画面



- テレビ画面に市外局番が表示され、ビデオがオートサーチを始めます。  
 (オートサーチは、約2分間行います)
- オートサーチ終了後は、受信したチャンネルの中で、一番小さな数字のチャンネルポジションを選んだ状態になります。



■オートサーチは、以下の順番に行います

V/Uチャンネル → BSチャンネル → CATVチャンネル  
 (1→2→…→62) (BS1→BS3→…→BS15) (C13→C14→…→C63)

■設定内容を確認するには

本体のチャンネルボタンを押す

- 次々に押し、受信したい放送局すべてがきれいに受信できているかを確認する。
- 電波の状態によっては、きれいに映っているようでも信号がひずんでいたたりノイズを含んでいたたりする場合があります、オートサーチしても正しく受信設定できない場合があります。

■設定内容を変更するには

マニュアルチャンネル設定を行う

- 受信したい放送局が、すべてきれいに受信できるように登録・削除してください。
- ガイドチャンネルの設定も確認してください。(同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されないようご注意ください)
- ノイズがあるときや色が付いていないときは、微調整を行うときれいに受信できる場合があります。

操 作 手 順

マ ニ ュ ア ル 設 定

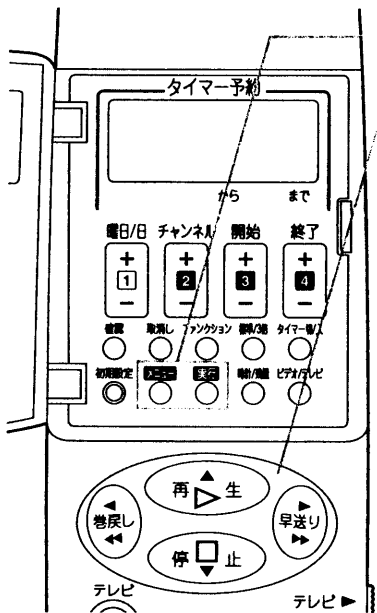
■マニュアルチャンネル設定について

一つ一つのチャンネルポジションについて、受信・表示・ガイドチャンネルなどの設定（登録・削除）・確認を行う方法です

- 「市外局番入力チャンネル設定」ではご希望の設定状態にならないときや、お好みの順番で受信したいときなどに行ってください。
- 「市外局番入力チャンネル設定」を行ったあとの、設定内容の確認・変更も、この「マニュアルチャンネル設定」の手順で行います。

設定の手順は下記の通りです。

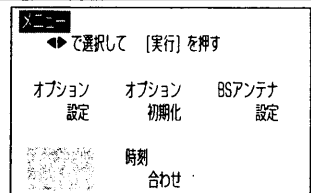
準備：●テレビにビデオの画面を出す。



テレビ画面

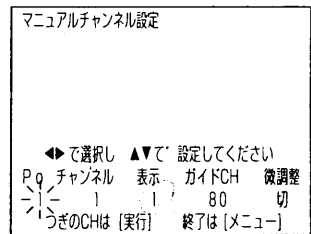
1 マニュアルチャンネル設定の画面にする

メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「マニュアルCH設定」を選び実行ボタンを押す。



2 設定したいチャンネルポジションを選ぶ

◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。



3 各項目の設定を行う

◀▶ボタンで設定する項目を選び、▲▼ボタンで設定する。

4 メニューボタンを押す



■チャンネルポジションとは

選局の順番を示したものです。

- 手順2で、▲ボタンを押すごとに、チャンネルポジションが以下のように変わります。(▼ボタンは逆向き)  
 ▶ V/Uチャンネル ▶ BSチャンネル ▶ CATVチャンネル ▶ 外部入力チャンネル ▶ 拡張チャンネル  
 (1→2...→20) (BS1→BS3...→BS15) (C13→C14...→C63) (ライン1→ライン2→ライン3) (o1→o2...→o7)

- V/Uチャンネル、拡張チャンネルのときは「Po」が、BS・CATVチャンネルのときは「チャンネル」が、外部入力チャンネルの時は「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

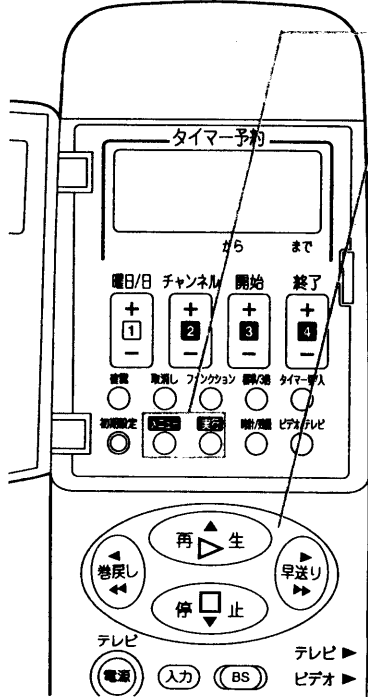
操 作 手 順

マ ニ ュ ア ル 設 定 (つづき)

■チャンネルの設定 (登録)

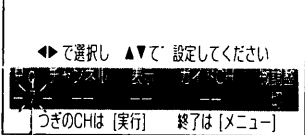
操作例：チャンネルポジション「7」に、TVKテレビを設定する場合。

準備：●テレビに「マニュアルチャンネル設定」の画面を出す。



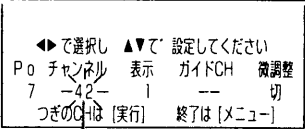
■2つ以上のチャンネルを設定するには  
手順5のあと実行ボタンを押す  
設定したチャンネルポジションの次に大きなチャンネルポジションの設定画面になります。

1 設定するチャンネルポジションを選ぶ  
◀▶ ボタンで「Po」を選び、  
▲▼ ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。



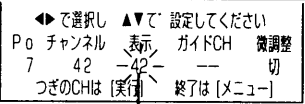
チャンネルポジション

2 受信チャンネルを合わせる  
◀▶ ボタンで「チャンネル」を選び、  
▲▼ ボタンで受信チャンネルを合わせる。  
(V/Uチャンネルのみ設定します)



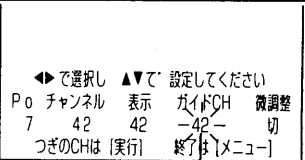
受信チャンネル

3 表示チャンネルを合わせる  
◀▶ ボタンで「表示」を選び、  
▲▼ ボタンで表示チャンネルを合わせる。



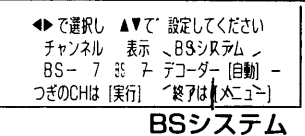
表示チャンネル

4 ガイドチャンネルを合わせる  
◀▶ ボタンで「ガイドCH」を選び、  
▲▼ ボタンでガイドチャンネルを合わせる。  
(BS・外部入力チャンネルは設定しません)



ガイドチャンネル

5 ■BSチャンネルのみ設定します  
BSシステムを合わせる  
◀▶ ボタンで「BSシステム」を選び、  
▲▼ ボタンで合わせる



BSシステム

6 メニューボタンを押す



■チャンネルポジションの表示について

「Po」はV/U・拡張チャンネルのときの表示です。BS・CATVチャンネルは「チャンネル」が、外部入力チャンネルは「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

■表示チャンネルについて

BS・CATV・外部入力チャンネルのときは、表示チャンネルの変更はできません。

■ガイドチャンネルについて

「ガイドチャンネル一覧表」 をご参照ください。

■BSシステムについて

デコーダー自動： スクランプル放送・ハイビジョン放送の受信時のみ、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターを働かせるとき

デコーダー入： 独立音声のセントギガも契約しているとき

デコーダー切： BSデコーダーおよびM-Nコンバーターを接続していないとき

M-Nコンバーター： デコーダー自動では、M-Nコンバーターを接続してもハイビジョン放送が受信できないとき

●M-Nコンバーターに設定すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の表示に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。

必ずお読み  
ください

安全上のご注意 .....6  
 使用上のお願い .....12

準備

各部の名前と働き .....14  
 本体前面 .....14  
 本体後面 .....16  
 ビデオ表示部 .....17  
 リモコン .....18  
 付属品 .....22

設置 .....23  
 設置の手順 .....23  
 アンテナ線やテレビと接続する .....24  
 正しく接続できたことを確認する .....25  
 時刻の表示を確認する .....25  
 アンテナ線の加工が必要なとき .....26  
 BS アンテナを接続する .....28  
 BS アンテナに電源を送る .....29  
 受信チャンネルの設定 .....30  
 受信チャンネル設定の手順 .....30  
 市外局番入力チャンネル設定 .....30  
 市外局番入力チャンネル設定一覧表 (VHF / UHF) .....32  
 マニュアルチャンネル設定 .....34  
 「マニュアルチャンネル設定」画面を出す .....34  
 VHF / UHF チャンネルを登録する .....35  
 BS チャンネルを登録する .....36  
 CATV チャンネルを登録する .....37  
 不要なチャンネルを削除する .....38  
 映りの悪いチャンネルの微調整をする .....39  
 ガイドチャンネル一覧表 .....40  
 最初から設定をやり直す .....41

カセットの入れかた/出しかた .....42  
 音声について .....43  
 再生中の音声を選ぶ .....44  
 記録する音声を選ぶ .....45

再生/録画

テレビにビデオの画面を出す .....46  
 早送り/巻き戻しする .....46  
 再生 .....47  
 テープを再生する .....47  
 スロー再生/早送り/巻き戻し再生 .....47  
 速度を変えて再生する .....48  
 CMをとばして見る (自動CM早送り再生) .....49  
 録画 .....50  
 テレビ番組を録画する .....50  
 録画の終了時刻を予約する (終了時刻予約録画) .....51

静止画や動画を設定した時間だけ録画する (ワンカット録画).....52  
 外部機器とつなく .....54  
 外部機器から録画する (外部入力録画) .....56  
 リモコンを使って簡単にダビングをする (ワンタッチダビング)...57

予約録画

予約録画 .....60  
 Gコードで予約する (Gコード予約) .....60  
 予約チャンネルが選ばれないとき .....61  
 番組を指定して予約する (フリーセット予約) .....62  
 予約内容を確認する .....64  
 予約内容を取り消す .....64  
 予約録画の待機を一時解除する .....65  
 予約録画を途中でやめる .....65  
 予約チャンネルをとばす (予約チャンネル表示設定) .....66

BS/CS  
/CATV

BS・CS・CATV .....67  
 BS放送を見る .....67  
 BS放送の音声を切り換える .....67  
 WOWOWを見るために .....68  
 St. GIGAと受信契約された方 .....69  
 ハイビジョン放送を見るために .....70  
 WOWOWとハイビジョン放送を見るために .....72  
 デジタルCS放送を見るために .....74  
 CATV放送を見るために .....76

便利な機能

場面やフォトショット画像を頭出しする  
(インデックスサーチ/フォトサーチ) ..... 78  
 指定した場面に戻る(ゼロストップ) ..... 80  
 複数の当社製ビデオを使用するとき(リモコンモード設定) ..... 81  
 テレビを操作する(テレビメーカー設定/今すぐ再生) ..... 82  
 ビデオプリンターにつないで使う ..... 84  
 パソコンにつないで使う ..... 86  
 表示について ..... 88  
 ビデオの機能を変更する(オプション設定) ..... 90

その他

時刻を合わせ直す ..... 92  
 自己診断表示機能(サービス番号) ..... 93  
 困ったとき!? ..... 93  
 別売品 ..... 99  
 索引 ..... 100  
 仕様 ..... 101  
 保証とアフターサービス ..... 102

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

この取扱説明書に記載されている付属品、及び別売品の標準価格や品番は、1999年5月現在のものです。標準価格には、消費税や工事代などは含まれていません。

録画するとき

著作権保護のための信号が記録されているソフトは、本機での録画はできません。このようなソフトの映像・音声信号を本機で録画しようとすると、テレビ画面に警告表示が出て停止します。著作権保護のための信号が記録されている放送を予約録画すると、録画の動作をしますが、右の写真のようなモザイク状の映像が記録され、音声は記録されません。



再生するとき

本機で再生されるソフトに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限される場合があります。

取扱説明書は、最後までよくお読みください。

本機で使用できるカセット

DV規格対応のMini DV<sup>TM</sup>マークの付いたDVミニカセットが使用できます。

DV<sup>TM</sup>マークの付いた標準カセットは使用できません。DVCPROや、DV CAMの方式で録画したテープは、正常に再生できません。

S-VHS(VHS)/8ミリカセットは使用できません。デジタルビデオはデジタル信号を記録しているため、従来のアナログ信号を記録しているS-VHSビデオやVHSビデオ、8ミリビデオなどとは互換性がありません。

二度と録画できないような大切な録画の場合は、事前にためし録りをし、正しく録画・録音できることを確かめておいてください。

本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

i.LINKは国際規格IEEE1394-1995仕様の呼称です。

■は、i.LINKに準拠した商品に付けられるロゴです。

本文中の用語や機能の詳細、関連項目のページは、(☞数字)で示しています。

本機の特長

デジタル記録による高画質・高音質

映像・音声を劣化のほとんどないデジタル信号で記録します。

長時間記録(LP)モードでも、高画質のまま録画できます。(LPモードで録画されたテープには、インサート、アフレコなどの編集はできません)

ワンカット録画機能

デジタルビデオカメラやデジタルスチルカメラで記録した画像(静止画や動画)を、記録時間を設定して録画し、アルバムのように編集ができます。(記録時間は3秒~20秒まで1秒単位で設定ができます)

ワンタッチダビング機能

編集制御端子のないビデオとでも、本機のリモコンを使って、簡単にダビング操作ができます。(ご使用のビデオによっては、正しく操作できない場合があります)

ビデオプリンター連動機能

(くわしくは、84ページをごらんください) 当社製のビデオプリンターと接続すると、ボタン一つで高画質の画像をプリントできます。

パソコンとの連動機能

(くわしくは、86ページをごらんください) 別売のデジカム用パソコン静止画キットを使用すると、パソコンと接続して、画像データの伝送ができます。パソコン側から本機の操作(再生など)もできます。

DV端子

「DV端子」で接続すると、高画質・高音質のデータをデジタル信号のまま入出力できます。ダビングを行っても、画質の劣化はほとんどありません。

豊富な編集機能



(くわしくは、別冊の「編集編」をごらんください) ビデオやビデオカメラを制御できる編集制御端子(DV端子、システムE端子、8ミリコントロール端子)に接続すると、本機から相手機をコントロールしながら、インサート編集、アフレコ編集などを行うことができます。編集したい場面を登録して自動的に編集するプログラム編集など、目的や接続する機器に応じて3種類の編集方法が選べます。

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「重傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」(P6～11)に記載のビデオのイラスト(姿図)はイメージイラストであり、ご購入のビデオとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

## 警告

### 異常が発生したときは、使うのをやめてください

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

販売店にご相談ください。

お客様による修理は絶対におやめください。

煙が出ている、異常に熱い、こげくさいにおいがするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

内部に水や異物が入ったときやキャビネットが破損したときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

## 警告

### 分解や改造をしない



分解禁止

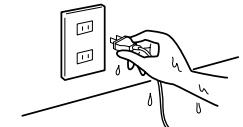


分解、改造は火災・感電・故障につながります。  
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

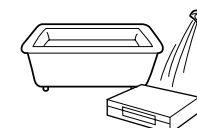


感電につながります。  
必ず、かわいた手で持ってください。

### 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止



ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。  
水が入ったと思われるときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

### 指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使わない また、配線器具の定格をこえる使いかたをしない



禁止



たこ足配線などの場合も、過電流により発熱し、火災・故障につながります。  
接続する前に、指定の電源電圧値の範囲に適合しているか、もう一度確かめてください。

### 内部に金属物や燃えやすいものを入れない



禁止

ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。  
乳幼児にご注意ください。

### 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない



接触禁止

落雷すると、誘電雷により感電につながります。

## 警告

電源プラグは、根元までしっかりと接続する



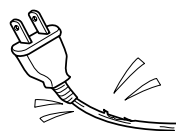
不完全な差し込みは、接触不良で発熱し、火災・感電につながります。  
いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。  
プラグは時々点検してください。

電源プラグのほこりなどは取る



プラグにほこりや金属物が付いていると、湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。  
プラグを抜き、かわいた布でふいてください。  
プラグは時々点検してください。

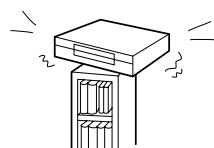
電源コードやプラグを破損させない



無理な折り曲げ、ねじり、束ね、引っ張り、加工、熱器具への接近、角の当たったものや重いものの下敷きなどになると、電源コードが破損し（芯線が見えているなど）、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない



頭の上に落下すると、けがにつながるだけでなく、製品の故障にもつながります。

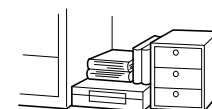
コード類が下に垂れないように注意し、安定したところに置いてください。

## 注意

風通しの悪いところ、狭いところに置かない



禁止



内部に熱がこもり、高温になると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

次のような使いかたはしないでください。

押し入れ、本箱など風通しの悪い所に押し込む。

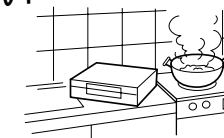
テーブルクロスをかける。

じゅうたんや、ふとんの上に置く。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない



禁止



ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。

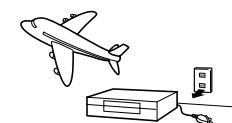
（特に、湿度が高くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です）

費用についても、そのときお確かめください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



お手入れの際に誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。

（テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください）

コード類を接続したまま移動させない



禁止

コード破損の原因となり、破損したまま使用すると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。

電源コード（他のコードを接続している場合も）が引っ張られるときは、接続を外してから移動させてください。

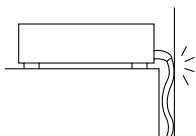


## ⚠️ 注意

電源コードが無理に曲げられるような設置はしない



禁止



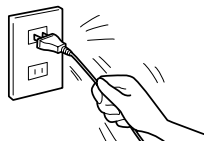
電源コードが破損し、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。

風通しをよくするためにも、後面は壁から10cm以上離してください。

電源コードを持って抜かない



禁止



コード破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

必ず、電源プラグを持ってください。

アンテナ工事には技術と経験が必要です



アンテナが倒れた場合、けがや感電をするおそれがあります。

送配電線から離れた場所に設置してください。

販売店にご相談ください。

本機の上に、重いものを置いたり、乗ったりしない



禁止



倒れたり落下などしてけがをするおそれがあります。

また、重量でキャビネットが変形して内部部品が破損し、火災・故障の原因となるおそれがあります。

乳幼児にご注意ください。

カセット入れ口(カセット収納部)に指をはさまれないよう注意する



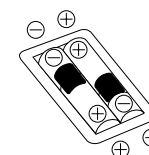
指に注意

はさまれたり、内部の金具にふれると、けがをするおそれがあります。

乳幼児にご注意ください。

## ⚠️ 注意

電池は、 $\oplus$ ・ $\ominus$ (極性表示といいます)を確かめ、正しく入れる



間違えると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、けがをするおそれがあります。

充電式電池や指定以外の電池は使わない



禁止

指定以外を使うと、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない



禁止



液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

新しい電池と古い電池、性能の異なる電池など、まぜて使わない



禁止

まぜると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池の $\oplus$ ・ $\ominus$ 部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



禁止



接触すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電池が液もれしたときは：

万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

## 使用上のお願い

ビデオやカセットは、温度や湿度などの周囲の環境の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

### カセットの扱いかた

落としたり、激しい振動を与えたりしない

ジュースや水など、液体をかけたりこぼしたりしない

このようなテープを使用すると、テープが切れたりカセットが取り出せなくなる場合があります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、ビデオの故障の原因となります。

使用後は、テープを始端まで巻き戻し、ケースに入れ、立てて保管する

次のような所に置いたり、保管したりしない

ほこりの多いところ

高温になるところ（推奨温度：15 ～ 25 ）

温度差が激しいところ

湿度の高いところ（推奨湿度：40%～60%）

湿気や油煙の出るところ

冷暖房機器に近いところ

自動車のダッシュボードの中など

急激な温度の変化や湿度の高いところでの保管・使用は、「つゆつき」の原因となります。つゆつきについては、右の欄をお読みください。

強い磁気を持ったもの（スピーカーなど）を近づけない

映像や音声にノイズが入ることがあり、磁気の影響が大きいときには、大切な記録が損なわれることがあります。

### つゆつきについて

「つゆつき」とは

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、その表面に水滴（つゆ）が発生します。このような現象を「つゆつき」と言います。急激な温度差の影響を受けると、ビデオの内部やカセットテープにも「つゆつき」が起こります。

「つゆつき」が起こりやすいときは

梅雨の時期

ビデオやカセットを、寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき

寒い部屋を急に暖房で暖めたとき

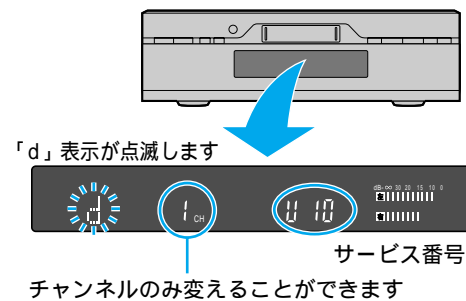
エアコンの冷風が、ビデオやカセットに直接当たっているとき

湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき

「つゆつき」が起こったら

ビデオの電源プラグをコンセントにつないでいる状態で、ビデオの電源が自動的に「入」になり、ビデオ本体表示部に「d」の表示が点滅し、サービス番号「U10」（㊦93）と表示されます。

（d：dew / つゆの頭文字です）



カセットを取り出したあと、そのままの状態ですべて「d」や「U10」が消えるまで（約2時間程度）放置してください。

（テープやヘッドなどを保護するため、「チャンネルボタン」と「取出し」ボタン以外の操作は受け付けなくなります）

ビデオの設置をした直後は

「つゆつき」が起こりやすい状態ですので、ビデオが周囲の温度になじむまで（約2時間程度）、ビデオの電源を「入」にしたまま放置してください。

### ビデオの取り扱いについて

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近づけないでください

映像・音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

長期間（約1カ月以上）使用しないときは

電源プラグをコンセントから抜いてください。

ビデオが電源コンセントに接続されていると、ビデオの電源を「切」にしても約4.5ワットの電力を消費しています。

ビデオの機能を保つため、1カ月に1度くらいは再生などをして、テープを走行させてください。

キャビネットがよごれているときは

電源プラグをコンセントから抜き、かわいたやわらかい布でキャビネットをふいてください。

よごれがひどいときは

台所用洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってからよごれをふき取ってください。そのあと、かわいた布で仕上げてください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

### ヘッドよごれについて

ビデオヘッドがよごれてくると

再生画面上に部分的にモザイク状のノイズが出たり、画面全体が黒くなったりします。また、よごれがひどくなってくると、正常に録画できなくなります。このようなときは、付属のビデオヘッドクリーナーVFK1449S（㊦22）で、ヘッドをクリーニングしてください。

テレビ画面



テレビ画面



モザイク状のノイズが出たり、画面全体が黒くなります。（未録画部分の再生時も、画面全体が黒くなります）

ビデオヘッドクリーナーは、説明書をよく読んでからご使用ください。

クリーニングしても、再びヘッドよごれが起こった場合は、テープに起因している可能性がありますので、このテープの使用を避けてください。

ご使用前には、必ずテープの品質をお確かめください

下記のような品質の悪いテープを使用すると、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品をよごしたり傷付けたりして、故障の原因ともなります。

ほこりやカビなどでよごれたテープ

ジュースや水などの液体が付いたテープ

波打ったりクシャクシャになっているテープ

セロハンテープでつなぐなど、加工されたテープ

たるんでいるテープ

準備

使用上のお願い

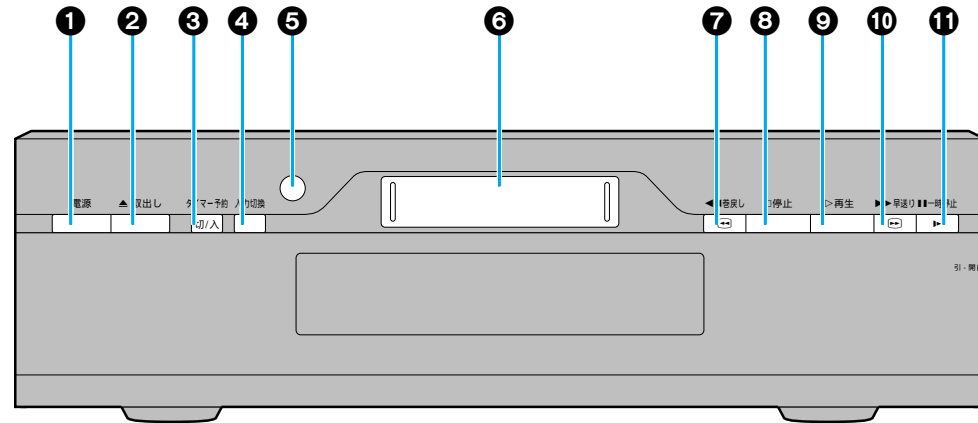
## 各部の名前と働き（本体）

ここでは、主な機能や操作内容について説明しています。

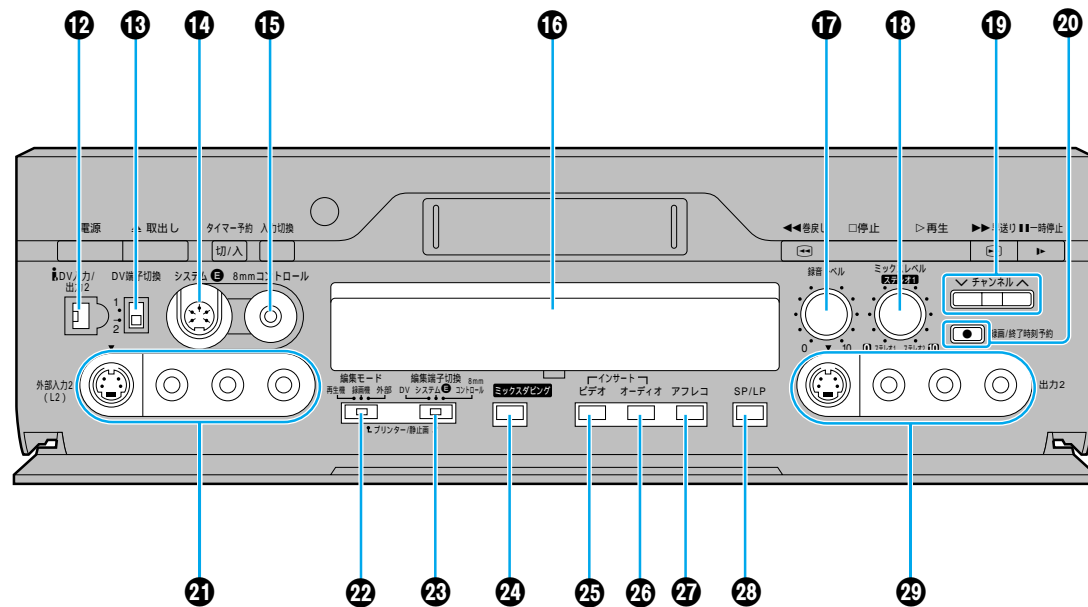
くわしくは、関係するページをお読みください。

本書では、リモコンでの操作を中心に説明していますが、一部を除き、同じ名称のボタンであれば、本体のボタンでも同様の操作ができます。

### 本体前面



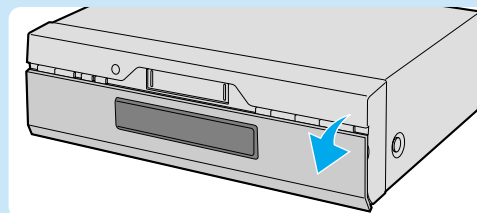
### とびらを開けたところ



#### 正面とびらの開けかた

とびら右上にある「引開▶」を手前に引いてください。

とびらを閉じるときは、「録音レベル」つまみと、「ミックスレベル/ステレオ1」つまみが、本体の中に押し込まれていることを確認してください。

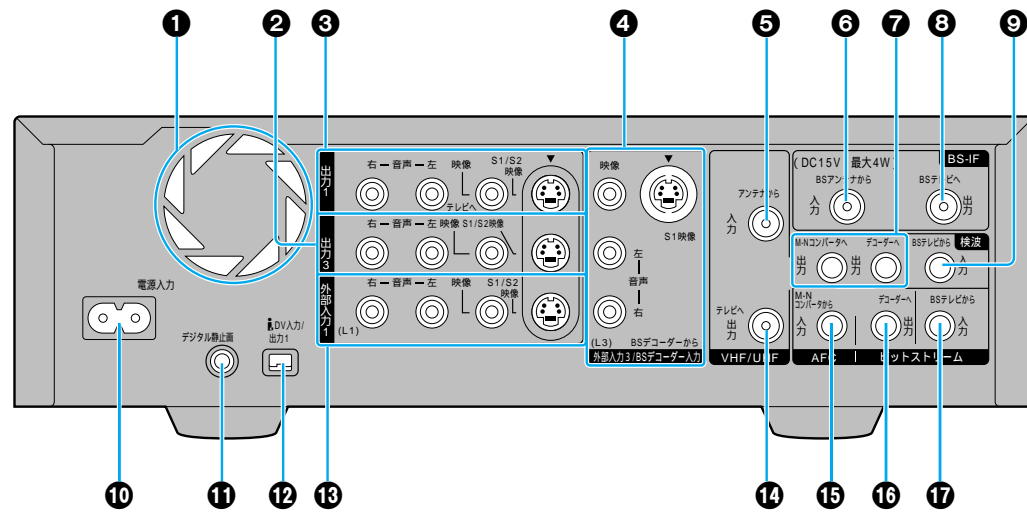


- ① 電源ボタン（㊦46）
- ② 取出しボタン（㊦42）  
カセットを取り出すとき。
- ③ タイマー予約切/入ボタン（㊦65）  
予約録画を解除するときなど。
- ④ 入力切換ボタン（㊦56）  
外部入力チャンネルを選ぶとき。
- ⑤ リモコン受信部（㊦20）
- ⑥ カセット入れ口（㊦42）
- ⑦ 巻戻しボタン（㊦46）  
テープを巻き戻すとき。
- ⑧ 停止ボタン  
再生や録画を止めるとき。
- ⑨ 再生ボタン（㊦47）  
ビデオを見るとき。
- ⑩ 早送りボタン（㊦46）  
テープを早送りするとき。
- ⑪ 一時停止ボタン（㊦47）  
再生画面を止めたり、スロー画面を見る  
とき、録画を一時停止させるとき。
- ⑫ DV入力/出力2端子（㊦54、55）  
デジタルビデオ機器の「DV端子」と接続  
するところ。
- ⑬ DV端子切換スイッチ（㊦55）  
機器を接続したDV端子を選ぶところ。
- ⑭ システム端子（㊦84、編集編）  
機器をつないで編集を行うときなど。
- ⑮ 8mmコントロール端子（㊦編集編）  
機器をつないで編集を行うとき。
- ⑯ ビデオ表示部（㊦17）
- ⑰ 録音レベルつまみ（㊦45）  
録音レベルの調節をするとき。  
押して、つまみを出してから調節してく  
ださい。
- ⑱ ミックスレベル/ステレオ1つまみ  
（㊦44、編集編）  
音声を調節するとき。（12bit音声モード  
で記録されたテープ再生時のみ）  
押して、つまみを出してから調節してく  
ださい。
- ⑲ チャンネルボタン（㊦50）  
ビデオのチャンネルを切り換えるとき。
- ⑳ 録画/終了時刻予約ボタン（㊦50、51）  
録画をするとき。録画中に押すと録画の終  
わる時刻を予約できます。
- ㉑ 外部入力2（L2）端子（㊦54）  
外部機器からの映像・音声信号を受けると  
ころ。
- ㉒ 編集モード切換スイッチ  
（㊦84、86、編集編）  
機器とつないで編集をするとき。
- ㉓ 編集端子切換スイッチ  
（㊦84、86、編集編）  
機器とつないで編集をするとき。
- ㉔ ミックスダビングボタン（㊦編集編）  
ミックスダビングをするとき。アフレコボ  
タンを押したあとに押すと、ボタンが点灯  
します。
- ㉕ ビデオインサートボタン（㊦編集編）  
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でビデオ  
インサート、AVインサートをするとき。
- ㉖ オーディオインサートボタン（㊦編集編）  
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でオーデ  
ィオインサート、AVインサートをする時  
き。
- ㉗ アフレコボタン（㊦編集編）  
ダイレクト編集、ワンタッチ編集でアフレ  
コ、ミックスダビングをするとき。
- ㉘ SP/LPボタン（㊦50）  
テープ速度を変えるとき。
- ㉙ 出力2端子（㊦55）  
外部機器に本機の映像・音声信号を送ると  
ころ。

## 各部の名前と働き (本体)

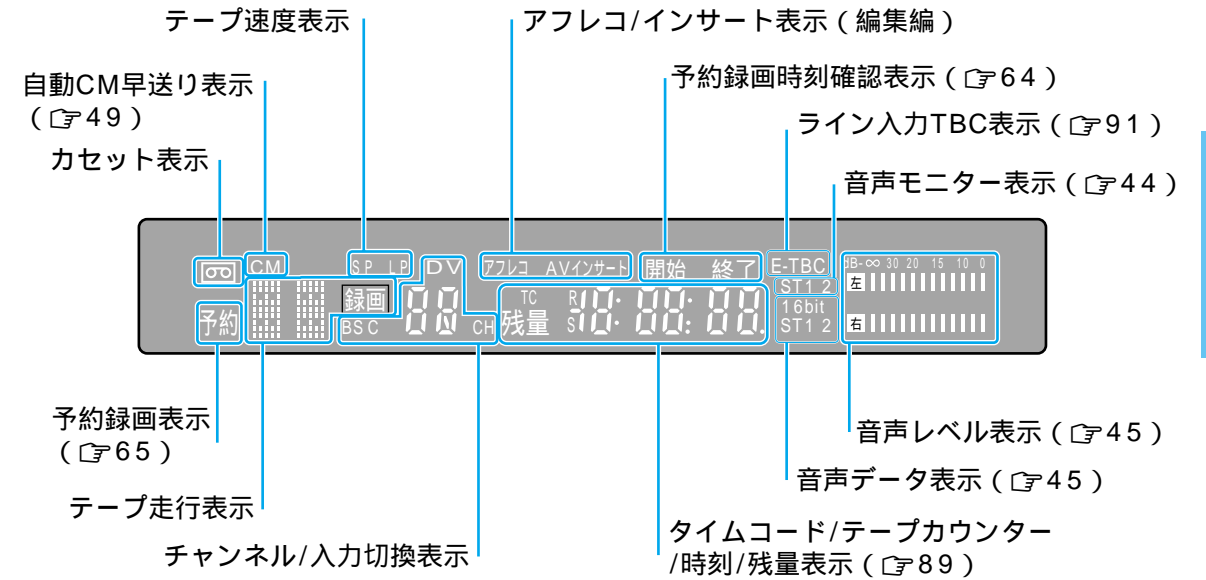
くわしくは、関係するページをお読みください。

### 本体後面

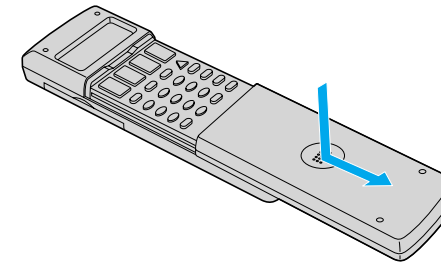



- ① 内部冷却用ファン
- ② 出力3端子 (☞55)  
外部機器に本機の映像・音声信号を送るところ。
- ③ 出力1端子 (☞24、55)  
テレビに映像・音声信号を送るところ。
- ④ 外部入力3/BSデコーダ入力端子 (☞54、68、70、72)  
外部機器、またはBSデコーダやM-Nコンバーターの「出力」端子と接続するところ。
- ⑤ VHF/UHF入力端子 (☞24)  
VHF/UHFアンテナ線を接続するところ。
- ⑥ BS-IF入力端子 (☞28)  
BSアンテナ線を接続するところ。
- ⑦ 検波出力端子 (☞68、70、72)  
BSデコーダや、M-Nコンバーターに検波信号を送るところ。
- ⑧ BS-IF出力端子 (☞28)  
テレビの「BSアンテナ入力端子」と接続するところ。
- ⑨ 検波入力端子 (☞68、70、72)  
BSチューナー内蔵テレビからの検波信号を受けるところ。
- ⑩ 電源入力 (☞24)
- ⑪ デジタル静止画端子 (☞86)  
パソコンと接続するところ。
- ⑫ DV入力/出力1端子 (☞54、55)  
デジタルビデオ機器の「DV端子」と接続するところ。
- ⑬ 外部入力1(L1)端子 (☞54)  
外部機器からの映像・音声信号を受けるところ。
- ⑭ VHF/UHF出力端子 (☞24)  
テレビの「VHF/UHFアンテナ入力」端子と接続するところ。
- ⑮ AFC入力端子 (☞70、72)  
M-NコンバーターからのAFC信号を受けるところ。
- ⑯ ビットストリーム出力端子 (☞68、72)  
BSデコーダにビットストリーム信号を送るところ。
- ⑰ ビットストリーム入力端子 (☞68、72)  
BSチューナー内蔵テレビからのビットストリーム信号を受けるところ。

### ビデオ表示部



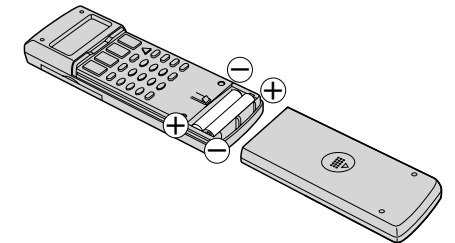
### リモコンうら面のカバーの開けかた



カバーの「」部を押さえながら、手前に引く

### リモコンの電池の入れかた

リモコンうら面のカバーをはずして、単4形アルカリ電池2本(付属)を図のように正しく入れてください。



「ジョグ/シャトル」ボタンを押しても、ボタンが点灯しなくなったら、電池を交換してください。(ジョグ/シャトルの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります) 交換電池は単4形アルカリ電池をおすすめします。電池交換後、ビデオやテレビが操作できなくなっているときは、リモコンモード(☞81)やテレビメーカー番号(☞82)を合わせ直してください。ニッケルカドミウム(Ni-Cd)は充電式電池です。使用しないでください。不要となった電池は、不燃物ゴミとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

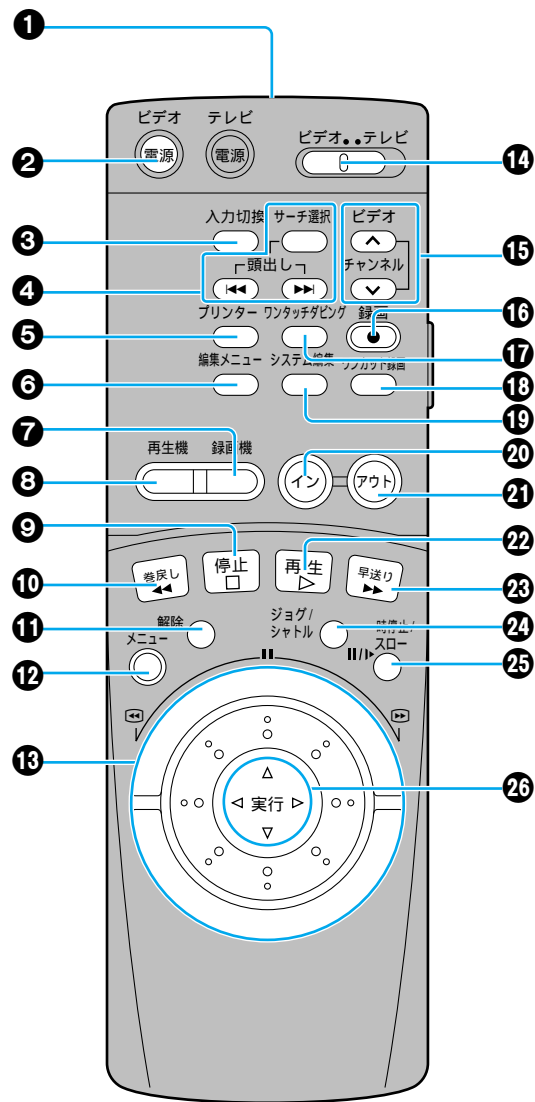
準備

各部の名前と働き(本体後面)

# 各部の名前と働き (リモコン)

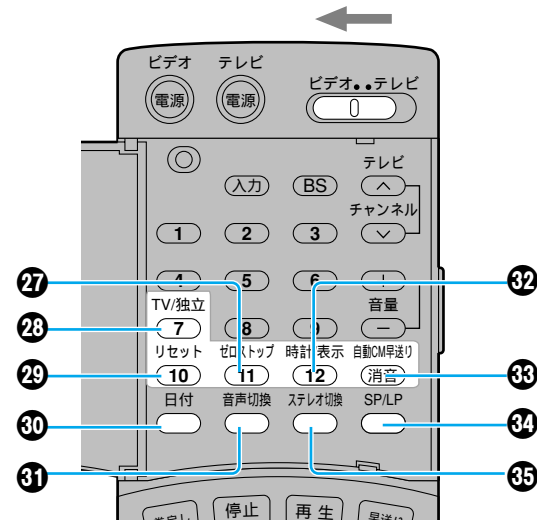
くわしくは、関係するページをお読みください。

## リモコン (おもて面・とびらをとじたところ)



## (おもて面・とびらを開いたところ)

27 ~ 29、32、33 の操作をするときは、ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にしてください。



## ビデオ操作部

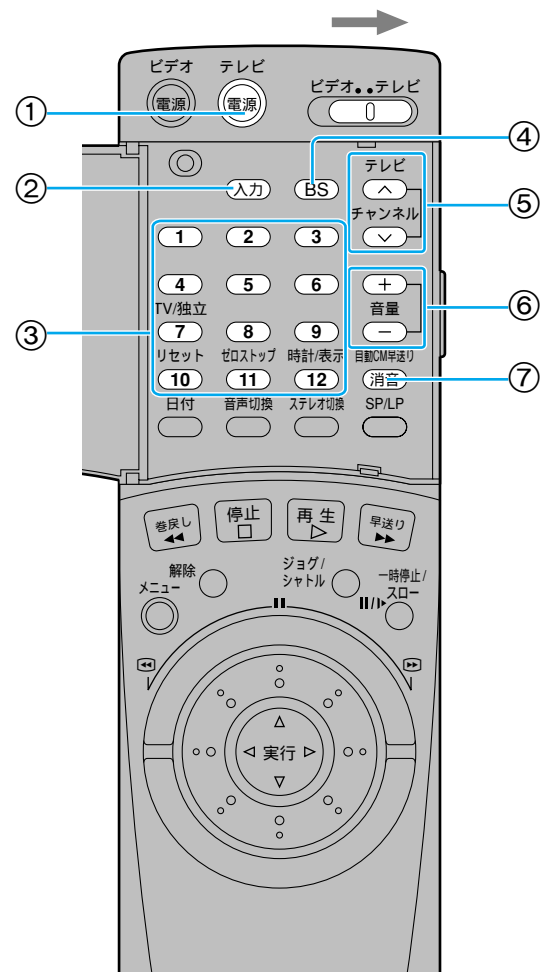
- 1 リモコン送信部 (P.20)
- 2 ビデオ電源ボタン
- 3 入力切換ボタン (P.56)  
ビデオの外部入力チャンネルを選ぶとき。
- 4 サーチ選択/頭出しボタン (P.78)  
見たい場面を探すとき。
- 5 プリンターボタン (P.85)  
プリンターにつないで使うとき。
- 6 編集メニューボタン (P.編集編)  
編集メニュー画面を出すとき。
- 7 録画機ボタン (P.編集編)  
録画機を操作するとき。
- 8 再生機ボタン (P.編集編)  
再生機を操作するとき。

- 9 停止ボタン  
再生や録画を止めるとき。
- 10 巻戻しボタン (P.46)  
テープを巻き戻すとき。
- 11 解除ボタン (P.編集編)  
各編集モードを解除するとき。
- 12 メニューボタン (P.34、90)  
メニュー画面を出すとき。
- 13 ジョグ/シャトル (P.48)  
ジョグ/シャトルボタンを押して、ボタンを点灯させたあと操作することができます。  
ジョグダイヤル (内側) : コマ送り/コマ戻し再生をするとき。  
シャトルリング (外側) : 再生の速度を変えるとき。
- 14 ビデオ/テレビ操作切換スイッチ  
通常は「ビデオ」側にして使用してください。
- 15 ビデオチャンネルボタン (P.50)  
ビデオのチャンネルを切り換えるとき。
- 16 録画ボタン (P.50)  
録画をするとき。
- 17 ワンタッチダビングボタン (P.59)  
ワンタッチダビングをするとき。
- 18 ワンカット録画ボタン (P.52)  
ワンカット録画をするとき。
- 19 システム編集ボタン (P.編集編)  
システム編集メニューを出すときや、前画面に戻る時。システム編集を停止させるとき。
- 20 インボタン (P.編集編)  
プログラム編集で編集開始点を決定するとき。
- 21 アウトボタン (P.編集編)  
プログラム編集で編集終了点を決定するとき。
- 22 再生ボタン (P.47)  
ビデオを見る時。
- 23 早送りボタン (P.46)  
テープを早送りするとき。
- 24 ジョグ/シャトルボタン (P.48)  
ジョグダイヤルやシャトルリングを操作するとき。押すと、点灯します。
- 25 一時停止/スローボタン (P.47)  
再生画面を止めたり、スロー画面を見るとき、録画を一時停止させるとき。
- 26 スティック/実行ボタン  
◁▷△▽ : メニュー画面のカーソルや選択項目を移動させるとき。動かすときは、選びたい方向にボタンを傾けてください。  
実行 : ◁▷△▽ で選んだ項目を決定するときなど。押すときは、ボタンの中心を強く押してください。
- 27 ゼロストップボタン (P.80)  
ゼロストップ機能で、テープカウンターのゼロ付近に戻るとき。
- 28 TV/独立ボタン (P.67)  
BS放送の音声を切り換えるとき。
- 29 リセットボタン (P.80)  
テープカウンターを「0:00.00」にするとき。
- 30 日付ボタン (P.89)  
日付などの表示を切り換えるとき。
- 31 音声切換ボタン (P.44)  
ステレオ音声の「右」と「左」、二重音声の「主」と「副」を切り換えるとき。
- 32 時計/表示ボタン (P.80、89)  
テレビ画面やビデオ表示部の表示を変えるとき。
- 33 自動CM早送りボタン (P.49)  
自動CM早送りをするとき。
- 34 SP/LP ボタン (P.50)  
テープ速度を変えるとき。
- 35 ステレオ切換ボタン (P.44)  
ステレオ1音声とステレオ2音声を切り換えるとき。(12bit音声記録テープの再生時)

準備  
各部の名前と働き (リモコン)

# 各部の名前と働き (リモコン) つづき

## リモコン (おもて面・とびらをあけたところ)



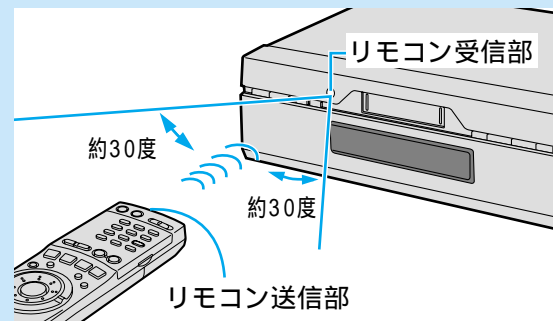
### テレビ操作部

テレビの操作をするには、リモコンのテレビメーカー番号を、ご使用のテレビのメーカー番号を合わせておく必要があります (㊦82)。  
③、⑦の操作をするときは、**ビデオ/テレビ**操作切換スイッチを「テレビ」側にしてください。

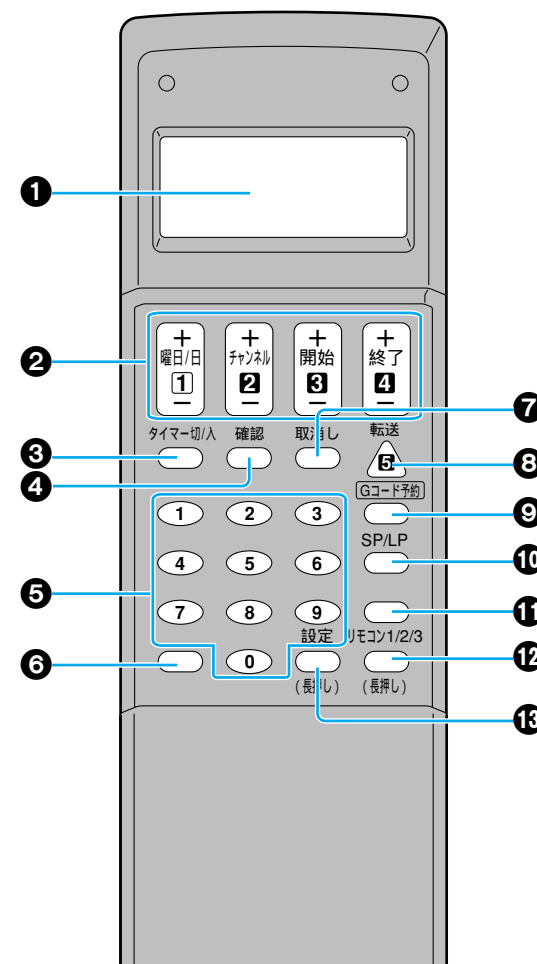
- ① **テレビ電源**ボタン (㊦46)
  - ② **入力**ボタン (㊦25、46)  
テレビの入力を切り換えるとき。
  - ③ **数字**ボタン  
テレビのチャンネルを選ぶとき。
  - ④ **BS**ボタン  
テレビのBS放送チャンネルを選ぶとき。  
このボタンを押したあと、「数字」ボタンを押すと、BSチャンネルが選べます。
- |         |      |     |          |      |      |
|---------|------|-----|----------|------|------|
| BS 1ch: | (BS) | (1) | BS 9ch:  | (BS) | (9)  |
| BS 3ch: | (BS) | (3) | BS 11ch: | (BS) | (11) |
| BS 5ch: | (BS) | (5) | BS 13ch: | (BS) | (10) |
| BS 7ch: | (BS) | (7) | BS 15ch: | (BS) | (12) |
- ⑤ **テレビチャンネル**ボタン (㊦83)  
テレビのチャンネルを切り換えるとき。
  - ⑥ **音量**ボタン  
テレビの音量を調節するとき。
  - ⑦ **消音**ボタン  
テレビの音声を消すとき。

### リモコンの操作のしかた

ビデオのリモコン受信部に向け、確実にボタンを押してください。  
操作できる範囲は、正面で約7m以内、角度は約60度以内です。  
(ただし、周囲の明るさで変わります)



## リモコン (うら面・カバーを開けたところ)



- ① **リモコン表示部**  
リモコンの操作を何もしないと、約60秒後に液晶の表示が消えます。
- ② **フリーセット予約設定**ボタン (㊦62)  
フリーセット予約をするときなど。
- ③ **タイマー切/入**ボタン (㊦65)  
予約録画を解除するときなど。
- ④ **確認**ボタン (㊦64)  
予約内容を確認するとき。
- ⑤ **数字**ボタン (㊦30、60)  
Gコードを入力するときなど。
- ⑥ このボタンは操作できません。
- ⑦ **取消し**ボタン (㊦38、64)  
チャンネルをとばすときや予約を取り消すときなど。
- ⑧ **転送**ボタン  
予約内容などの信号をビデオに送るとき。
- ⑨ **Gコード予約**ボタン (㊦60)  
「Gコード予約」をするとき。
- ⑩ **SP/LP**ボタン (㊦60、63)  
テープ速度を変えるとき。
- ⑪ このボタンは操作できません。
- ⑫ **リモコン1/2/3 (長押し)**ボタン (㊦81)  
リモコンモードを切り換えるとき。
- ⑬ **設定 (長押し)**ボタン  
リモコンの機能を変更するときなど。

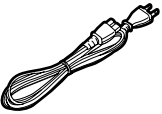

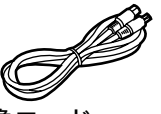
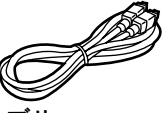





準備

各部の名前と働き (リモコン) つづき

リモコンうら面のカバーを開けるときはおもて面のボタンを誤って押さないようにお気を付けてください。

## 付属品

この表の部品が入っていることをお確かめください。  
付属品をなくされたなどの場合、サービスルート扱いでご用意しておりますので、ご注文ください。  
品番 / 標準価格は、1999年5月現在のものです。また、消費税や工事代などは含まれておりません。

 電源コード VJA0514 300円(税24)	 映像・音声コード VJA0788 600円(税24)	 S映像コード VJA0658 700円(税24)
 DVケーブル VJA1012 3,200円(税54)	 75 同軸ケーブル VJA1013 400円(税24)	 75 アンテナプラグ (VHF/UHF入力端子専用) VSQ1035 / 300円(税24)
 リモコン EUR571650 7,000円	 単4形アルカリ電池 2本 (リモコン用) LR03(税17)	 デジタルビデオ用ヘッドクリーナー VFK1449S 1,800円(税13)

## 設置の手順

次の手順で設置してください

### リモコンを準備する

- 1 リモコンに電池を入れる ..... 17
  - 2 テレビメーカー設定を行う ..... 82
- ここでは、設置を行うために必要なことのみ(上記)を記載しています。

### アンテナやテレビと接続する

- 1 アンテナ線やテレビと接続する ..... 24  
アンテナの加工が必要なときは 26,27
- 2 正しく接続できたことを確認する ..... 25
- 3 時刻の表示を確認する ..... 25
- 4 BSアンテナを接続する ..... 28
- 5 BSアンテナに電源を送る ..... 29

### 受信チャンネルを設定する

お住まいの地域の市外局番を入力するだけで自動的に設定を行います  
市外局番入力チャンネル設定 ..... 30  
市外局番入力チャンネル設定が正しくできなかったときなどは  
マニュアルチャンネル設定 ..... 34  
特に、Gコード予約をするための「ガイドチャンネル」は、必ず設定しておいてください。(税40)

さらに、WOWOW、ハイビジョン、デジタルCS放送、CATV放送をお楽しみいただく方は、68～77ページをごらんください。  
(WOWOW、デジタルCS放送、CATV放送をごらんになるには、それぞれの放送会社との受信契約が必要です)

CATV(ケーブルテレビ)を受信される方や、マンションなどで共聴受信をされる方は、受信チャンネルを設定する際に「マニュアルチャンネル設定」が必要です。

準備

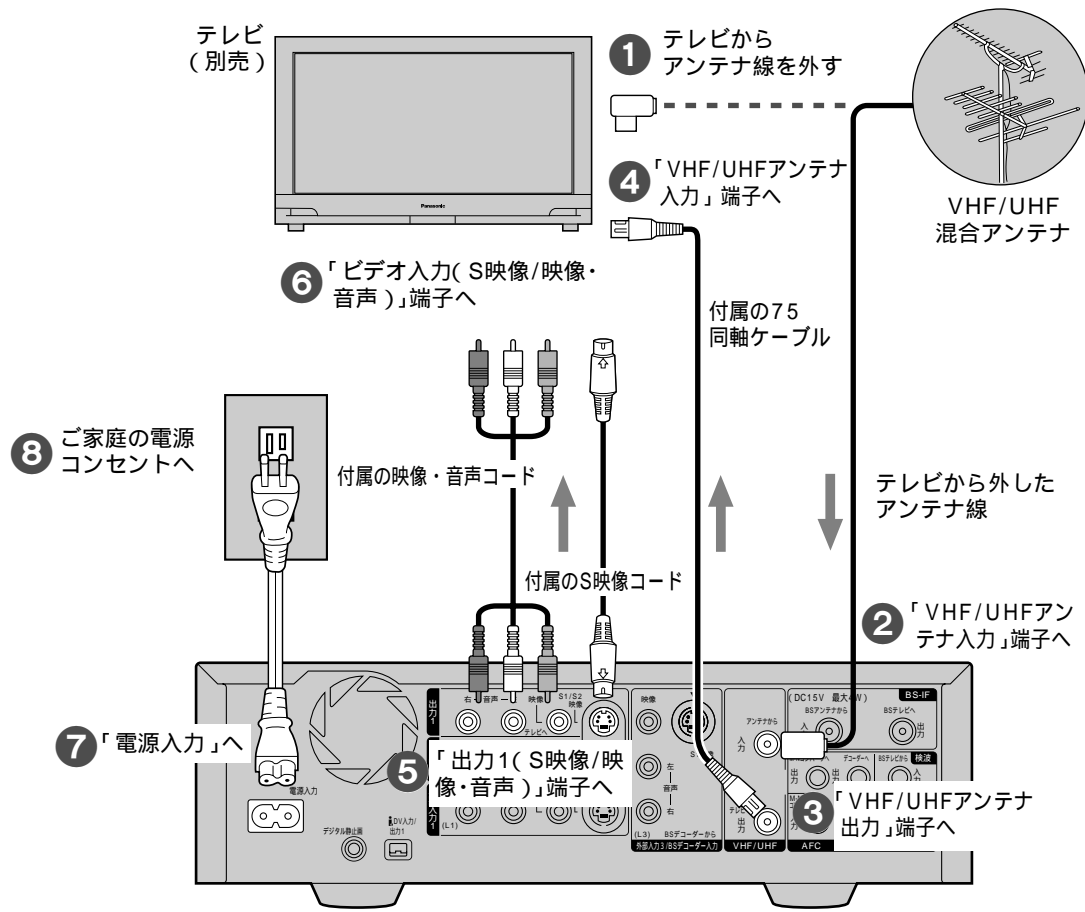
付属品  
設置の手順

## アンテナ線やテレビと接続する

下記の順番で確実に接続してください。

本機は「ビデオ入力(映像・音声)」端子がないテレビに接続することはできません。

接続後には、ビデオの時刻の表示もご確認ください。(☞右ページ)



→ は、信号の流れる方向を表しています

### 手順②について

テレビから外したアンテナ線が、プラグ付き同軸ケーブルのみのときはそのまま接続できますが、それ以外のときは、別売の部品や加工が必要になります。

くわしくは、26ページをお読みください。  
プラグ付き同軸ケーブルであっても、付属のアンテナプラグに付け替えることをおすすめします。  
モノラルテレビと接続するときは、ステレオ音声をモノラル音声に変換できる、別売の映像・音声コード RP-CVP2G10 を使用してください。

## 正しく接続できたことを確認する



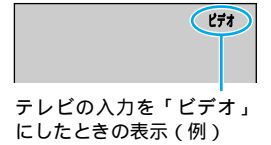
リモコンに電池を入れ、テレビメーカー番号を合わせる。

(☞P17、82)

ビデオとテレビの電源を「入」にする。

### 1 テレビの入力を、ビデオを接続した入力に切り換える

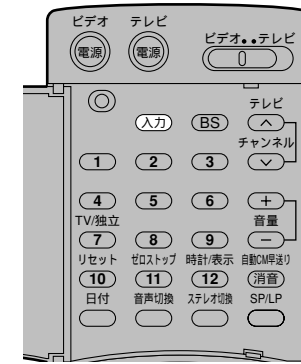
例えば、テレビの「ビデオ入力1」端子に接続しているときは、テレビの入力を「ビデオ1」にします。ビデオの画面になります。



テレビの入力を「ビデオ」にしたときの表示(例)

### 2 ビデオのチャンネルを変えてみる、または録画されたテープを再生してみるなどして、ビデオの画面が映っていることを確認する

画面の映りが悪いとき  
電波が弱い地域では、ビデオを接続すると映りが悪くなる場合があります。市販のブースターなどをご使用ください。



## 時刻の表示を確認する

本機の時計は工場出荷時に合わせてあり、約5年間は「自動バックアップ機能」(停電にも対応)が働きます。

受信チャンネルの設定や、予約内容も記憶しています。

また、2分以内の誤差を自動修正する「自動時刻合わせ」機能がありますので、通常のご使用では「時刻合わせ」の操作は不要です。

ビデオを電源コンセントに接続すると、ビデオ表示部に現在時刻が表示されます。

時計が合っていることを確認してください。

次のようなときは、92ページの操作で時計を合わせ直してください。

時刻表示が「0:00」で点滅しているとき。(右図)

時計の誤差が2分以上あるとき。

ビデオ表示部



時計表示が点滅している状態

準備

アンテナ線やテレビと接続する

正しく接続できたことを確認する

時刻の表示を確認する



# アンテナ線の加工が必要なとき

24 ページの接続の際に、テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルのみのときはそのまま接続できますが、それ以外の場合は、下記のような加工が必要です。(アンテナ線の加工のしかたは、右ページ)

テレビから外したアンテナ線の、ビデオへの接続 (☞24 の手順 ②)

プラグなし同軸ケーブルのとき  
付属のアンテナプラグを付ける

プラグ付き同軸ケーブル + 平行フィーダー線のとき  
別売の混合器を付ける

分波器が付いているとき  
分波器を外し、付属のアンテナプラグを付ける

プラグなし同軸ケーブル + 平行フィーダー線のとき  
付属のアンテナプラグと別売の混合器を付ける

平行フィーダー線のみ  
別売のアンテナプラグを付ける

別売品  
混合器 : VUA7053、分波器 : VUA7052F、アンテナプラグ : VUA7050 (☞99)

ビデオからの 75 同軸ケーブルの、テレビへの接続 (☞24 の手順 ④)

プラグを切り離し、加工する  
テレビの「VHF/UHF アンテナ入力」端子へ

別売の分波器を付ける

別売の分波器を付ける

別売の分波器を付ける  
プラグを切り離し、加工する。

別売の分波器を付ける  
加工が必要な場合があります。

テレビから外したアンテナ線の形状をお確かめください

# アンテナの加工のしかた

同軸ケーブルの芯線の出しかた  
付属のアンテナプラグに接続できる同軸ケーブルは、直径約 6mm の「3C ケーブル」または直径約 8mm の「5C ケーブル」です。(付属の 75 同軸ケーブルは「3C ケーブル」です)  
加工の際の寸法が多少異なります。

① 外側のビニールに切り込みを入れ、切り取る

3C の場合 : 13mm  
5C の場合 : 26mm

② アミ線を折り返す

3C の場合 : すべて  
5C の場合 : 半分

③ 白いビニールに切り込みを入れ、切り取る

芯線を傷つけないようにしてください。

<仕上がり図>

3C の場合 :  
13mm 3 10mm

5C の場合 :  
13mm 3 10mm

同軸ケーブルと付属のアンテナプラグの接続のしかた  
同軸ケーブルの先端を、上記のように加工しておいてください。  
寸法は、必ずお守りください。

① 矢印の方向に幅を広げ、カバーを開く

② 加工した同軸ケーブルの先端を、プラグの穴に通す

プラグの穴

③ 同軸ケーブルの芯線を、金具に巻き付ける

他の金属部にふれさせないでください。

④ ペンチなどで締め付け、同軸ケーブルを固定させる

<固定が完了した状態の図>

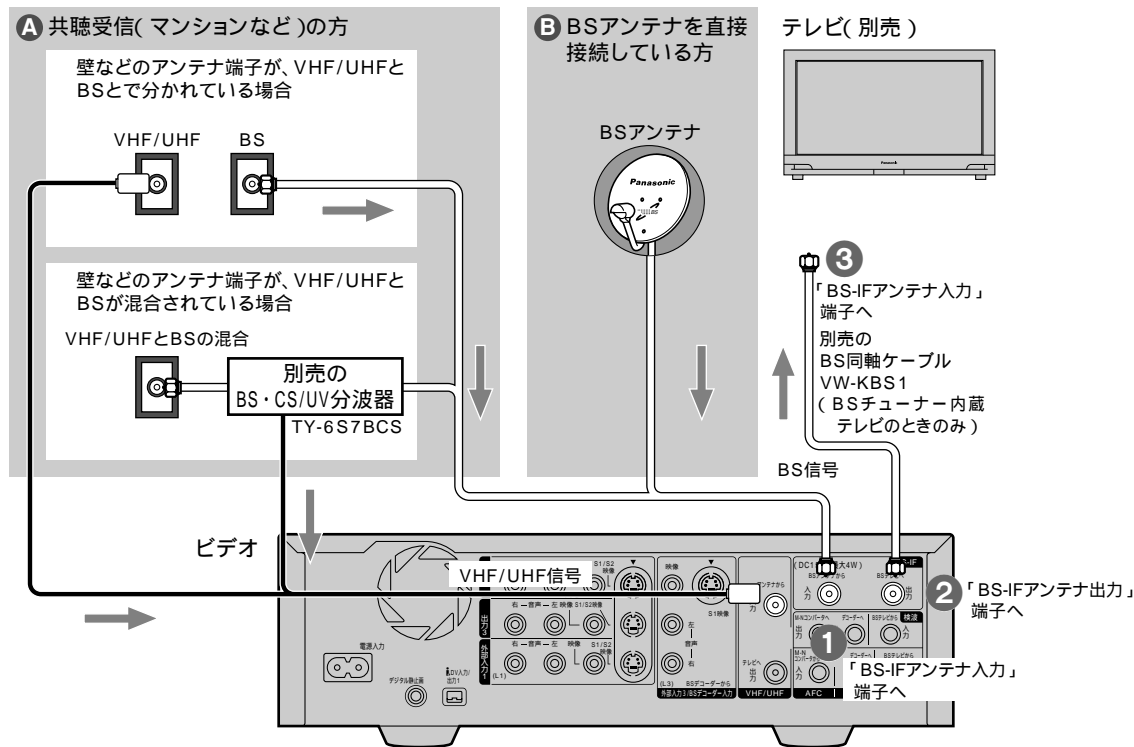
⑤ カチッと音がするまで、カバーをしっかり閉じる

準備  
アンテナ線の加工が必要なとき

# BS アンテナを接続する

BS 放送を受信するには、下記の準備が必要です

- 1 BS アンテナ線を正しく接続する。(下記の順番で接続してください)
- 2 BS アンテナ電源の供給のしかたを正しく設定する。(右ページ)  
共聴受信の方は、右のページの手順③で、「BS 電源」が「切」になっていることをご確認のうえ、接続してください。(工場出荷時には「連動」になっています)

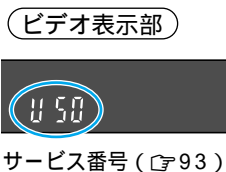


→ は、信号の流れる方向を表しています

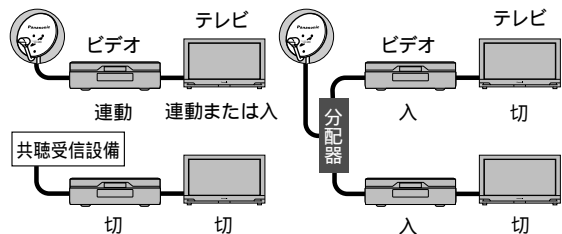
## BS アンテナをつないだら、ビデオ表示部に右のような表示が出たとき

BS アンテナの芯線とアミ線がショートしています。ビデオ後面の「BS-IF アンテナ入力」端子につなぐBS アンテナ線がショートしていないことを確認し、正しくつなぎ直してください。

- 接栓付きBS アンテナ線をつないでください。
- 付属のアンテナプラグを使わないでください。
- BS アンテナ線以外のものはつながないでください。



BS チューナー内蔵テレビをご使用の場合は、ビデオの電源が「切」のときにもテレビでBS 放送を受信できることをご確認ください。受信できないときは、右図を参考に、ビデオとテレビの両方の「BS 電源」を正しく設定してください。(P29)  
テレビの説明書もお読みください。



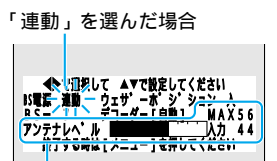
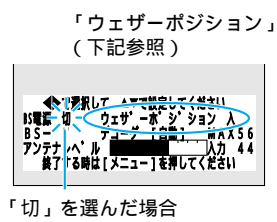
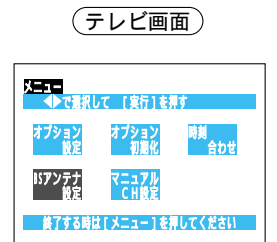
# BS アンテナに電源を送る

BS アンテナが必要とする電源を、ビデオから供給するのかもしれないのか、BS アンテナ線の接続の状態に合わせて設定する必要があります。

**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。テレビにビデオの画面を出す。(P25)



- 1 「メニュー」ボタンを押す  
「メニュー」画面が表示されます。
- 2 「<>」で「BS アンテナ設定」を選び、「実行」ボタンを押す
- 3 「<>」で「BS 電源」を選び、「△▽」ボタンで合わせる  
(下記参照)  
BS アンテナを単独で接続したとき  
「連動」または「入」  
共聴受信をするとき  
「切」
- 4 「アンテナレベル」を調整する  
数字とバーで表示されます。  
BS アンテナの向きを変えると受信状態が変わっていきます。レベル40以上が目安ですが、アンテナレベルが最大になるようにBS アンテナの向きを調整してください。
- 5 「メニュー」ボタンを押す  
「メニュー」画面が消えます。



**「BS 電源」について**  
受信に必要な電力を、ビデオからBS アンテナに供給するのかもしれないかを、接続の状態に合わせて選びます。  
「切」 : ビデオから供給しません。  
(共聴受信設備の方はこの位置)  
「連動」 : ビデオでBS チャンネルを選んだときや、テレビからBS アンテナ用電力が出力されているときのみ、ビデオから供給します。  
「入」 : 常にビデオから供給します。  
(BS アンテナを単独で接続した方は、「入」または「連動」)

**「ウェザーポジション」について**  
「入」にしておくと、受信状態に合わせて「自動ノイズリダクション」機能が働き、画面上の細かいノイズをおさえます。(工場出荷時に「入」にしています)

**「アンテナレベル」について**  
BS アンテナの口径や、地域、設置条件、気象条件などにより異なります。  
BS アンテナの向きを調整するときは、BS アンテナの説明書もお読みください。

準備

BS アンテナを接続する BS アンテナに電源を送る





# マニュアルチャンネル設定

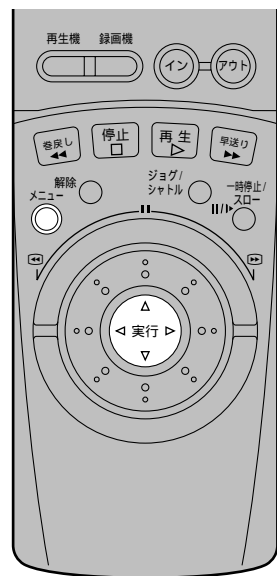
ひとつひとつのチャンネルポジションごとに、受信・表示・ガイドチャンネルを設定することができます。また、「市外局番入力チャンネル設定」を行ったあとの設定状態の確認も、この方法で行ってください。

きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき  
受信・表示・ガイドチャンネルを設定する(登録)  
ノイズ画面のチャンネルが設定されているとき  
チャンネルをとばす(削除)  
選局の順番を入れ替えたいとき  
設定したいチャンネルポジションに受信・表示・ガイドチャンネルを設定し、不要になったチャンネルをとばす(登録・削除)

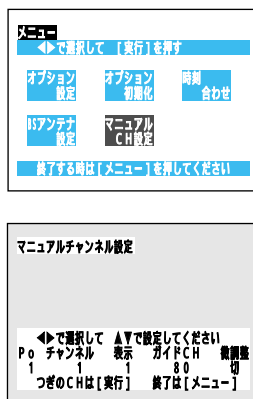
ガイドチャンネルが設定されていないとき  
ガイドチャンネルを設定する  
ノイズがあるときや、色が付いていないとき  
微調整をすると、きれいに受信できる場合があります

## 「マニュアルチャンネル設定」画面を出す

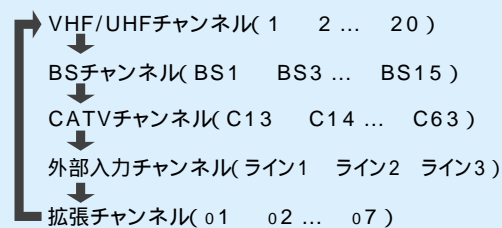
**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。(P25)  
ビデオで外部入力チャンネル(「L1」、「L2」、「L3」「DV入力」)以外のチャンネルを選んでおく。



- 1 「メニュー」ボタンを押す  
メニュー画面が表示されます。
- 2 「<>」で「マニュアルCH設定」を選び、「実行」ボタンを押す  
このあと、それぞれの設定を行ってください。  
VHF/UHFチャンネルの登録 ... P35  
BSチャンネルの登録 ..... P36  
CATVチャンネルの登録 ..... P37  
不要なチャンネルの削除 ..... P38  
映りの悪いチャンネルの微調整 ... P39
- 3 設定が終わったら、  
「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消えます。



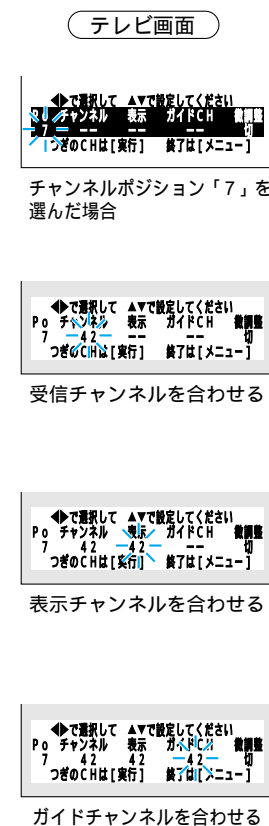
チャンネルポジションの変わりかた  
「△」を押すごとにチャンネルポジションが右のように変わります。  
(「▽」を押すと、逆方向に戻ります)  
「オプション設定」(P91)の「L3設定」を「BSデコーダー/M-N」にしているときは、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。



## VHF/UHFチャンネルを登録する

34ページの手順①②の操作で、テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出してから、下記の操作を行ってください。

- 3 「<>」で「Po」を選び、「△▽」で設定したいチャンネルポジションを選ぶ
- 4 「<>」で「チャンネル」を選び、「△▽」で受信チャンネルを合わせる  
登録したい放送が映るまで、数字を変えてください。(1~62)
- 5 「<>」で「表示」を選び、「△▽」で表示チャンネルを合わせる  
ビデオ表示部などに表示させたい数字に合わせてください。
- 6 「<>」で「ガイドCH」を選び、「△▽」でガイドチャンネルを合わせる  
Gコード予約を正しく行うために、必ず、40ページの「ガイドチャンネル一覧表」の数字に合わせてください。
- 7 「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。



2つ以上のチャンネルを登録するときは  
手順⑥のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

チャンネルポジションの表示について  
「マニュアルチャンネル設定」画面では、チャンネルポジションは下記のように表示されます。  
VHF/UHFチャンネル .....Po  
BSチャンネル .....チャンネル  
CATVチャンネル .....チャンネル  
外部入力チャンネル .....入力  
拡張チャンネル .....Po

受信・表示・ガイドチャンネルの変わりかた  
「△」または「▽」を押し続けると、10ずつ変わります。

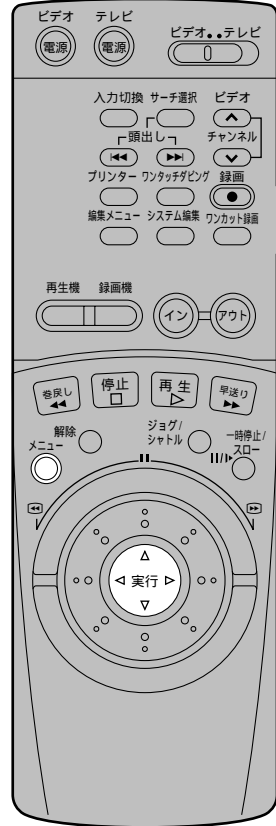
準備

マニュアルチャンネル設定(マニュアルチャンネル設定画面を出す)(VHF/UHFチャンネルを登録する)

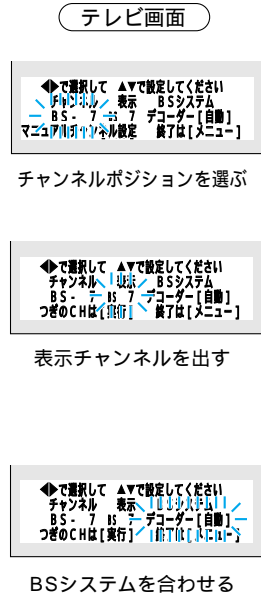
# マニュアルチャンネル設定 (つづき)

## BS チャンネルを登録する

34 ページの手順 ①② の操作で、テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出してから、下記の操作を行ってください。



- ③ 「◀▶」で「Po」を選び、「△▽」で設定したいチャンネルポジションを選ぶ
- ④ 「◀▶」で「表示」を選び、「△▽」で表示チャンネルを出す  
ここが「BS ---」のときは、そのチャンネルはとばされています。
- ⑤ 「◀▶」で「BSシステム」を選び、「△▽」で設定する(下記参照)
- ⑥ 「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。



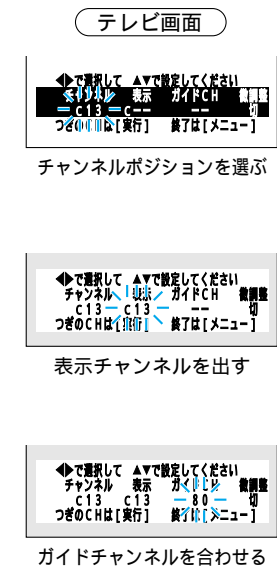
**2つ以上のチャンネルを登録するときは**  
手順⑤のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

**BSシステムについて**  
下記のように設定してください。  
デコーダー [自動]...スクランブル放送やハイビジョン放送の受信時のみ、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターを働かせたいとき。  
デコーダー [入].....St.GIGA(セント・ギガ)とも受信契約しているとき。  
デコーダー [切].....BSデコーダーやM-Nコンバーターを接続していないとき。  
M-Nコンバーター ...デコーダー [自動]では、M-Nコンバーターを接続していてもハイビジョン放送が受信できないとき。  
「オプション設定」(P.91)の「L3設定」を「BSデコーダー/M-N」にしているときは、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

## CATV チャンネルを登録する

34 ページの手順 ①② の操作で、テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出してから、下記の操作を行ってください。

- ③ 「◀▶」で「Po」を選び、「△▽」で設定したいチャンネルポジションを選ぶ
- ④ 「◀▶」で「表示」を選び、「△▽」で表示チャンネルを出す  
ここが「C ---」のときは、そのチャンネルはとばされています。
- ⑤ 「◀▶」で「ガイドCH」を選び、「△▽」でガイドチャンネルを合わせる  
Gコード予約を正しく行うために、必ず、40ページの「ガイドチャンネル一覧表」の数字に合わせてください。
- ⑥ 「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。



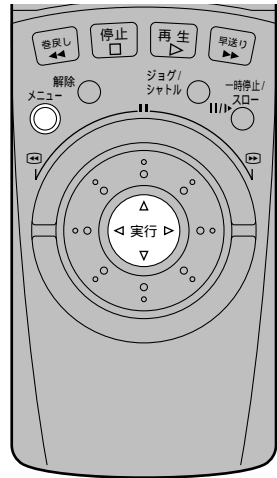
**2つ以上のチャンネルを登録するときは**  
手順⑤のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

準備  
マニュアルチャンネル設定 (BSチャンネルを登録する) (CATVチャンネルを登録する)

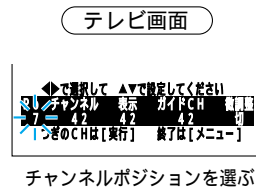
# マニュアルチャンネル設定 (つづき)

## 不要なチャンネルを削除する

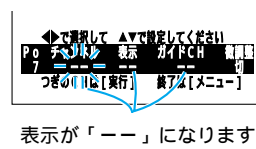
34 ページの手順 ①② の操作で、テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出してから、下記の操作を行ってください。



③ 「◀▶」で「Po」を選び、「△▽」で設定したいチャンネルポジションを選ぶ



④ リモコンうら面の「取消し」ボタンを押す  
受信・表示・ガイドチャンネルがすべて「—」の表示になります。



⑤ 「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

### 2つ以上のチャンネルを削除するとき

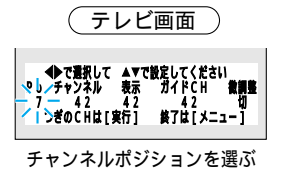
手順 ④ のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

## 映りの悪いチャンネルの微調整をする

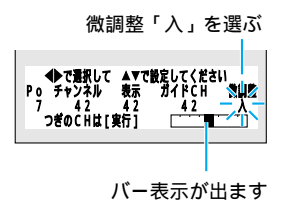
34 ページの手順 ①② の操作で、テレビに「マニュアルチャンネル設定」画面を出してから、下記の操作を行ってください。



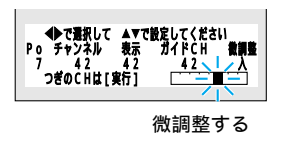
③ 「◀▶」で「Po」を選び、「△▽」で設定したいチャンネルポジションを選ぶ



④ 「◀▶」で「微調整」を選び、「△▽」で「入」にする  
バー表示が出ます。



⑤ 「◀▶」でバー表示を選び、「△▽」で調整する  
色が付いていないとき： 「△」  
しまが出ているとき： 「▽」  
電波の状態によっては調整しきれない場合があります。  
BSチャンネルは微調整できません。



⑥ 「メニュー」ボタンを押す  
「マニュアルチャンネル設定」画面が消え、設定が終了します。

### 2つ以上のチャンネルを微調整するとき

手順 ⑤ のあとで「実行」ボタンを押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

**お願い/ヒント**  
BS、CSチャンネル、外部入力チャンネルは、表示を出す、出さないのいずれかしか選べません。表示が出ていない外部入力チャンネルとはばされています。  
「オプション設定」(P.91)の「L3設定」を「BSデコーダー/M-N」にしているときは、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

準備 マニュアルチャンネル設定(不要なチャンネルを削除する)(映りの悪いチャンネルの微調整をする)

# ガイドチャンネル一覧表

地域	放送局	ガイドCH	地域	放送局	ガイドCH	地域	放送局	ガイドCH
全国	NHK総合 NHK教育	80 90	石川	北陸放送 (MRO) 北陸朝日 (HAB) テレビ金沢 (KTK) 石川テレビ (ITC)	6 25 33 37	山口	山口放送 (KRY) 山口朝日 (YAB) テレビ山口 (TYS)	11 28 38
北海道	北海道放送 (HBC) 札幌テレビ (STV) テレビ北海道 (TVH) 北海道文化 (UHB) 北海道テレビ (HTB)	1 5 17 27 35	福井	福井放送 (FBC) 福井テレビ (FTB)	11 39	徳島	四国放送 (JRT)	1
青森	青森放送 (RAB) 青森朝日 (ABA) 青森テレビ (ATV)	1 34 38	山梨	山梨放送 (YBS) テレビ山梨 (UTY)	5 37	愛媛	南海放送 (RNB) 愛媛朝日 (EAT) あいテレビ (ITV) 愛媛放送 (EBC)	10 25 29 37
岩手	岩手放送 (IBC) 岩手朝日 (IAT) めんこい (MIT) テレビ岩手 (TVI)	6 20 33 35	長野	信越放送 (SBC) 長野朝日 (ABN) テレビ信州 (TSB) 長野放送 (NBS)	11 20 30 38	高知	高知放送 (RKC) テレビ高知 (KUTV) 高知さんさん (KSS)	8 38 40
宮城	東北放送 (TBC) 仙台放送 (OX) 東日本放送 (KHB) 宮城テレビ (MMT)	1 12 32 34	静岡	静岡放送 (SBS) 静岡第一 (SDT) 静岡朝日 (SAT) テレビ静岡 (SUT)	11 31 33 35	福岡	九州朝日 (KBC) RKB毎日 (RKB) テレビ西日本 (TNC) テレビQ (TVQ) 福岡放送 (FBS)	1 4 9 19 37
秋田	秋田放送 (ABS) 秋田朝日 (AAB) 秋田テレビ (AKT)	11 31 37	中京	東海テレビ (THK) 中部日本放送 (CBC) 名古屋テレビ (NBN) テレビ愛知 (TVA) 三重テレビ (MTV) 中京テレビ (CTV) 岐阜放送 (GBS)	1 5 11 25 33 35 37	佐賀	サガテレビ (STS)	36
山形	山形放送 (YBC) 山形さくらんぼ (SAY) テレビユー山形 (TUY) 山形テレビ (YTS)	10 30 36 38	関西	毎日放送 (MBS) 朝日放送 (ABC) 関西テレビ (KTV) 読売テレビ (YT) テレビ大阪 (TVO) テレビ和歌山 (WTV) びわ湖放送 (BBC) 京都テレビ (KBS) サンテレビ (SUN) 奈良テレビ (TVN)	4 6 8 10 19 30 30 34 36 55	長崎	長崎放送 (NBC) 長崎国際 (NIB) 長崎文化 (NCC) テレビ長崎 (KTN)	5 25 27 37
福島	福島テレビ (FTV) テレビユー福島 (TUF) 福島中央 (FCT) 福島放送 (KFB)	11 31 33 35	鳥取	日本海テレビ (NKT) 山陰放送 (BSS) 山陰中央 (TSK)	1 10 34	熊本	熊本放送 (RKK) 熊本朝日 (KAB) 熊本県民 (KKT) テレビ熊本 (TKU)	11 16 22 34
関東	日本テレビ (NTV) TBSテレビ (TBS) フジテレビ (CX) テレビ朝日 (ANB) テレビ東京 (TX) 東京メトロポリタン (MX) 放送大学 とちぎテレビ (TTV) テレビ埼玉 (TVS) TVKテレビ (TVK) 千葉テレビ (CTC) 群馬テレビ (GTV)	4 6 8 10 12 14 16 23 38 42 46 48	岡山	西日本放送 (RNC) 山陽放送 (RSK) テレビせとうち (TSC) 瀬戸内海放送 (KSB) 岡山放送 (OHK)	9 11 23 33 35	大分	大分放送 (OBS) 大分朝日 (OAB) テレビ大分 (TOS)	5 24 36
新潟	新潟放送 (BSN) 新潟テレビ21 (NT21) テレビ新潟 (TNN) 新潟総合 (NST)	5 21 29 35	広島	中国放送 (RCC) 広島テレビ (HTV) テレビ新広島 (TSS) 広島ホーム (HOME)	4 12 31 35	宮崎	宮崎放送 (MRT) テレビ宮崎 (UMK)	10 35
富山	北日本放送 (KNB) チューリップ (TUT) 富山テレビ (T34)	1 32 34	BS放送			BS1 BS3 BS5 WOWOW (JSB) BS7 NHK衛星第一 BS9 ハイビジョン放送 BS11 NHK衛星第二 BS13 BS15	71 72 73 74 75 76 77 78	

## お願い/ヒント

新たに開設した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

# 最初から設定をやり直す

「市外局番入力チャンネル設定」が正確にできなかったときや、最初から設定をやり直したいときは、下記の操作で工場出荷時の状態に戻してから、チャンネル設定をやり直してください。



準備 ビデオとテレビの電源を「入」にする。テレビにビデオの画面を出す。(P25)

1 「設定 (長押し)」ボタンを約2秒以上押し、リモコン表示部に「☎」マークを出す

2 「000000」と入力する  
間違えたときは、「設定 (長押し)」ボタンを4回押し、手順1からやり直してください。

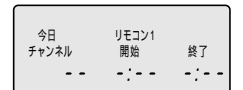
3 「転送」ボタンを押す  
テレビ画面に「000000」が表示され、ビデオのチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。(下記参照)

4 「設定 (長押し)」ボタンを4回押す

リモコン表示部



テレビ画面



準備

ガイドチャンネル一覧表 最初から設定をやり直す

## お願い/ヒント

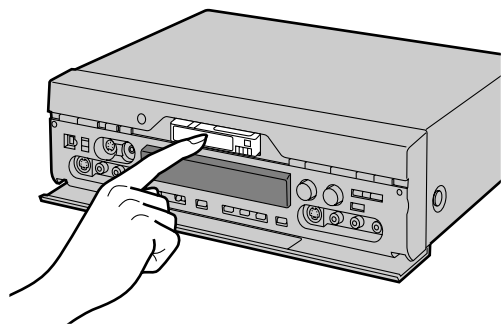
工場出荷時の状態とは  
VHF/UHFチャンネル  
VHFの1～12チャンネルが受信できる状態  
BSチャンネル  
すべてのチャンネル (BS1～BS15) が受信できる状態  
CATVチャンネル  
すべてのチャンネル (C13～C63) がとばされた状態  
外部入力チャンネル  
すべてのチャンネル (ライン1～ライン3) が使用できる状態です。  
(ガイドチャンネルは、すべてのチャンネルで設定されていません)

「オプション設定」(P91)の「L3設定」を「BSデコーダー/M-N」にしているときは、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。



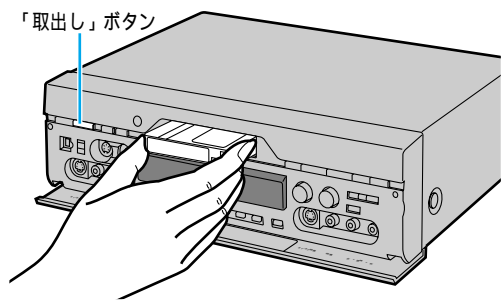
# カセットの入れかた/出しかた

## カセットの入れかた



テープが見える面を上、テープラベルが手前になるようにして、  
**中央部をゆっくり押し込む**  
 カセットを入ると、自動的に電源が「入」になり、ビデオ表示部に「」表示が出ます。  
 誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセット（下記参照）を入れると、自動的に再生を始めます。  
 本機の性能を十分に生かすために、パッケージに「LPモード」表示のある当社製のカセットをご使用になることをおすすめします。

## カセットの出しかた

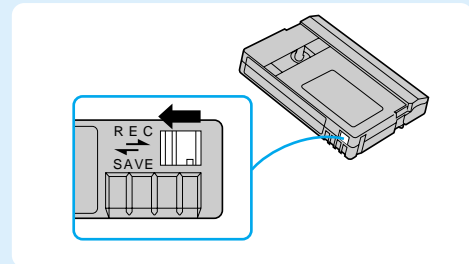


**「取だし」ボタンを押す**  
 カセットが途中まで出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。  
 リモコンでも取り出せます  
 「停止」ボタンを約3秒以上押し続けると、カセットを取り出せます。  
 電源が「切」のときも、カセットは取り出せます。  
 次のようなときは、カセットは取り出せません。  
 録画中  
 予約録画中、または予約録画の待機中

### 使用できる当社のカセット (1999年5月現在)

カセット品番	使用できる時間	
	SP	LP
AY-DVM30E	30分	45分
AY-DVM60E	60分	90分
AY-DVM80E	80分	120分

**誤消去を防ぐために**  
 誤って大切な録画内容を消さないように、カセットの誤消去防止つまみを「SAVE」側（開く）にしておくことをおすすめします。  
 「REC」側に戻すと、録画が可能になります。

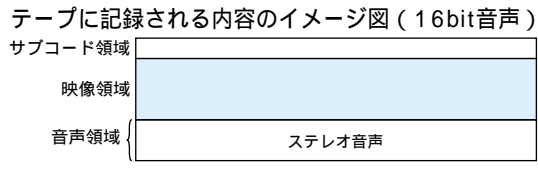


# 音声について

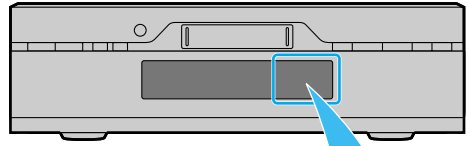
DV方式のテープには、音声は12bitモードまたは16bitモードのどちらかで記録されます。

**12bitモード**  
 音声領域を2つに分けて、「ステレオ1」音声と「ステレオ2」音声の2種類のステレオ音声を記録することができます。

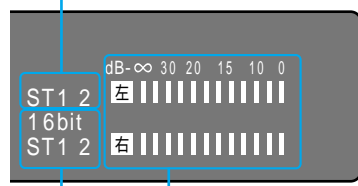
**16bitモード**  
 音声領域のすべてを使って、より高音質のステレオ音声を記録することができます。



### ビデオ本体の音声表示



**音声モニター表示**  
 「ST1」表示  
 再生中に「ステレオ1」音声を選んだときに点灯。  
 「ST2」表示  
 再生中に「ステレオ2」音声を選んだときに点灯。  
 「ステレオ1+2」（ミックス）音声を選ぶと、「ST1 2」と表示します。



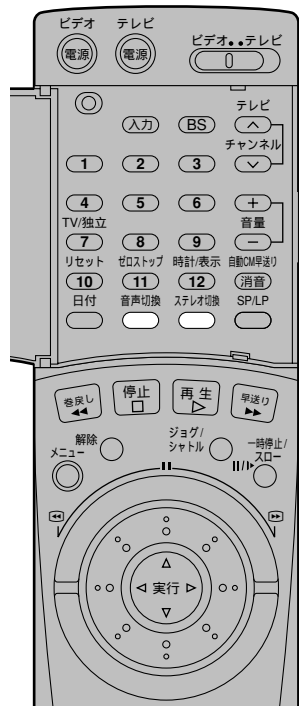
**音声記録データ表示**  
 「16bit」表示  
 16bit音声の記録されたテープの再生中などに点灯。  
 「ST1」表示  
 12bit音声の記録されたテープの再生中などに点灯。  
 「ST1 2」表示  
 12bit音声で、「ステレオ2」に音声記録されたテープの再生中などに点灯。

**お願い/ヒント**  
 12bitモードの音声トラックについて  
 本機でアフレコ編集をしたときなどは、「ステレオ2」トラックに新しい音声記録されます。  
 このときは、「音声記録データ」表示に、「ST1 2」と表示されます。

準備

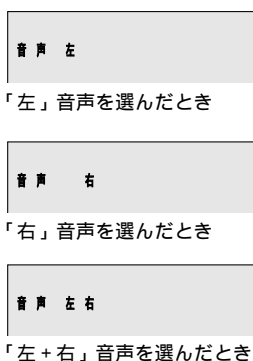
カセットの入れかた/出しかた 音声について

## 再生中の音声を選ぶ

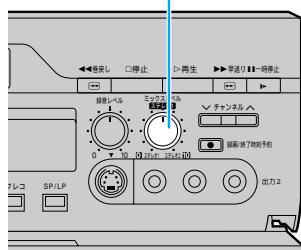


- 1 「ステレオ切換」ボタンで、聞きたい音声トラックを選ぶ  
12bit モードで記録されたテープの再生中  
押すごとに、  
「ステレオ 1」トラックの音声  
「ステレオ 2」トラックの音声  
「ステレオ 1 + 2」(ミックス) 音声  
が選べます。  
16bit モードで記録されたテープの音声トラックは選べません。

- 2 「音声切換」ボタンで、聞きたい音声を選ぶ  
押すごとに、  
「左」音声  
「右」音声  
「左 + 右」音声  
が選べます。



「ミックスレベル/ステレオ1」つまみ



### 「ステレオ 1 + 2」音声のバランスを変えるとき

再生中に、「ステレオ 1 + 2」の音声を選んだあと、  
「ミックスレベル/ステレオ 1」つまみを回してバランスを調整する  
つまみは 1 回押すと出てきます。  
(正面のとびらを閉じるときは、つまみを本体の中に押し込んでください)  
左に回すと「ステレオ 1」音声、右に回すと「ステレオ 2」音声が大きく聞こえます。

「左」音声と「右」音声について  
2 カ国語放送などの二重放送のときは、「左」音声に「主」音声、「右」音声に「副」音声がそれぞれ記録されています。  
受信中のテレビ画面の音声表示  
「ステレオ」放送の受信中.....「ステレオ」  
「モノラル」放送の受信中.....「音声」  
「二重」放送の受信中.....「二重」  
がそれぞれ表示されます。

「DV 入力」チャンネルを選んでいるときは再生中でなくても、「ステレオ切換」ボタンで音声トラックを選ぶことができます。  
ダビングなどの際は、記録する音声モードの選択 (P.45) に関係なく、本機に送られてくる音声データをそのまま記録します。

## 記録する音声を選ぶ

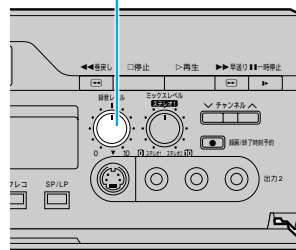
録画時に記録される音声は、「編集メニュー」の中の「音声ステレオ」で設定して選べます。



- 1 「編集メニュー」ボタンを押す  
「編集メニュー」画面が表示されます。
- 2 「△▽」で「音声ステレオ」を選び、「◀▶」で「12bit」または「16bit」を選ぶ  
12bit を選ぶと  
常に 12bit モードで、「ステレオ 1」トラックに録音されます。  
16bit を選ぶと  
常に 16bit モードで録音されます。
- 3 「実行」ボタンを押す  
「編集メニュー」画面が消えます。



「録音レベル」つまみ



### 録音レベルを変えるとき

「録音レベル」つまみで調整する  
つまみは 1 回押すと出てきます。  
(正面のとびらを閉じるときは、つまみを本体の中に押し込んでください)  
ビデオ表示部の「音声レベル表示」が「-10」程度になるようにしてください)  
DV 入力からの音声レベルは調整できません。  
(外部入力端子に接続すると、調整できます。)

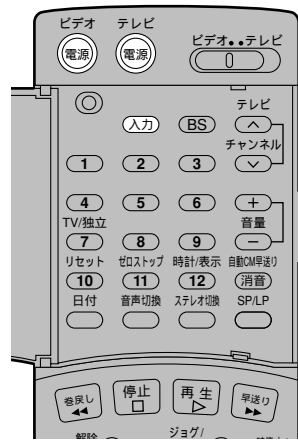
### お願い/ヒント

16bit モードで記録したテープには、次の編集操作はできません。  
(くわしくは、編集編をごらんください)  
ミックスダビング  
アフレコ  
AV インサート

「DV 入力」チャンネルを選んでいるときは「音声ステレオ」の設定に関係なく、「DV 入力」端子に送られてくる信号に合わせて、自動的に「12bit」または「16bit」が選ばれます。

## テレビにビデオの画面を出す

**準備** リモコンの「テレビメーカー設定」(☞82)を行っておく。



- 1 テレビ「電源」ボタンを押し、テレビの電源を「入」にする
- 2 「入力」ボタンを押し、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



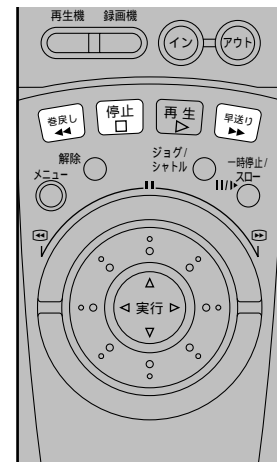
テレビの入力を「ビデオ」にしたときの表示(例)

- 3 ビデオ「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「入」にする

### お願い/ヒント

本機のリモコンでテレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー番号を合わせ直してください。(☞82)

## 早送り / 巻き戻しする



### 早送りをするとき

停止中に、「早送り」ボタンを押す  
早送り中にボタンを押し続けると、早送り再生になります。指をはなすと、ふつうの早送りに戻ります。

### 巻き戻しをするとき

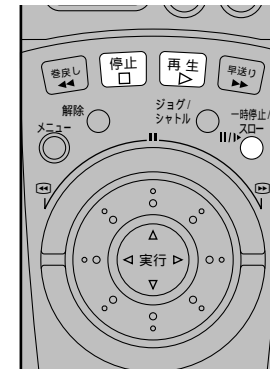
停止中に、「巻き戻し」ボタンを押す  
巻き戻し中にボタンを押し続けると、巻き戻し再生になります。指をはなすと、ふつうの巻き戻しに戻ります。

### 早送り / 巻き戻しをやめるとき

「停止」ボタンを押す

## テープを再生する

**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。テレビにビデオの画面を出す。(☞46)



### テープを再生するとき

- 1 録画済みのカセットを入れる(☞42)
- 2 再生ボタンを押す  
再生が始まります。

### 再生をやめるとき

「停止」ボタンを押す

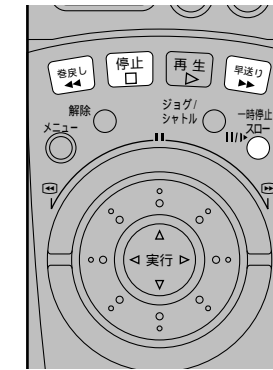
### 再生を一時停止するとき(静止画再生)

再生中に、「一時停止/スロー」ボタンを押す

### お願い/ヒント

誤消去防止つまみを「SAVE」側にしているカセットを入れると自動的に再生を始めます。すでにカセットが入っているときは、電源が「切」の状態でも、「再生」ボタンを押すだけで再生が始まります。通常の再生以外のときは、音声は出ません。次のようなときは、テープとヘッドの保護のため、それぞれの再生が解除されます。早送り / 巻き戻し再生を10分以上続けると、ふつうの再生に戻ります。静止画再生を約5分以上、またはスロー再生を約10分以上続けると、停止します。

## スロー再生 早送り / 巻き戻し再生



### スロー再生をするとき

再生中に、「一時停止/スロー」ボタンを約2秒以上押し続ける

### 早送り / 巻き戻し再生をするとき

再生中に、「早送り」または「巻き戻し」ボタンをポンと短く押す

ボタンを押し続けると、押している間だけ早送り / 巻き戻し再生を行い、指をはなすと通常の再生に戻ります。

「今すぐ再生」(☞83)の設定をしておくとし、リモコンの「再生」ボタンを押すだけで、再生を始めるとともに、自動的にテレビの入力が「ビデオ1」に切り換わります。ワイドテレビで見るときは、ご使用のテレビによっては、本機の「オプション設定」(☞91)の「ワイドモード」を切り換えておくと、「ワイドフル」モードなどの映像をテレビに送ったときに、テレビの画面を自動的に「フル」モードにすることができます。くわしくは、91ページの「ワイドモード」の項目をお読みください。

## 速度を変えて再生する

ジョグダイヤルとシャトルリングを使うと、コマ送り/コマ戻し再生をしたり、再生の速度を変えたりすることができます。

### 「ジョグ/シャトルモード」にする

「ジョグ/シャトル」ボタンを押す

「ジョグ/シャトルモード」になると、「ジョグ/シャトル」ボタンが点灯し、リモコンが「ジョグ/シャトル」モードになります。  
静止画再生になります。  
何も操作せずに約30秒以上放置すると、ボタンが消灯します。このときは、「ジョグ/シャトル」ボタンをもう一度押すと、ボタンが再び点灯し、リモコンが「ジョグ/シャトルモード」に戻ります。

### コマ送り/コマ戻し再生をする

「ジョグ/シャトル」モードにしたあと、ジョグダイヤルをゆっくりと回す

早く回すとふつうの再生になります。  
右に回すと送り方向、左に回すと戻し方向に1フレームずつ送っていきます。(フレームとは、瞬間の絵のことです。本機では、1秒間に約30枚のフレームを連続して映すことで動画として見るすることができます)

### 再生の速度を変える

「ジョグ/シャトル」モードにしたあと、シャトルリングを回す

右へ回すと送り方向、左へ回すと戻し方向へと速度を増していきます。回す角度により、再生速度や再生の向きが変わります。

シャトルリングを使って、再生速度を一段階早く、または一段階遅くするときは、必ず「カチッ」音がするまでシャトルリングを回してください。  
画面を見ながら調節しなくても、「カチッ」音で再生速度が変わったことを確認できます。

### シャトルリングの操作について

「カチッ」音がするまで回さないと、再生速度を確実に変えることができない場合があります。内側のジョグダイヤルと一緒に回してしまうと、再生速度が正しく変わっていかない場合がありますので、お気を付けください。

### お願い/ヒント

通常の再生以外のときは、音声は出ません。

## CMをとばして見る(自動CM早送り再生)

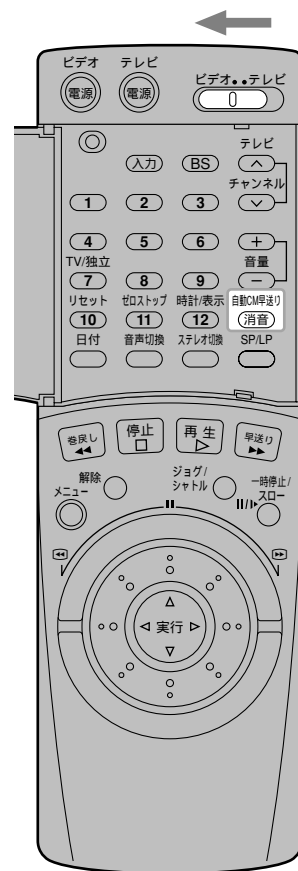
CM(コマーシャル)部分を自動的にとばして再生することができます。

再生される音声は「モノラル放送」や「二重放送(2カ国語放送など)」から「ステレオ放送」に切り換わると、元の音声に戻るまで自動的に早送り再生をします。

番組の音声は「モノラル放送」または「二重放送」で、CMが「ステレオ放送」のときに働きます。録画されている番組によっては、正しく働かない場合があります。

**準備** リモコンのビデオ/テレビ操作切替スイッチを「ビデオ」側にします。

ビデオ/テレビ操作切替スイッチを「ビデオ」側にしてください



再生を始める前、または再生中に、「自動CM早送り」ボタンを押し、テレビ画面に「自動CM早送り 入」表示を出す

CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

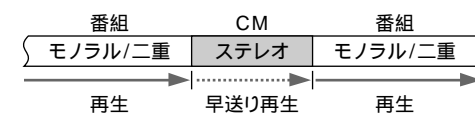


### 解除するとき

「自動CM早送り」ボタンを押す

画面に「自動CM早送り 切」表示が出ます。ビデオの電源を「切」にしても解除されます。

番組が「モノラル放送」または「二重放送(2カ国語放送など)」で、CMが「ステレオ放送」のときに正しく働きます。(CMの前後が、少し切れた状態で再生されます)

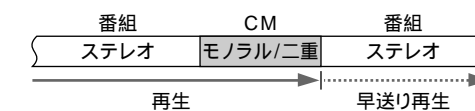


次のようなときは、正しく働きません

番組が「ステレオ放送」のとき



CMが「モノラル放送」または「二重放送」のとき



CM以外でも、音声は「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき  
本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないテープを再生するとき  
外部入力録画をしたテープを再生するとき

## テレビ番組を録画する



テレビとビデオの電源を「入」にする  
テレビにビデオの画面を出す。(P46)  
記録する音声(12bit/16bit)を選ぶ。(P45)

誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる(P42)



1 「ビデオチャンネル」ボタンでチャンネルを選ぶ

ビデオ表示部

カセット表示 ( )



4チャンネルを選んだ場合

2 「SP/LP」ボタンで、テープ速度を選ぶ

録画できる時間の目安  
SP ...カセットに表示されている時間  
LP ...SPの1.5倍の時間



「SP」を選んだ場合

3 「録画」ボタンを押す  
録画が始まります。



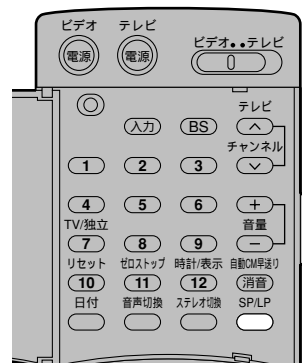
録画中の表示

録画を一時停止するとき

「一時停止/スロー」ボタンを押す  
録画を再開するには、もう一度「一時停止/スロー」を押します。

録画をやめるとき

「停止」ボタンを押す



### お願い/ヒント

録画中はチャンネルの変更ができません。  
録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッド保護のため停止します。

録画中に裏番組を見るときは  
テレビの入力を「ビデオ」から「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選んでください。(録画に影響はありません)

### LPモードについて

LPモードで録画すると、画質はSPモードと比較して劣化しませんが、以下のようなときモザイク状のノイズが出たり、正常に再生できないことがあります。

他のデジタルビデオ機器で再生したとき  
他のデジタルビデオ機器で録画したものを本機で再生したとき

LPモードがないデジタルビデオ機器で再生したとき

スロー/コマ送り/コマ戻し再生をしたとき  
また、LPモードで録画したテープには、次の編集操作はできません。

(くわしくは、編集編をご覧ください)

ミックスダビング アフレコ  
ビデオインサート オーディオインサート  
AVインサート

## 録画の終了時刻を予約する(終了時刻予約録画)

録画の終わる時刻を、簡単に予約することができます。

予約した時刻になると、ビデオが自動的に録画をやめ、電源を「切」にします。

急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、一番簡単な予約録画としてご使用いただけます。

録画中に、  
ビデオ本体の「録画/終了時刻予約」  
ボタンを押し、終了時刻を予約する  
1回押すとビデオ表示部に「--:--」  
が表示され、続けて押すごとに、30分単  
位で、最大2時間先まで予約できます。

ビデオ表示部



「--:--」の表示



現在時刻が16時10分で、  
30分先に設定した場合

録画をやめるとき

「停止」ボタンを押す  
「終了時刻予約」も解除されます。



現在時刻の表示になります。

録画を続けたまま終了時刻の予約を解除するとき

ビデオ本体の「録画/終了時刻予約」  
ボタンを何度か押し、ビデオ表示部に  
「--:--」を表示させる  
「終了時刻予約」が解除されます。  
(録画は続けられます)



「--:--」の表示

### お願い/ヒント

リモコンの「録画」ボタンでは、「終了時刻予約」  
はできません。  
予約録画中は、動きません。

## 静止画や動画を設定した時間だけ録画する（ワンカット録画）

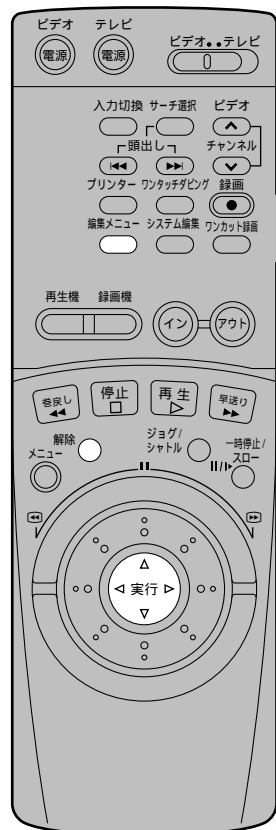
ビデオカメラやデジタルスチルカメラなどの静止画を、時間を設定して録画することができます。

動画をを入力した場合は、動画（その音声も）が録画されます。



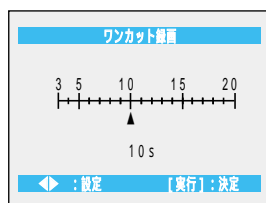
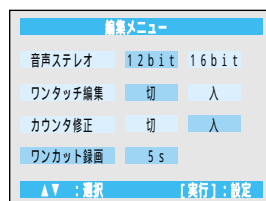
テレビとビデオの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。（☞46）  
記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。  
（☞45）

誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる。（☞42）  
外部機器の画像を入力する場合は、本機を機器に接続する。（☞54）



### 記録時間の設定をする

- 1 「編集メニュー」ボタンを押す  
編集メニュー画面が表示されます。
- 2 「△▽」で「ワンカット録画」を選び、「実行」ボタンを押す  
ワンカット録画の時間設定画面が表示されます。
- 3 「◀▶」で記録時間の設定を行い、「実行」ボタンを押す  
時間を短くするときは「◀」  
時間を長くするときは「▶」  
3～20s（秒）の間で設定できます。  
ボタンを押すごとに1秒ずつ変わります。
- 4 「解除」ボタンを押す



### お願い/ヒント

「ワンカット録画」記録時間は、工場出荷時では、「5s（秒）」に設定されています。

### ワンカット録画をする

- 1 「入力切換」、またはビデオチャンネルボタンを押して、入力する映像を画面に出す
- 2 「ワンカット録画」ボタンを押す  
録画の一時停止になります。
- 3 録画する画像を準備する  
映像の中の1カットを記録したい場合は、静止画再生にしておいてください。
- 4 「ワンカット録画」ボタンを押す  
設定した時間だけ録画が行われたあと、録画一時停止になります。



### 続けて録画を行うとき

手順4の録画一時停止になっている状態で、  
手順3～4を繰り返す  
記録時間を変更するときは、左ページの手順1～4を行ってください。

### 録画をやめるとき

「停止」ボタンを押す  
接続している機器の動作も停止させてください。

### お願い/ヒント

録画の一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッド保護のため停止します。  
ワンカット録画中は、「録画」ボタンを押してインデックス信号を記録することができません。  
（☞78）

## 外部機器とつなぐ

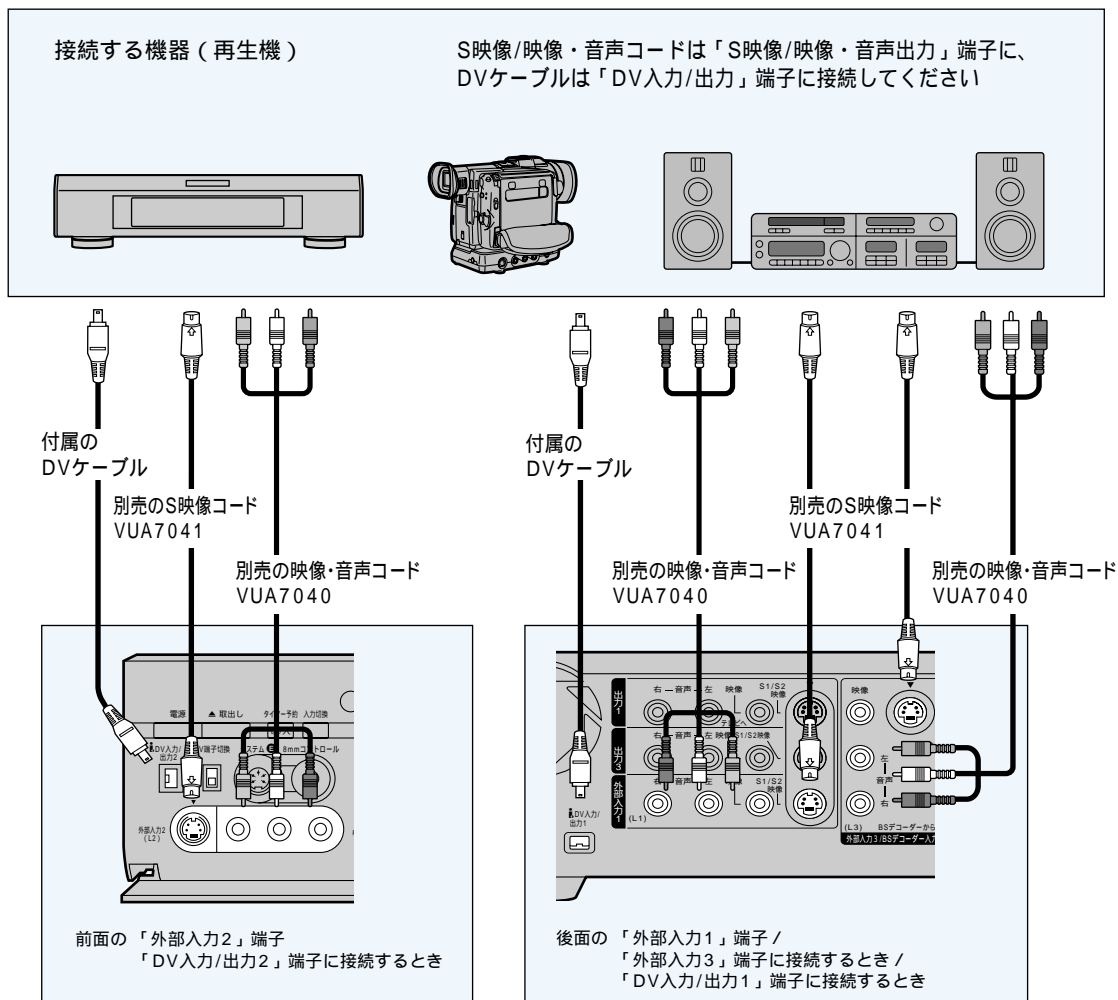
接続した機器から映像や音声を入力して、録画や編集などを行うことができます。

(録画の方法は56ページを、編集の方法は、編集編16～17ページをごらんください)

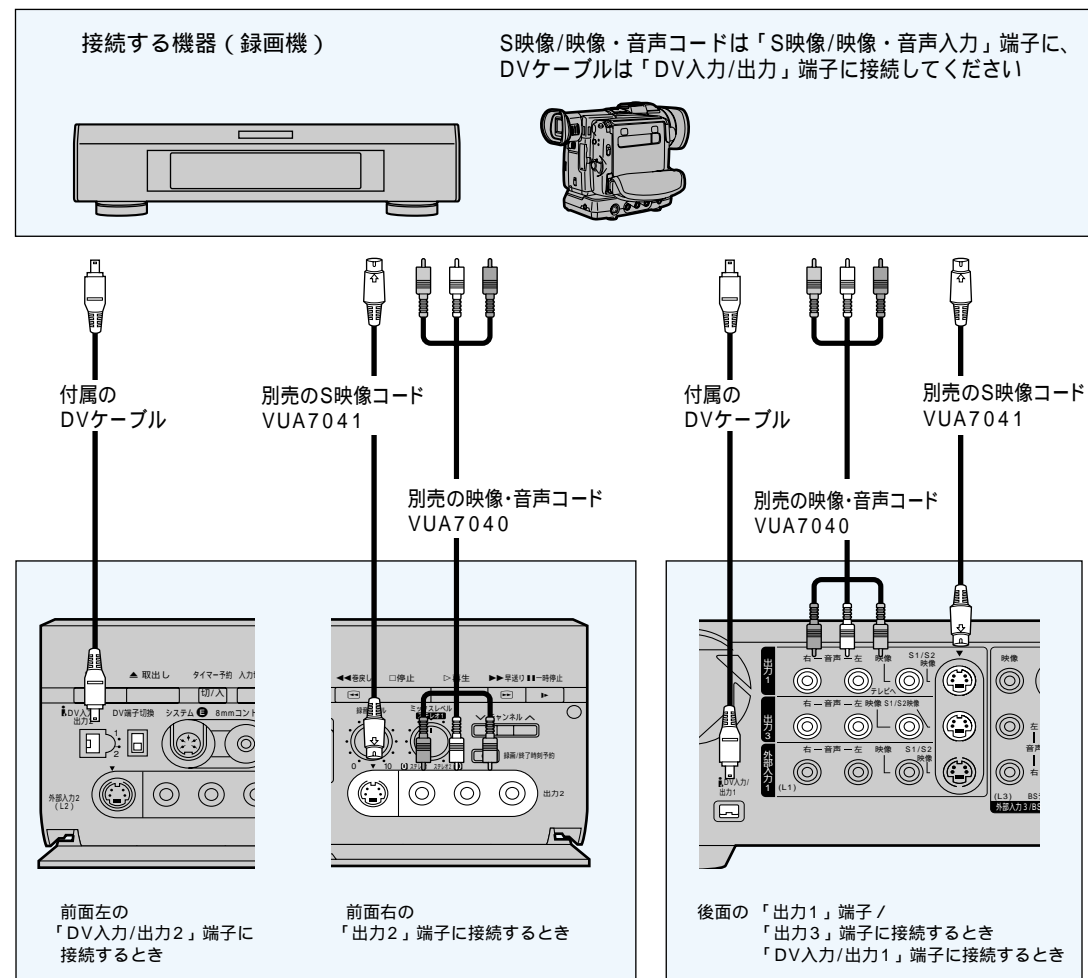
また、本機からの映像や音声を接続した機器へ出力することもできます。

それぞれの機器の電源を「切」にしてから接続してください。(各機器の説明書もお読みください)

### 外部機器から信号を入力する場合(本機を録画機にするとき)



### 外部機器へ信号を出力する場合(本機を再生機にするとき)



### お願い/ヒント

接続する機器に「S映像出(入)力」端子があるとき S映像コードでの接続を行ってください。

ないとき 正しい映像を録画するために、本機にS映像コードを接続しないでください。

モノラル音声を録音するときは、前面の「外部入力2」端子の音声「左/モノ」端子に接続してください。

「外部入力3」端子に接続しているときは、「オプション設定」(P.91)の「L3設定」を「ライン」にしてください。

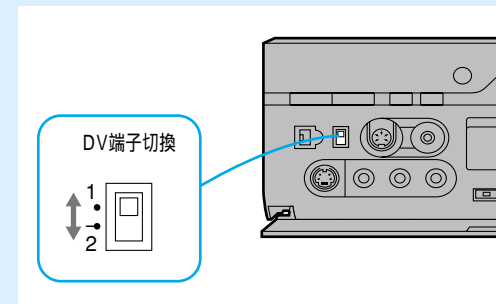
DV端子のある機器から映像・音声を入力するときは、編集に必要なケーブルだけを接続してください

DVケーブルと映像・音声コードを接続して、本機の入力切換を「外部入力(L1～L3)」にすると、テレビ画面が乱れたり、ノイズが出たりする場合があります。(録画や編集の結果に影響はありません)

### DV端子について

「DV入力/出力」端子に接続したときは、「DV端子切換」スイッチを、使用する端子の番号に合わせてください。

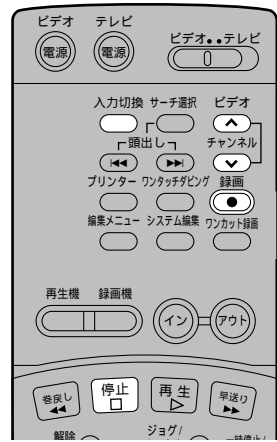
後面の「DV入力/出力1」端子のとき .....1  
前面の「DV入力/出力2」端子のとき .....2  
「DV入力」からの録画や編集の途中で、「DV端子切換」スイッチを切り換えしないでください。



# 外部機器から録画する (外部入力録画)

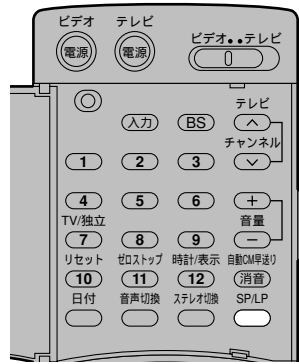
**準備** 外部入力端子に機器を接続する。(☞54)  
 テレビとビデオの電源を「入」にする。  
 テレビにビデオの画面を出す。(☞46)

記録する音声(12bit/16bit)を選ぶ。(☞45)  
 誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる。(☞42)



- 1 「入力切換」ボタン、または「ビデオチャンネル」ボタンを押して、外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ  
 DV入力は、「DV端子切換」スイッチで設定されている方が選ばれます。

外部機器を接続した端子	外部入力チャンネル
外部入力1端子(本機後面)	L1
外部入力2端子(本機前面)	L2
外部入力3端子(本機後面)	L3
DV入力/出力端子1(本機後面)	DV(入力)1
DV入力/出力端子2(本機前面)	DV(入力)2



- 2 「SP/LP」ボタンで「SP」または「LP」を選ぶ
- 3 「録画」ボタンを押す  
 録画が始まり、ビデオ表示部に「d 1」の表示が出ます。

**録画をやめるとき**  
 「停止」ボタンを押す  
 接続している機器の動作も停止させてください。

## お願い/ヒント

「オプション設定」(☞91)の「L3設定」を「BSデコーダー/M-N」にしているときは、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。とばされた外部入力チャンネルは選べません。市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)やデジタルCS放送などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりします。

# リモコンを使って簡単にダビングをする (ワンタッチダビング)

本機のリモコンを使って、本機ともう1台のビデオを同時に動かして、簡単にダビング(映像と音声のコピー)をすることができます。  
 (下記の手順で、接続したビデオのメーカー番号を合わせる必要があります)

本機リモコンの「ワンタッチダビング」ボタンと「再生」ボタンを同時に押し、録画機には「録画」の、再生機には「再生」の信号を出して、ダビングを開始します。  
 当社製のビデオと接続するときは、正常に動作させるために本機ともう1台のリモコンモードを必ず変えておいてください。(☞81)

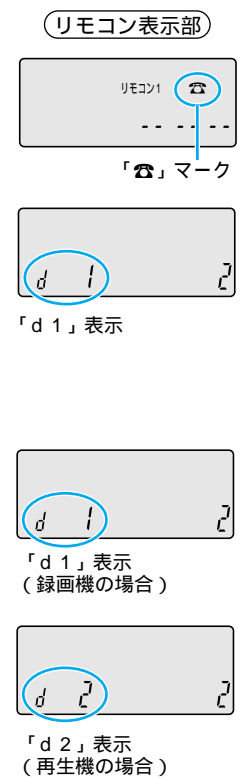
## 接続したビデオのメーカー番号を合わせる

**準備** もう1台のビデオと本機を接続する。接続したビデオと本機を、リモコンの信号が一度に届く範囲に置く。  
 接続するビデオを再生機とする場合 ☞54 接続したビデオと本機の電源を「入」にする。  
 接続するビデオを録画機とする場合 ☞55

接続したビデオを動作させるために、下記の手順で次の設定を行います。  
 接続したビデオを「録画機」「再生機」のどちらかに設定する  
 接続したビデオのメーカー番号の設定



- 1 「設定(長押し)」ボタンを約2秒以上押し、リモコン表示部に「☎」マークを出す
- 2 「設定(長押し)」ボタンを3回押し、リモコン表示部に「d 1」の表示を出す
- 3 接続したビデオを録画機、再生機のどちらかに設定する  
 「チャンネル」ボタンを押し、  
 録画機にする場合は 「d 1」  
 再生機にする場合は 「d 2」を選ぶ



(次のページにつづく)

外部機器から録画する(外部入力録画) 再生・録画 リモコンを使って簡単にダビングをする(ワンタッチダビング)

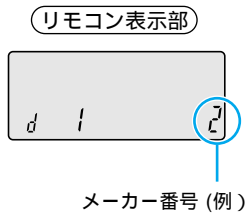


# リモコンを使って簡単にダビングをする (ワンタッチダビング) つづき

## 接続したビデオのメーカー番号を合わせる (つづき)



- 4 接続したビデオに向けて、「終了」ボタンを何度か押し、メーカー番号を合わせる  
 メーカー番号が合うと、ビデオの電源が「切」または「入」になります。「+」側を押すごとに、下記のように変わります。  
 (「-」側を押すと逆方向に戻ります)  
 ◀ 1 → 2 → 3 → … 19 ▶

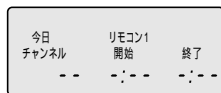


ビデオメーカー番号一覧

番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー
1	松下 (①)	8	ビクター (②)	15	日立 (①)
2	松下 (②)	9	三菱 (①)	16	日立 (②)
3	松下 (③)	10	三菱 (②)	17	日立 (③)
4	ソニー (①)	11	東芝 (①)	18	三洋 (①)
5	ソニー (②)	12	東芝 (②)	19	三洋 (②)
6	ソニー (③)	13	シャープ (①)		
7	ビクター (①)	14	シャープ (②)		

一覧表のメーカーのビデオでも、正しく操作できない場合があります。複数の番号を持つメーカーは、正しく操作できる方の番号に合わせてください。

- 5 「設定 (長押し)」ボタンを押す



### お願い/ヒント

再生機側に使用するカセットは、誤消去防止のつめを折っておくことをおすすめします。デジタルビデオカセットの場合は、誤消去防止つまみを「SAVE」側にしてください。(P42)  
 ワンタッチダビングは、ビデオカメラと接続して行うことはできません。  
 本機を再生機とするときは、「オプション設定」(P90)の「3次元NR」を「切」にしておいてください。

「外部入力」からの映像を本機で録画するとき再生機からの画面に細かいゆれやゆがみがあるときは、「オプション設定」(P91)の「ライン入力TBC」を「入」にしておいてください。

## ワンタッチダビングをする

準備 接続したビデオのメーカー番号設定をする。(P57)  
 録画機の入力切換を、再生機と接続した外部入力チャンネルに切り換える。

- 1 再生機、録画機をダビングを開始する場面で停止させる
- 2 「ワンタッチダビング」ボタンを押しながら、「再生」ボタンを押す  
 両方のビデオが正確に動作するまで、リモコンはビデオの方に向けておいてください。



### ダビングをやめるとき

「ワンタッチダビング」ボタンを押しながら、「停止」ボタンを押す

当社製ビデオと接続して、一方のリモコンモードを変えてからダビングをしようとしたとき手順②で、「ワンタッチダビング」ボタンと「再生」ボタンを押すと、接続したビデオの表示部に下記のような表示が出ることがありますが、ダビング動作には問題ありません。



ビデオ表示部 (例)

# 予約録画

本機では、1 カ月以内、最大 8 番組を予約することができます。  
番組の予約には、下記の 2 つの方法があります。

## Gコード予約（下記）

録画したい番組の「Gコード」をリモコンに入力し、ビデオに転送する予約方法

Gコードとは、新聞などのテレビ番組欄でそれぞれの番組に付けられている、最大 8 けたの数字のことです。

受信チャンネルを設定するときに、必ずガイドチャンネルを設定しておいてください。（㊦35）

## フリーセット予約（㊦62）

予約日・チャンネル・開始時刻・終了時刻などをリモコンで設定し、ビデオに転送する予約方法

# Gコードで予約する（Gコード予約）



テレビとビデオの電源を「入」にする。

テレビにビデオの画面を出す。（㊦46）

ビデオの時計が正しいことを確認する。

記録する音声（12bit/16bit）を選ぶ。（㊦45）

誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる。（㊦42）

再生や録画などの動作は停止させる。

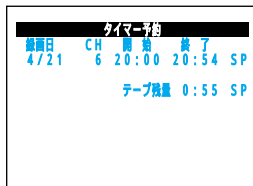
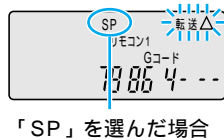
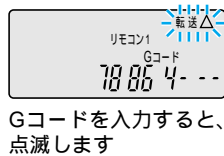
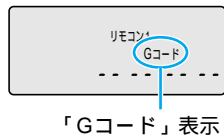


1 「Gコード予約」ボタンを押し、リモコン表示部に「Gコード」表示を出す

2 「数字」ボタンを押し、Gコードを入力する  
間違えたときは、「Gコード予約」ボタンを2回押し、正しいGコードを入力し直してください。  
テープ速度（SP/LP）を変えるとときは、「SP/LP」ボタンで選ぶ  
選ばないときは、現在選ばれているテープ速度で予約されます。

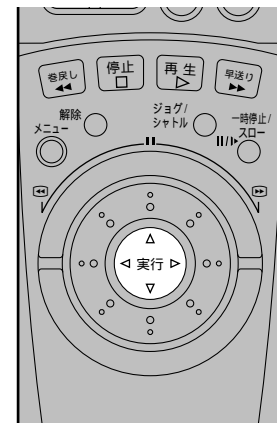
3 「転送」ボタンを押す  
テレビ画面に予約内容が表示され（約 14 秒間）、その後予約録画の待機状態になります。  
続けて予約するには、手順 1 ~ 3 をくり返してください。

### リモコン表示部



## 予約内容を変更するには

手順 3 で画面に予約内容が表示されている間に、フリーセット予約ボタン、「SP/LP」ボタンで予約内容を修正する修正操作をした約 14 秒後に、予約録画の待機状態になります。  
「曜日/日」ボタンで録画日を「毎日・毎週予約」（㊦62）に変更できますが、日付の変更はできません。



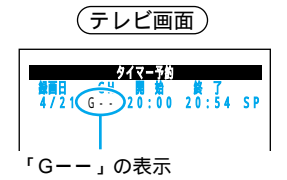
Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

## 予約チャンネルが選ばれないとき

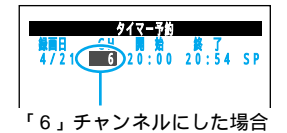
転送後のテレビ画面の「CH」の項目が「G --」となっているときは、ガイドチャンネルが正しく設定されていません。

このときは、下記の操作をすると、予約も完了し、ガイドチャンネルも正しく設定されます。

1 テレビ画面に「G --」が出ている間に、「チャンネル」ボタンを押し、予約チャンネルを合わせる



2 リモコンおもて面の「実行」ボタンを押す  
予約が完了し、予約録画の待機状態になります。  
ガイドチャンネルも自動的に設定されます。



## お願い/ヒント

Gコード予約した番組は、実際の放送時間より多少長めに録画される場合があります。

Gコード予約では、番組開始・終了の予定時刻に合わせて予約されるので、放送開始が遅れたり、番組が延長されたときなどは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。毎日・毎週予約した番組も、1 番組として数えてください。（最大 8 番組予約できます）

転送後のテレビ画面には、テープ残量も表示されます。

現在選ばれているテープ速度（SP/LP）で計算されたテープ残量です。

カセットを入れた直後など、残量計算できていないときには表示されません。

転送したときに、テレビ画面に「予約内容にミスがあります」と表示されたときは、もう一度最初から予約し直してください。

複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、Gコード予約が正しくできません。不要なチャンネルは必ずとばしておいてください。（㊦38）

転送すると、ビデオ表示部に「FULL」が表示されるときは、すでに 8 番組が予約されています。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。（㊦64）

# 番組を指定して予約する (フリーセット予約)

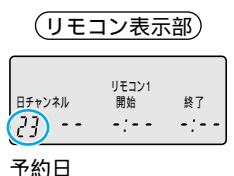
1 予約日、2 チャンネル、3 開始時刻、4 終了時刻などをリモコンで設定し、ビデオに転送する予約方法です。

- 準備
  - テレビとビデオの電源を「入」にする。
  - テレビにビデオの画面を出す。(P46)
  - ビデオの時計が正しいことを確認する。
  - 記録する音声 (12bit/16bit) を選ぶ。(P45)

- 誤消去防止つまみを「REC」側にしてあるカセットを入れる。(P42)
- 再生や録画などの動作は停止させる。



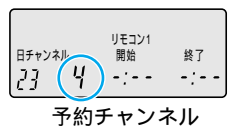
1 「曜日/日」ボタンを押し、予約日を合わせる



「曜日/日」ボタンの「+」側を押すごとに、下記のように変わります。「-」側を押すと、逆の方に戻ります)

「今日」の予約	今から 24 時間以内に始まる予約
1 週間以内の予約	曜日を指定して予約できます。 日 月 火 水 木 金 土
1 カ月以内の予約	日付を指定して予約できます。 1 2 3 ... 31
毎日予約	毎日同じ番組を予約できます。 毎週日 ~ 土 (1 週間、毎日) 毎週月 ~ 土 毎週月 ~ 金
毎週予約	毎週同じ曜日の番組を予約できます。 毎週日 毎週月 ... 毎週土

2 「チャンネル」ボタンを押し、予約チャンネルを合わせる



「チャンネル」ボタンの「+」側を押すごとに、下記のように変わります。

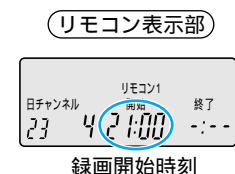
- 必ず「表示チャンネル」(ビデオ表示部などに表示させているチャンネル) で合わせてください。
- 「-」側を押すと、逆の方に戻ります。
- 押すごとに 1 ずつ、押し続けると 10 ずつ変わります。

VHF/UHF チャンネル	1 2 3 ... 62
BS チャンネル	BS1 BS3 BS5 ... BS15
CATV チャンネル	C13 C14 C15 ... C63 工場出荷時はとばされています。
外部入力チャンネル	L1 L2 L3

不要なチャンネルをとばしておいてすばやく予約チャンネルを合わせたい方は、「予約チャンネル表示設定」(P66) を行っておくことをおすすめします。  
ビデオ本体にない「表示チャンネル」では予約できません。  
「DV 入力」チャンネルは予約できません。

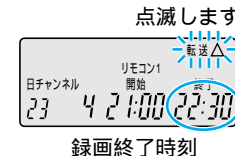
3 「開始」ボタンを押し、録画開始時刻を合わせる

1 回押すと 1 分単位で、押し続けると 30 分単位で変わります。(24 時間表示)



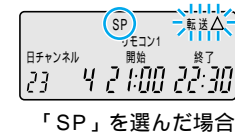
4 「終了」ボタンを押し、録画終了時刻を合わせる

1 回押すと 1 分単位で、押し続けると 30 分単位で変わります。(24 時間表示)



5 「SP/LP」ボタンを押し、「SP」または「LP」を選ぶ

選ばないときは、現在ビデオが選んでいるテープ速度で予約されます。



6 「転送」ボタンを押す

テレビ画面に予約内容が表示され、そのあと約 14 秒後に予約録画の待機状態になります。



### お願い/ヒント

すぐに録画を始めたいときは、予約チャンネルと録画終了時刻のみを合わせて (手順 2、4) 転送してください。

2 つ以上の予約をするときは、手順 1 ~ 6 をくり返してください。(予約録画の待機中でも、予約の転送は受け付けます)

毎日・毎週予約した番組も、1 番組として数えてください。(最大 8 番組予約できます)

転送後のテレビ画面には、テープ残量も表示されます。

現在選ばれているテープ速度 (SP/LP) で計算されたテープ残量です。

カセットを入れた直後など、残量計算できていないときには表示されません。

転送すると、ビデオ表示部に「FULL」が表示される場合は、すでに 8 番組が予約されています。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。(P64)

転送前ならどの項目でも修正できますが、転送後の修正はできません。不要な予約内容を取り消してから予約し直してください。(P64)

番組を指定して予約する (フリーセット予約) 予約録画

## 予約内容を確認する

ビデオの電源が「入」のとき、またはビデオ表示部に「予約」表示が出ているときに操作してください。

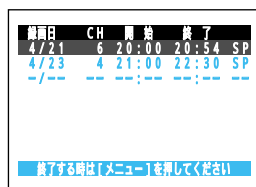
**準備** テレビの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。(P46)



「確認」ボタンを押す

テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。

テレビ画面



## 予約内容を取り消す

ビデオの電源が「入」で再生や録画などの動作状態でないとき、またはビデオ表示部に「予約」表示が出ているときに操作してください。

**準備** テレビの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。(P46)



1 「確認」ボタンを押す

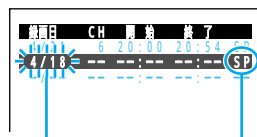
テレビ画面



2 「確認」ボタンをさらに何度か押し、取り消したい予約内容を選ぶ



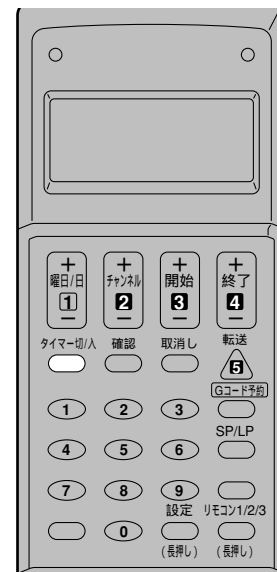
3 「取消し」ボタンを押す  
予約内容が取り消されます。



予約録画の待機状態のときは、「--」の表示になります。

## 予約録画の待機を一時解除する

予約録画の待機中にカセットの入れ替えや再生などをしたときは、予約録画を解除してから操作してください。



「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す  
ビデオが電源「入」の状態になります。

ビデオ表示部



「予約」表示



電源が「入」のとき

元の状態に戻すとき

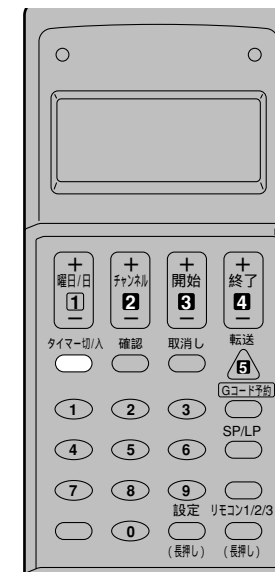
「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部に「予約」表示を出す  
ビデオが予約録画の待機状態に戻ります。

お願い/ヒント

ビデオ表示部に「予約」表示を出しておかないと、予約録画はされません。  
ビデオ本体の「タイマー予約切/入」ボタンでも予約録画の解除はできます。

## 予約録画を途中でやめる

始まった予約録画を途中でやめたいときは、下記の操作を行ってください。



予約録画の実行中に「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消す  
ビデオが録画をやめ、電源「入」の状態になります。

ビデオ表示部



「予約」表示



電源が「入」のとき

予約録画を再開するとき

「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部に「予約」表示を出す  
ビデオが予約録画を再開します。

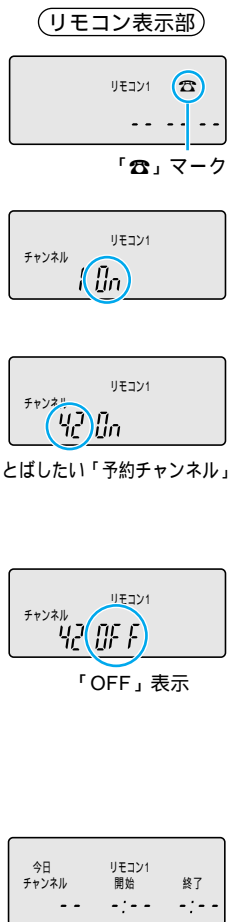
## 予約チャンネルをとばす (予約チャンネル表示設定)

リモコンの不要な予約チャンネルをとばし、ビデオ本体の「表示チャンネル」に合わせておくと、「フリーセット予約」(P62) をするとき、より素早く「予約チャンネル」を合わせることができます。

工場出荷時には、CATVチャンネルを除くすべてのチャンネルを表示するようになっています。  
CATV放送を受信される場合は、必ず下記の操作を行って、予約チャンネルを表示させてください。



- 1 「設定 (長押し)」ボタンを約 2 秒以上押し、リモコン表示部に「☎」マークを出す
- 2 「設定 (長押し)」ボタンを押して、リモコン表示部に右のような表示を出す
- 3 「チャンネル」ボタンを押し、とばしたい予約チャンネルを表示させる  
押し続けると 10 ずつ変わります。
- 4 「開始」ボタンを押して、「ON」表示を「OFF」表示に変える  
押すごとに、「OFF」と「ON」が切り換わります。  
表示させたい場合は、「ON」の表示にしてください。
- 5 「設定 (長押し)」ボタンを 3 回押す



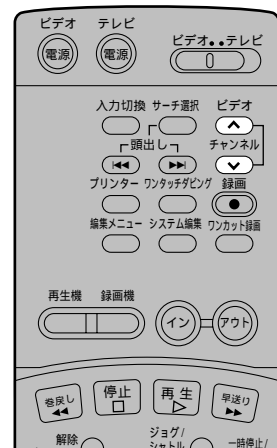
### お願い/ヒント

必ず表示チャンネル (ビデオで表示させているチャンネル) で設定してください。  
とばされたチャンネルは「フリーセット予約」ができなくなります。  
外部入力チャンネルはとばせません。  
2 つ以上のチャンネルをとばしたいときは、上記の手順 ③ ~ ④ をくり返してください。

## BS 放送を見る

テレビに BS チューナーが内蔵されていない場合でも、下記の操作で BS 放送を見ることができます。

- 準備
- ビデオとテレビの電源を「入」にする。
  - テレビにビデオの画面を出す。(P46)



「ビデオチャンネル」ボタンで、見たい BS チャンネルを選ぶ

テレビにビデオで選んだチャンネルの放送が映ります。



BS7チャンネルを選んだ場合

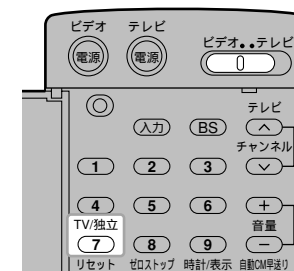
本機は高感度の BS チューナー (はっきりチューナー) を内蔵しており、多少の悪天候でもきれいな映像をお楽しみいただけます。  
雷雨や豪雨のときや、アンテナに雪が付いたときなどは、一時的に映像や音声にノイズが出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、BS アンテナやビデオの故障ではありません。  
BS 放送は、放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止される場合があります。

## BS 放送の音声を切り換える

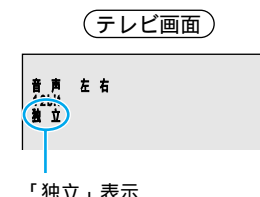
BS 放送の音声には、次の 2 種類があります  
「テレビ音声」...映像と合った音声  
「独立音声」.....映像と関係のない音声

- 準備
- ビデオとテレビの電源を「入」にする。
  - テレビにビデオの画面を出す。(P46)
  - ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にする。

ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にしてください



BS 放送の受信中に、「TV/独立」ボタンを押し、音声を切り換える  
独立音声を選ぶと、テレビ画面に「独立」表示が出ます。

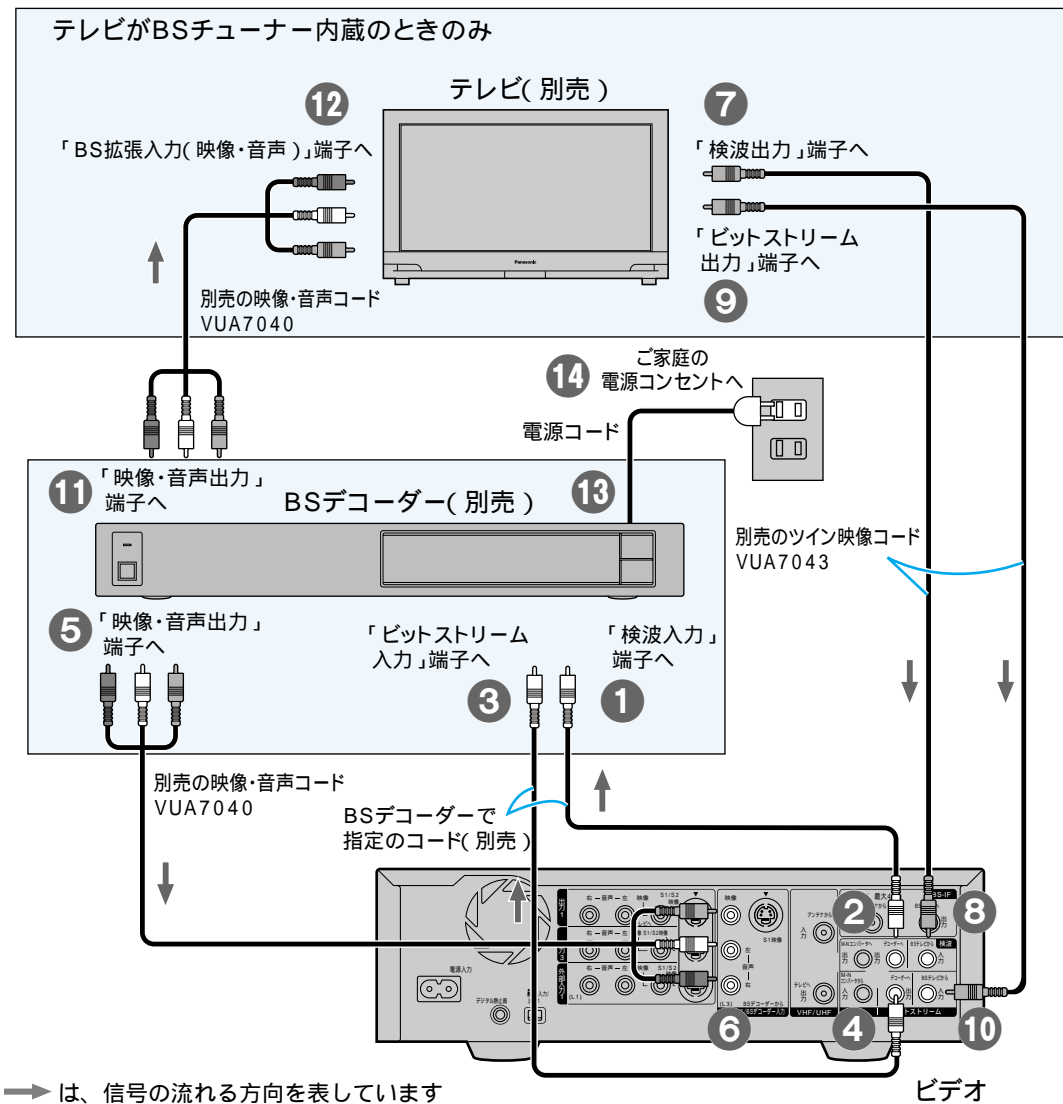


「独立」表示

「A モード」放送と「B モード」放送  
BS 放送には、「A モード」放送と「B モード」放送があります。  
A モード放送 .....通常の番組の音声で、「テレビ音声」と「独立音声」の両方を送ってきます。  
B モード放送 .....音楽番組などを、より高音質の「テレビ音声」のみで送ってきます。  
「B モード」放送の番組を録画するときは、16bit モードで録音されることをおすすめします。(P45)  
BS デコーダーや M-N コンバーターを本機に接続して WOWOW やハイビジョン放送を受信しているときは、BS デコーダーや M-N コンバーター側で音声を切り換えてください。

# WOWOW を見るために

WOWOW を見るには、JSB との受信契約と、スクランブルを解除するための別売の BS デコーダーが必要です。WOWOW とは、JSB (日本衛星放送株式会社) の有料放送の愛称です。24 ~ 29 ページの接続のあと、下記の順番でビデオ・テレビと BS デコーダーを接続してください。接続するときは、各機器の電源を「切」にし、かわいた手で行ってください。テレビや BS デコーダーの説明書もよくお読みください。St. GIGA (セント・ギガ) とも受信契約をされている方は、右のページもごらんください。WOWOW を見るときは、ビデオで BS5 チャンネルを選ぶとともに、BS デコーダーの電源を「入」にしてください。



## お願い/ヒント

「オプション設定」(P91)の「L3設定」は「BSデコーダー/M-N」に設定しておいてください(工場出荷時は「BSデコーダー/M-N」になっています)

このときは、外部入力チャンネル「L3」が自動的にとばされます。

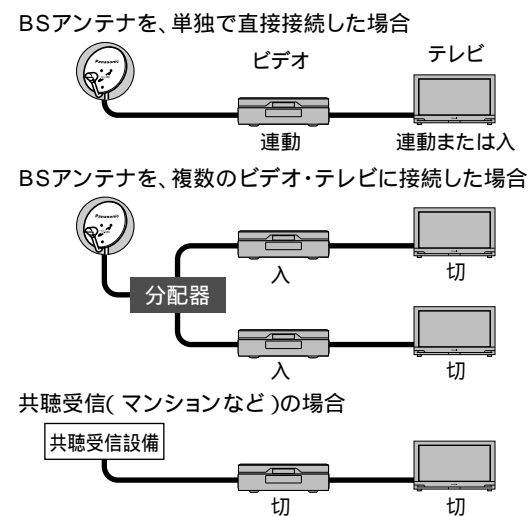
## テレビでWOWOWが見られないとき

下記の①または②のようなときに、BSチューナー内蔵テレビでBS放送をきれいに受信できないとき

- ① 本機の電源が「切」のとき
- ② 本機でBSチャンネル以外のチャンネルを選んでいるとき

ビデオやテレビの「BSアンテナ電源」の設定が正しくないことが考えられます。

下図を参考に、ビデオとテレビの両方の「BSアンテナ電源」を、必ず正しく設定してください。(P29)



## St. GIGA と受信契約された方

St. GIGA (セント・ギガ) は、BS5 チャンネル (WOWOW) の「独立音声」で行われている音声のみの有料放送です。

お楽しみいただくには、St. GIGA との受信契約と、別売の BS デコーダーが必要です。

BS デコーダーは、WOWOW を見るときに必要なものと同じです。

(BS デコーダーの説明書もお読みください)

「マニュアルチャンネル設定」(P36)でBS5チャンネルの「BSシステム」を「デコーダー[入]」に設定してください。

テレビの画面はWOWOWを映していますが、音声はSt. GIGAになります。

テレビのチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

テレビ .....電源を「入」にし、BS5チャンネルを選ぶ。

BSデコーダー .....電源を「入」にし、「独立音声」を選ぶ。

ビデオのチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

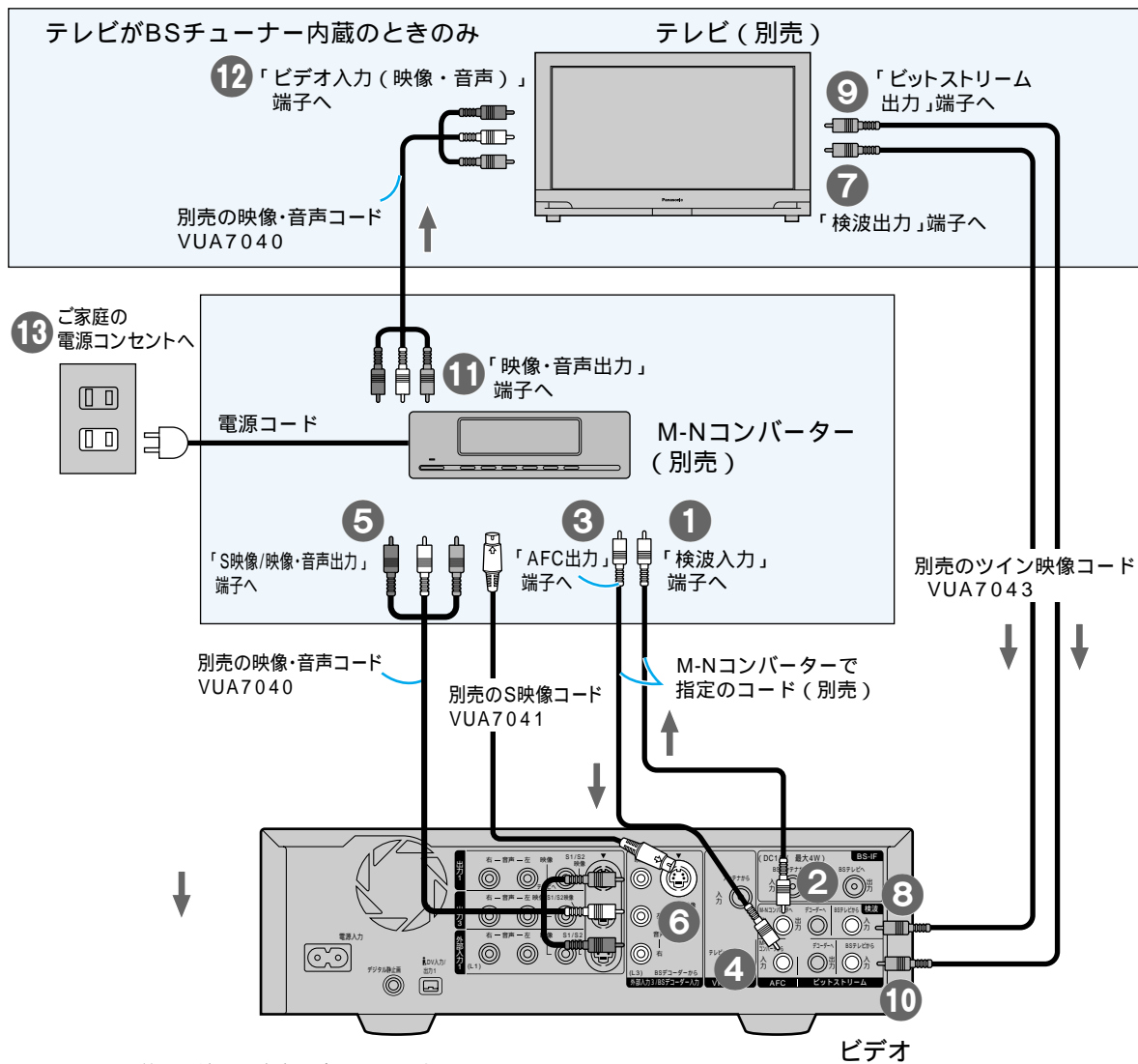
テレビ .....電源を「入」にし、入力切替を「ビデオ」にする。

ビデオ .....電源を「入」にし、BS5チャンネルを選ぶ。

BSデコーダー .....電源を「入」にし、「独立音声」を選ぶ。

# ハイビジョン放送を見るために

ハイビジョン放送を見るには、<sup>ミューズ</sup> MUSE信号を<sup>エステーエスシー</sup> NTSC信号に変換するための、別売のM-Nコンバーターが必要です。画質はNTSC方式と同じになります。下記の順番で、ビデオ・テレビとM-Nコンバーターを接続してください。接続するときは、各機器の電源を「切」にし、かわいた手で行ってください。テレビやM-Nコンバーターの説明書もよくお読みください。



## ハイビジョン放送について

ハイビジョンとは、現在行われているNTSC方式の放送の約5倍の情報量を持った、「横：縦」比が「16：9」の次世代放送方式のことです。ハイビジョンの信号は圧縮してから送られてきますが、その信号 (MUSE信号) を現在ご使用のテレビでご覧いただけるように、NTSC方式の信号に変換するための機器がM-Nコンバーターです。

左ページの接続後、BSチューナー内蔵テレビでハイビジョン放送を見る時は、テレビ側でハイビジョン放送のチャンネルを選んだあと、テレビの入力切替をM-Nコンバーターと接続した外部入力に切り換えてください。この方法で見ることができないときは、テレビ側のハイビジョン放送の「拡張入力 (BSデコーダ入力) 設定」を「強制」にしてください。(テレビによっては見ることができない場合があります)

## お願い/ヒント

「オプション設定」(P91)の「L3設定」は「BSデコーダ/M-N」に設定しておいてください(工場出荷時は「BSデコーダ/M-N」になっています) このときは、外部入力チャンネル「L3」が自動的にとばされます。

# WOWOW とハイビジョン放送を見るために

WOWOW とハイビジョン放送の両方を受信するには、下記のような別売のBS デコーダー/M-N コンバーターとの接続が必要です。(WOWOW、ハイビジョン放送については、☎68、70)

下記の順番で、ビデオ・テレビとBS デコーダー・M-N コンバーターを接続してください。

接続するときは、各機器の電源を「切」にし、かわいた手で行ってください。

テレビやBS デコーダー、M-N コンバーターの説明書もよくお読みください。

St. GIGA (セント・ギガ) とも受信契約をされている方は、69 ページもご覧ください。

## お願い/ヒント

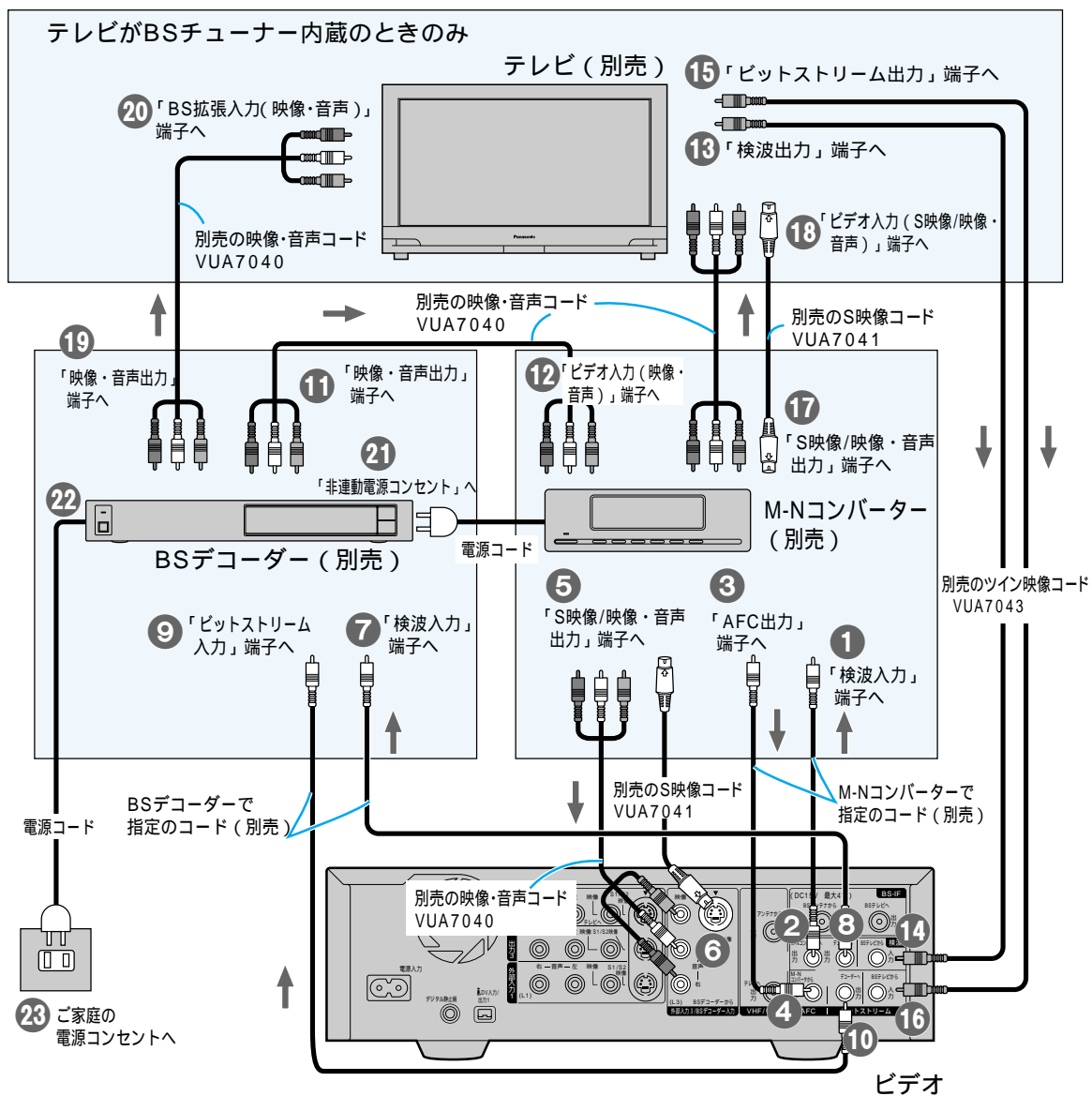
BS チューナー内蔵テレビと左ページの接続をすると、WOWOW とハイビジョン放送とで裏番組録画ができます。

(ただし、下記のテレビ側の操作が必要です)

- 1 テレビでWOWOW またはハイビジョン放送のチャンネルを選ぶ。
- 2 テレビの入力切換を、BS デコーダーまたはM-N コンバーターと接続している外部入力に切り換える。

「オプション設定」(☎91) の「L3 設定」は「BS デコーダー/M-N」に設定しておいてください(工場出荷時は「BS デコーダー/M-N」になっています)

このときは、外部入力チャンネル「L3」が自動的にとばされます。

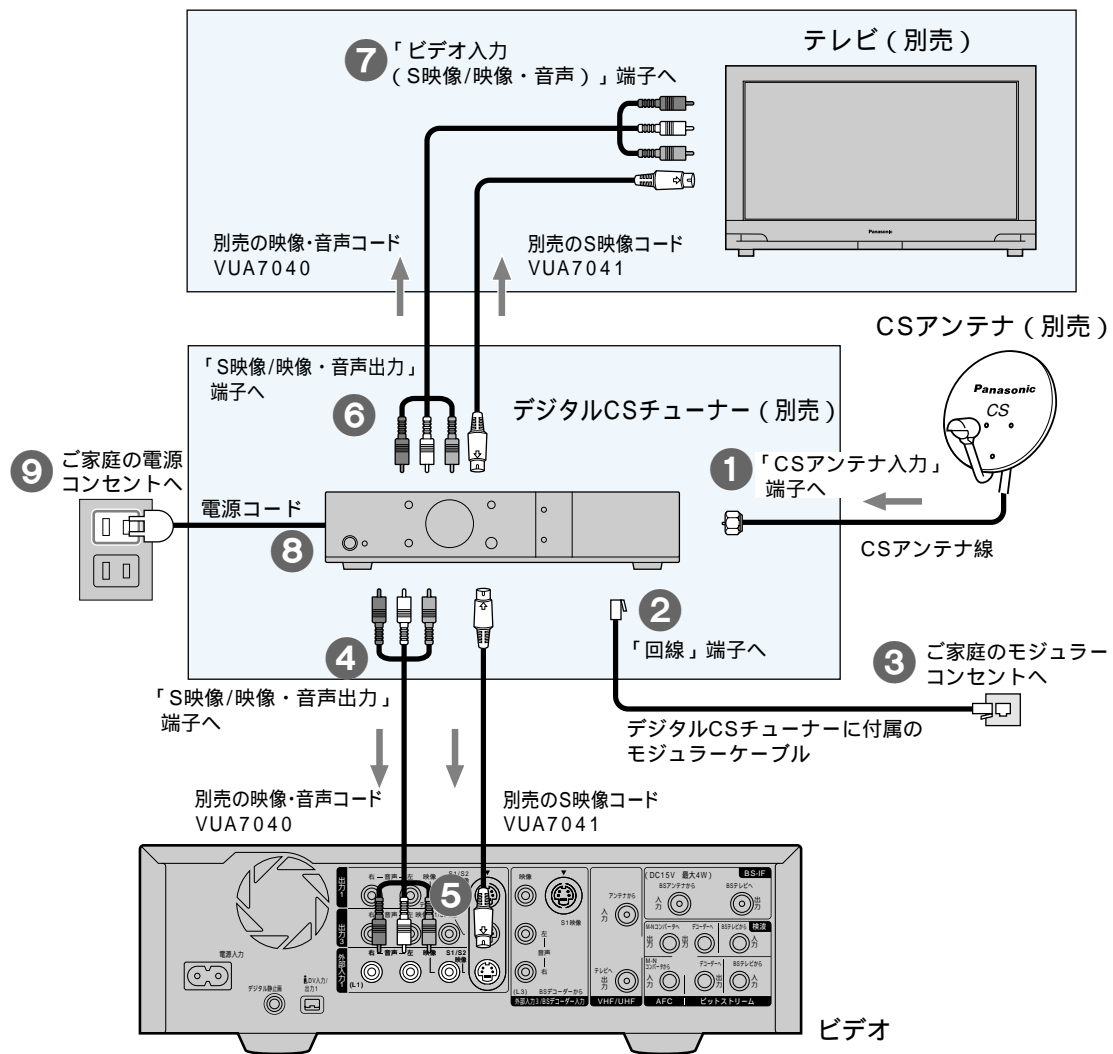


→ は、信号の流れる方向を表しています



# デジタルCS放送を見るために

デジタルCS放送を見るには、別売のデジタルCSチューナーが必要です。  
 下記の順番で、デジタルCSチューナーを接続してください。  
 接続するときは、各機器の電源を「切」にし、かわいた手で行ってください。  
 テレビやデジタルCSチューナーの説明書もよくお読みください。  
 「外部入力1」端子に接続した例



→ は、信号の流れる方向を表しています

## お願い/ヒント

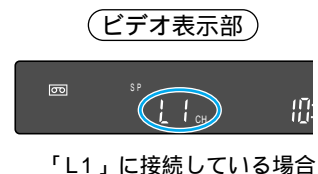
デジタルCS放送の視聴・録画には、専用のデジタルCSチューナーが必要です。さらに、使用する機器ごとにデジタルCS放送会社との受信契約が必要となります。(くわしくは、デジタルCS放送会社にご相談ください)  
 CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。

アナログ方式(従来)のCSチューナーを接続するときは、モジュラーケーブルでの接続は必要ありません。

## テレビにデジタルCS放送の画面を出すとき

**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。  
 テレビにビデオの画面を出す。(P.46)

- 1 「入力切換」ボタンまたは、「ビデオチャンネル」ボタンで、デジタルCSチューナーと接続した外部入力チャンネルを選ぶ
- 2 デジタルCSチューナーの電源を「入」にする
- 3 デジタルCSチューナー側で見たいチャンネルを選ぶ



「L1」に接続している場合



## 見るのをやめるとき

ビデオ、テレビ、デジタルCSチューナーの電源をすべて「切」にする

コピーガードのかかっている番組を見るときビデオを経由してデジタルCS放送を見ようとすると、画像がきれいに映らない場合があります。このときは、デジタルCSチューナーから直接テレビに映像・音声コードを接続し、テレビの入力をデジタルCSチューナーに切り換えてご覧ください。

有料番組などを録画するとき必ずデジタルCSチューナー側で必要な設定を行ってください。  
 (録画できない番組や、録画するために追加料金の必要な番組などもあります)

デジタルCS放送を見るために

B・S・CATV

## CATV 放送を見るために

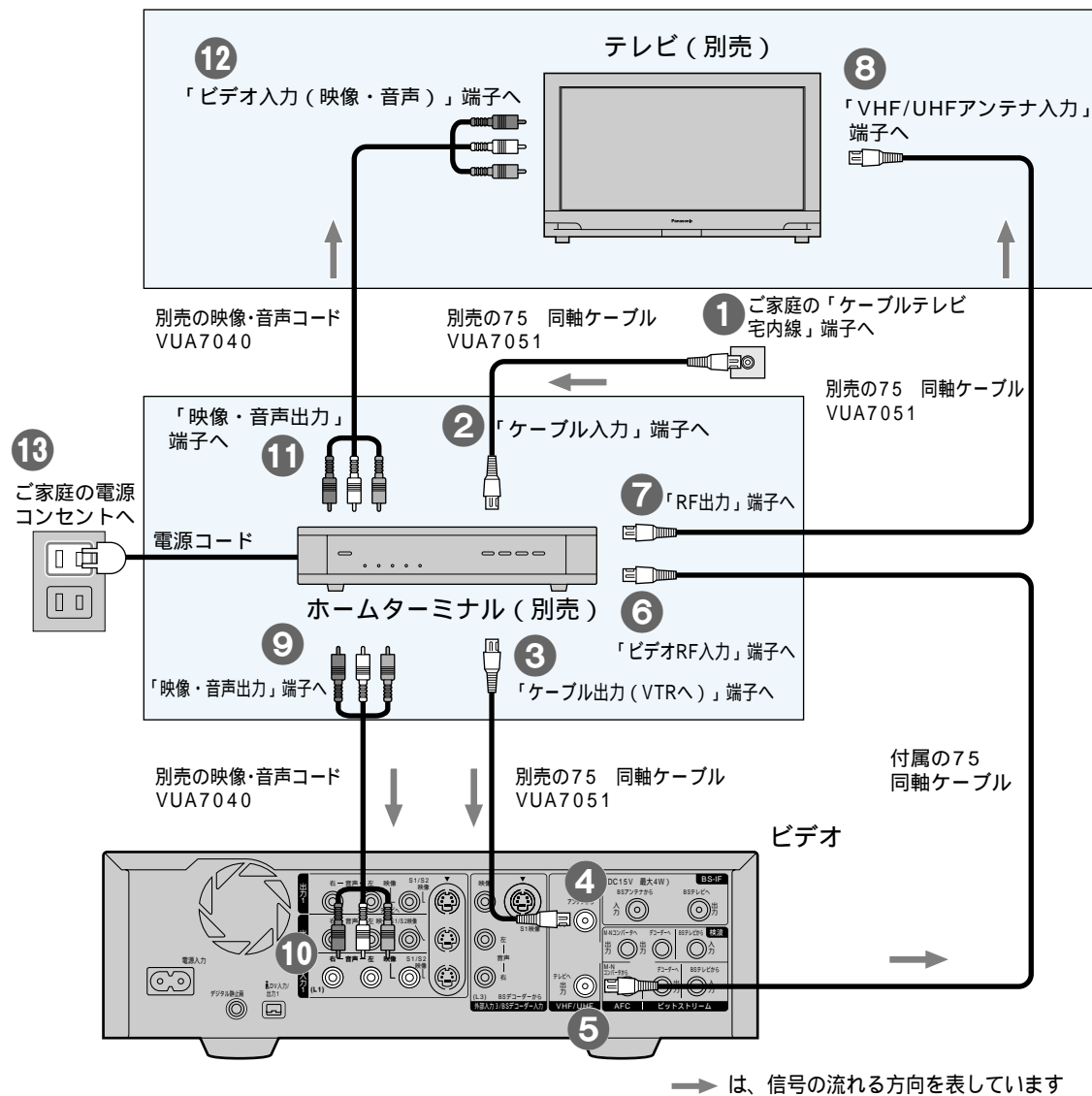
CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。(くわしくは、CATV会社にご相談ください)

CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

ホームターミナルの接続は、契約されたCATV会社が行います。その後、本機を移動された場合などで接続し直すときは、下記の順番で、ビデオ・テレビとホームターミナルを接続してください。

接続するときは、各機器の電源を「切」にし、かわいた手で行ってください。

(テレビやホームターミナルの説明書もよくお読みください)



### お願い/ヒント

上記の接続⑩で、「外部入力3」に接続した場合は、「オプション設定」(P91)の「L3設定」を「ライン」にしてください。

## CATV 放送の受信をされるとき

受信チャンネル設定を正しく行ってください。

特に、各放送局のガイドチャンネルの設定を行っておかないと、Gコード予約ができませんのでお気をつけてください。

「CATVチャンネルを登録する」(P37)

リモコンの「予約チャンネル表示設定」を行ってください。

工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。そのままでは、フリーセット予約ができません。

「予約チャンネル表示設定」(P66)

有料放送を受信するときは、ビデオの入力を切り換えてください。

有料放送を、本機のチューナーで受信しても、きれいに映りません。

ホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(左のページの接続例の場合、外部入力チャンネル「L1」)に切り換えてください。(くわしくは、CATV会社にご相談ください)

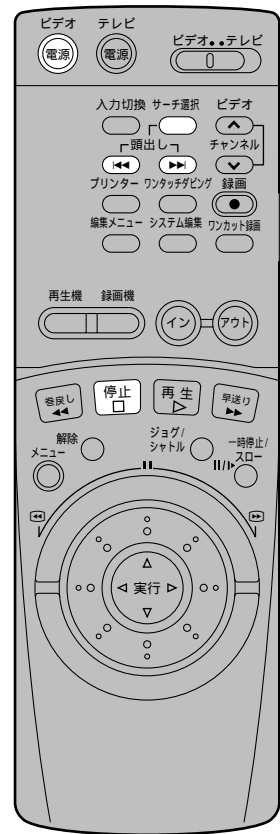
## 場面やフォトショット画像を頭出しする (インデックスサーチ/フォトサーチ)

本機には、場面とフォトショット画像の頭出し機能があります。

**インデックスサーチ:** 本機で録画をすると、録画の開始点で、自動的に「インデックス (頭出し信号)」が記録されます。この信号によって場面をさがし出し、そこから自動的に再生を始めます。

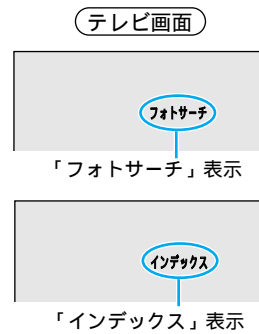
**フォトサーチ:** 「フォトショット用インデックス信号」が記録された静止画 (当社のデジタルビデオカメラでフォトショット撮影された映像など) をさがし出し、そこで静止画再生をします。

ビデオの電源が「入」で、停止または再生中に操作してください。



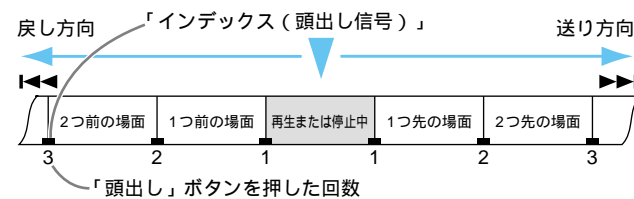
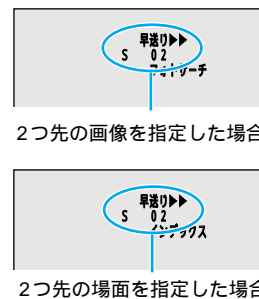
### 1 「サーチ選択」ボタンを押し、頭出しの種類を選ぶ。

押すごとに、「フォトサーチ」と「インデックス」とが切り換わりします。



### 2 見たい場面/画像がある方向の、「頭出し」ボタンを押す

早送りまたは巻き戻しを始め、場面/画像をさがします。続けて「頭出し」ボタンを押すと、さがす場面/画像を変更できます。(下の図を参照してください) 場面/画像を見つけると、そこから自動的に再生を始めます。



最大 20 箇所先までの場面/画像が指定できます。さがしたいところよりも、先の番号を指定してしまったときは、反対方向の「頭出し」ボタンを押して、場面/画像の指定を変更できます。

### 頭出しを途中でやめるとき

「停止」ボタンを押す

### お願い/ヒント

インデックスサーチについて

「インデックス (頭出し信号)」は、以下のときに自動的に記録されます。

- 「録画」ボタンや「ワンカット録画」ボタンを押して録画を始めたとき
- 予約録画が始まったとき
- 録画中に、リモコンの「録画」ボタンを押したとき

指定したはずの番組がさがせなかったときは、もう一度「インデックスサーチ」を行ってください。

インデックスの間隔が短いと、正しくさがし出せない場合があります。

(約 5 分以上は録画しておいてください)

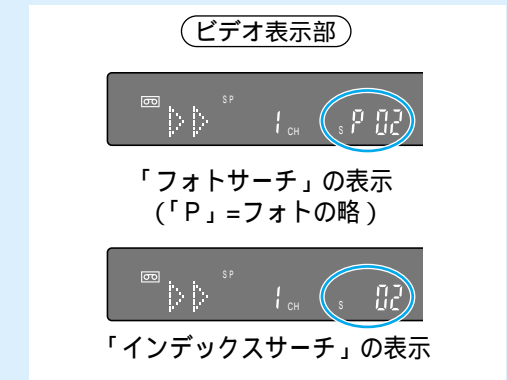
「フォトショット用インデックス信号」について本機で「フォトショット用インデックス信号」を記録することはできません。

フォトショットした画像が連続して記録されているときは、正しくさがし出せない場合があります。

「オプション設定」(F90) の「オンスクリーン」を「切」にしているとき

手順 ① で「サーチ選択」ボタンを押しても、「フォトサーチ」、「インデックスサーチ」表示は、画面に表示されません。

「頭出し」ボタンを押して、頭出しが始まったあと、ビデオ表示部の表示を確認してください。



### 頭出しの途中で頭出しの種類を変えるときは

- 「サーチ選択」ボタンを 1 回押す  
頭出しが中断され、別のサーチが選ばれます。
- 「頭出し」ボタンを押す  
選ばれた頭出しが始まります。

場面やフォトショット画像を頭出しする (インデックスサーチ/フォトサーチ)

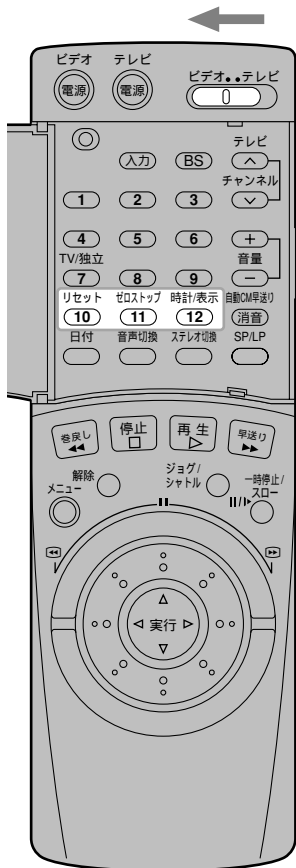
便利な機能

## 指定した場面に戻る (ゼロストップ)

お好みの場面でテープカウンターをリセットすると(「0:00.00」にすると)、いつでもボタン一つでその場面に戻ることができます。

### テープカウンターを「0:00.00」にする

ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にしてください



1 再生中に、「時計/表示」ボタンを何度か押し、テープカウンター表示を出す (テープカウンター表示について、くわしくは 89 ページをお読みください)

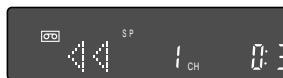


2 お好みの場面で、「リセット」ボタンを押す  
テープカウンターの値が「0:00.00」になります。



### お好みの場面に戻る

停止させてから、「ゼロストップ」ボタンを押す  
テープカウンターの値が「0:00.00」付近まで巻き戻しを行い、停止します。テープ位置が「0:00.00」よりも前にあるときは、早送りを行い、「0:00.00」付近で停止します。

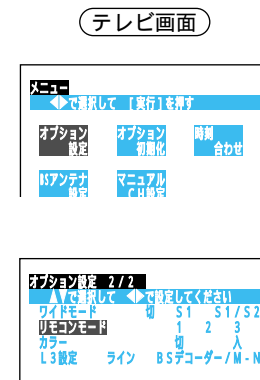
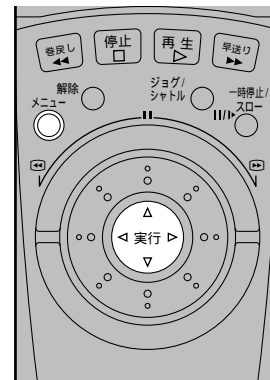


## 複数の当社製ビデオを使用するとき (リモコンモード設定)

リモコンモードを変えておくと、複数の当社製ビデオを同じ場所で操作できるようになります。当社製のビデオは、ほとんどが同じ方式のリモコンを使っているため、同じ場所で操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しく操作ができません。下記の操作で、リモコンモードを変更してください。通常は、工場出荷時のまま「リモコンモード1」でご使用ください。必ず本体とリモコンのリモコンモードが同じになるようにしておいてください。

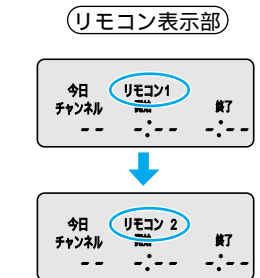
### ビデオ本体側のリモコンモードを変える

- 「メニュー」ボタンを押し、「オプション設定」が選ばれていることを確認して、「実行」ボタンを押す
- 「△▽」で「リモコンモード」を選び、「<>」で「1」、「2」または「3」を選ぶ
- 「メニュー」ボタンを押す



### リモコン側のリモコンモードを変える

「リモコン 1/2/3 (長押し)」ボタンを約 2 秒以上押し続ける  
リモコン表示部の「リモコン」の表示が「1」、「2」または「3」に切り換わります。



リモコンが操作できなくなったときは  
リモコン側のリモコンモードを変えて、本体側に合わせてください。

指定した場面に戻る (ゼロストップ) 複数の当社製ビデオを使用するとき

便利な機能

# テレビを操作する (テレビメーカー設定 / 今すぐ再生)

本機のリモコンで、テレビの操作ができます。(下記の操作でメーカー番号を合わせてください)  
 また、リモコンの「再生」ボタンを押すだけで、テレビの入力を「ビデオ1」に切り換えることができる「今すぐ再生」の設定もできます。

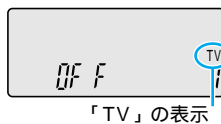
(「再生」ボタンを押したときに、テレビの入力を「ビデオ1」にする信号も出すようになります)  
 ビデオからの映像・音声コードは、必ずテレビの「ビデオ1」端子に接続してください。  
 リモコンのテレビメーカー番号を、ご使用のテレビに合わせておいてください。



1 「設定 (長押し)」ボタンを約2秒以上押し、リモコン表示部に「☎」マークを出す



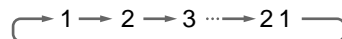
2 「設定 (長押し)」ボタンを2回押し、リモコン表示部に「TV」の表示を出す



3 「終了」ボタンを何度か押し、テレビメーカー番号を合わせる  
 テレビに向けて操作してください。メーカー番号が合うと、テレビの電源が「切」になります。



「+」側を押すごとに、下記のように変わります。  
 (「-」側を押すと逆方向に戻ります)



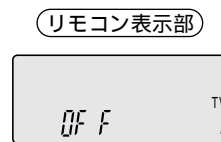
### メーカー番号一覧

番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー
1	松下 (新①)	8	三菱 (②)	15	NEC (②)
2	シャープ (②)	9	富士通ゼネラル	16	三洋 (②)
3	ソニー (①)	10	松下 (旧)	17	ソニー (②)
4	東芝	11	シャープ (①)	18	アイワ
5	日立	12	三菱 (①)	19	フナイ
6	NEC (①)	13	パイオニア	20	松下 (新②)
7	三洋 (①)	14	ビクター	21	松下 (新③)

番号の部分が■のメーカーは、「今すぐ再生」を設定できません。  
 一覧表のメーカーのテレビでも、正しく操作できない場合があります。



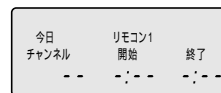
4 「チャンネル」ボタンを押し、「ON」表示に変える  
 (「今すぐ再生」の設定)



押すごとに、「OFF」と「ON」が切り換わります。  
 「ON」表示にすると、「今すぐ再生」が働きます。

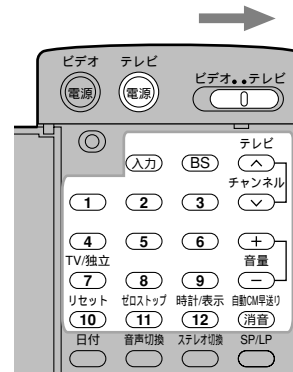


5 「設定 (長押し)」ボタンを2回押し



6 正しく操作できることを確認する  
 「テレビ電源」ボタンを押してテレビの電源を「入」にし、そのあと音量調節などをしてみてください。

ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「テレビ」側にしてください



### お願い/ヒント

テレビの電源は「切/入」できるのに、音量調節などができないときは

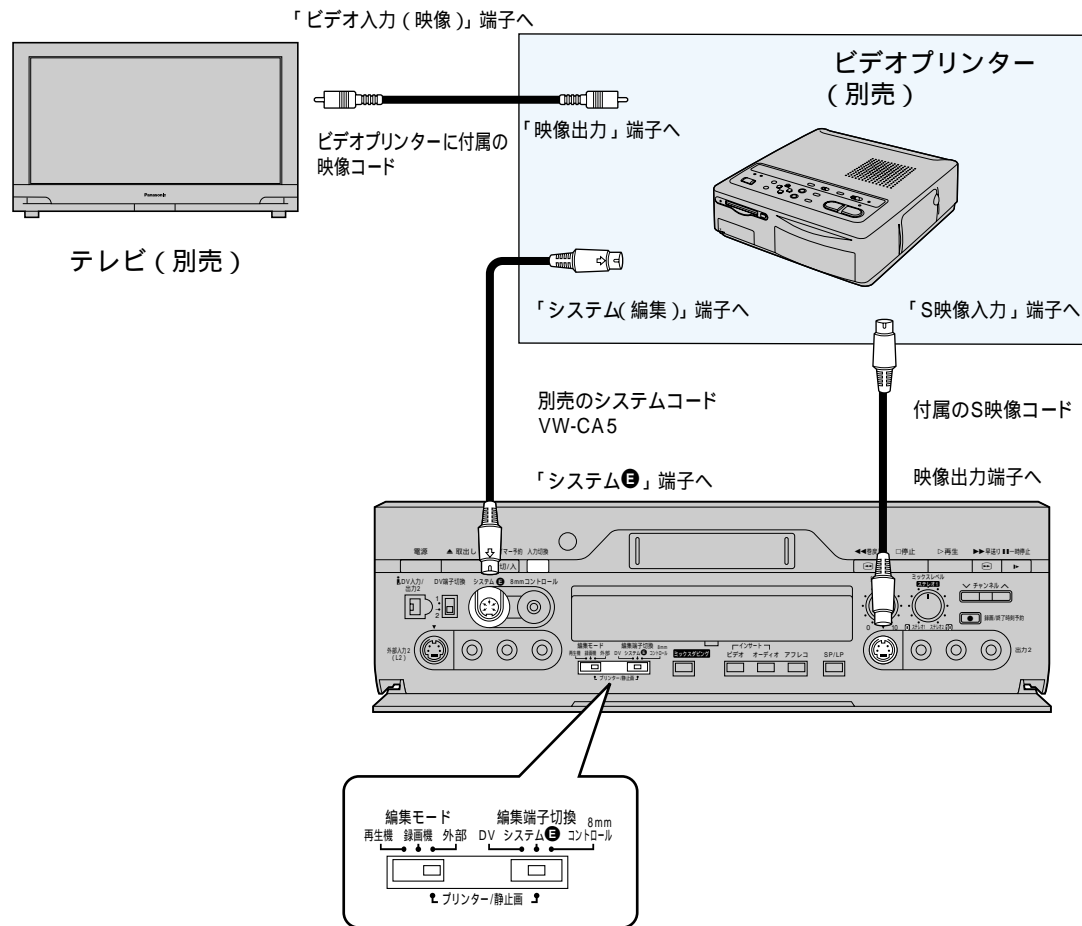
複数のメーカー番号を持っているメーカーのテレビの場合、電源「切/入」はできても音量が調節できなかったりする場合があります。  
 このときは、もう一方の番号に合わせて直してください。

テレビを操作する (テレビメーカー設定 / 今すぐ再生)

便利な機能

# ビデオプリンターにつないで使う

ビデオプリンターと接続すると、ビデオ映像をプリントすることができます。  
 当社のシステム（編集）端子付きビデオプリンターと、システムコード（別売）を使って接続すると、ボタン一つで簡単にプリントすることができます。  
 下記のようにビデオプリンターと接続してください。（ビデオプリンターの説明書もお読みください）



# 画像をプリントする

**準備** ビデオプリンターの電源を「入」にし、必要な設定をしておく。（くわしくは、ビデオプリンターの説明書をお読みください）  
 ビデオの「編集端子切換」スイッチと「編集モード」スイッチを「プリンター/静止画」にする。

- 1 プリントしたい場面をさがす  
 再生中の画面からプリントしたい場面をさがすとき  
 「ジョグダイヤル」と「シャトルリング」を使ってさがしてください。（P48）  
 フォトショット撮影した画像をさがすとき  
 「フォトサーチ」（P78）を行ってください。
- 2 プリントしたい場面がさがせたら、「プリンター」ボタンを押す  
 プリンターがプリントを始めます。  
 より確実にプリントするために、静止画再生にしておいてから「プリンター」ボタンを押すことをおすすめします。



# お願い/ヒント

ビデオの「オンスクリーン表示」や、「年月日・時刻」表示もプリントされますので、これらを入れたくないときは、それぞれ表示しないようにしてください。  
 「オプション設定」の「オンスクリーン」を「切」にする（P90）  
 「日付」ボタンを押し、「年月日・時刻」表示を消す（P89）  
 プリントは、途中でやめることはできません。  
 画面を分割したり、ズーム機能を使ったりしてプリントすることはできません。

ビデオプリンターにつないで使う  
 便利な機能

## パソコンとつないで使う

別売のデジカム用パソコン静止画キット VW-DTA2W (Windows® 95 用) / VW-DTA2M (Macintosh 用) を使うと、本機をパソコンに接続し画像データをパソコンに伝送することができます。

パソコン静止画キットには、デジカム連動のソフト「DV STUDIO」が付いています。「DV STUDIO」は、以下の4つのソフトウェアが一つになった統合ソフトです。

### DV プレーヤー

デジタル静止画の取り込みができます。

パソコン側から本機のビデオ操作(再生、早送り、巻き戻しなど)を制御することができます。

(「DV プレーヤー」の表示が、実際のデッキの動作と合わない場合があります)

画像のテープ位置を検索し、頭出し再生ができます。

取り込んだ画像をほかのソフトウェアで使えるように、いろいろなフォーマットに変換できます。

### フォトアルバム

取り込んだ画像をアルバムとしてまとめます。

(タイトルや日付などの情報を書き込むこともできます)

画像を加工するフォトタッチソフトも付いています。

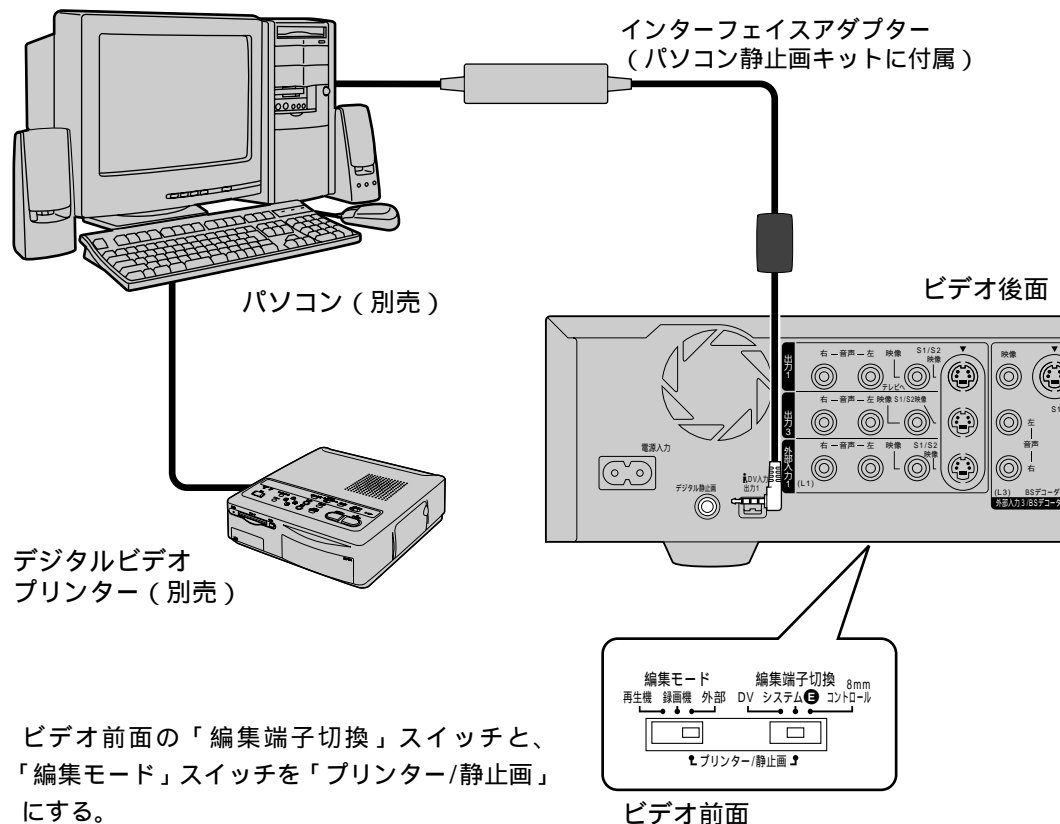
### レイアウトデザイン

取り込んだ画像データを使って、自由にレイアウトすることができます。

### 住所録

住所録を作成することができます。

「レイアウトデザイン」と連動させて、自動的に宛名のレイアウトの作成ができます。



ビデオ前面の「編集端子切替」スイッチと、「編集モード」スイッチを「プリンター/静止画」にする。

### お願い/ヒント

画像を取り込むときは、SPモードで録画しておくことをおすすめします。

タイムコードが途中で途切れないように録画しておいてください。

ワンカット録画(「52」)画像の自動取り込みはできません。

当社のデジタルビデオプリンターと接続すると、取り込んだ画像を美しくプリントすることができます。

### パソコン静止画キットについて

Windows® 95 でご使用の場合

80486以上のCPU搭載機種

Microsoft® Windows® 95 日本語版が動作するDOS/VおよびPC-9800シリーズパソコン

メモリー: 16MB以上

(24MB以上を推奨)

ハードディスク: 50MB以上の空き容量

(150MB以上を推奨)

CD-ROMドライブ(4倍速以上を推奨)

640×480以上 256色以上

(1024×768以上

True Color(24bit以上)を推奨)

RS232Cポート

D-sub 9ピン(DOS/Vの場合)

25ピン(PC-9800シリーズ)

マウス

(MSPゴシックフォント、MSゴシックフォントがシステムにインストールされていないと、文字が正しく表示できません。インストールされていない場合は、Windowsのマニュアルを参照してフォントをインストールしてください)

Windows® 98 動作確認済み

Macintosh でご使用の場合

Power PC以上のCPU搭載機種

(OS漢字Talk7.5.3以降が動作するシステム)

メモリー: 32MB以上

(64MB以上を推奨)

ハードディスク: 50MB以上の空き容量

(150MB以上を推奨)

CD-ROMドライブ(4倍速以上を推奨)

グラフィック表示: 約1670万色を推奨

(256色以上でも動作可能)

シリアルポート(ミニDIN8ピン)

マウス

(Quick Time 2.1以上がインストールされていないと動作しません)

Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の商標です。

Apple の名称、Macintosh、漢字Talkは、Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。

その他、説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

# 表示について

## オンスクリーン表示

[オプション設定] (☎90) の「オンスクリーン」機能を「入」または「自動」にしていると、ビデオの操作内容や状態をテレビ画面で確認できます。

### 音声表示 / 自動CM早送り表示

ステレオ放送や二重放送を受信したとき  
「ステレオ」または「二重」と表示します。  
「音声切換」ボタンを押したとき  
選ばれた音声を表示します。  
「自動CM早送り」ボタンを押したとき  
「自動CM早送り 切/入」を表示します。

### ビデオモード表示

テープの動作を表示します

チャンネル表示  
チャンネルを切り換えたときなどに表示します。

### 音声記録モード表示

チャンネルを切り換えたときなどに、現在選ばれている音声モード(12bit/16bit)を表示します。

### テープ速度表示

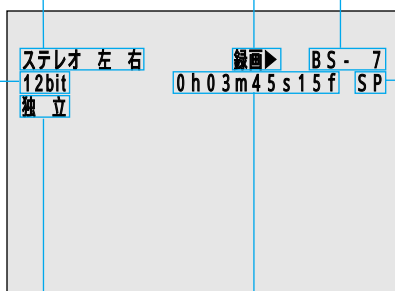
再生や録画を始めたときや、テープ残量を表示するときに「SP」または「LP」を表示。

### BS音声表示

「TV/独立」ボタンで「独立音声」を選んだときに、「独立」と表示します。(☎67)  
「Bモード音声」を受信したときに、「B」と表示します。(☎67)

### 時刻 / タイムコード / テープ残量 / テープカウンター表示

「テープカウンター」表示  
テープ走行に応じた経過時間を表示します。



## お願い / ヒント

次のようなときはオンスクリーン表示は出ません  
「オプション設定」(☎90)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき。  
「オプション設定」(☎91)の「カラー」を「切」にしているとき。

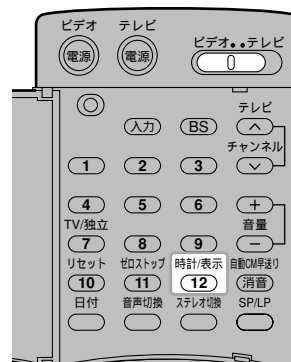
### 「タイムコード (TC)」表示

タイムコードとは、録画時にテープ始端からの位置を自動的に記録しているものです。編集するときは、このタイムコードを使用して録画開始点などを設定します。  
(くわしくは、編集編の用語解説をごらんください)

## 現在時刻やタイムコード、テープ残量を確認する

準備 ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にしておく。

ビデオ/テレビ操作切換スイッチを「ビデオ」側にしてください



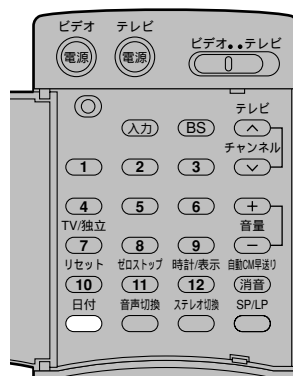
「時計/表示」ボタンを押し、表示を切り換える  
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- 「現在日/時刻」
- ↓
- 「タイムコード(TC)」
- ↓
- 「テープ残量」
- ↓
- 「テープカウンター」
- ↓
- 「終了時刻」  
(下記参照、ビデオ表示部のみ)

## 録画日付 / 時刻表示を切り換える

本機、または当社のデジタルビデオカメラで録画(撮影)すると、録画(撮影)を行った年月日・時刻が自動的にテープのサブコードトラックに記録されます。

テープの再生中に、録画(撮影)した年月日・時刻を表示させることができます。



「日付」ボタンを何度か押し、表示させる内容を選ぶ

ボタンを押すごとに、右のように切り換わります。

再生画面が出ていないときや、再生中のテープに年月日などのデータが記録されていないときは、すべての表示が「--」になります。



## お願い / ヒント

「現在日/時刻」表示について  
「自動時刻合わせ機能」が働いているときは(☎92)、時刻は「秒」まで表示されます。

「テープ残量」表示について  
カセットが入っていないときや、残量計算ができていないとき(カセットを入れた直後など)は、表示されません。

「終了時刻」表示について  
「終了時刻予約録画」(☎51)を行っているときに、録画終了時刻を表示します。(通常は表示されません)  
録画日付/時刻表示について

早送り/巻き戻し再生などのときも、テレビに再生画像が出ているときは、録画(撮影)した年月日・時刻を表示します。  
「オプション設定」(☎90)の「オンスクリーン」を「切」にしているときでも表示されます。

表示について

便利な機能

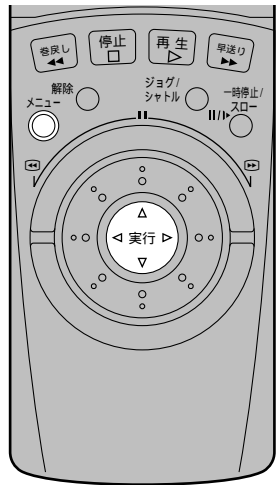


# ビデオの機能を変更する (オプション設定)

本機を使いこなすための設定を、「オプション設定」としてまとめています。

## 設定のしかた

**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。(P46)

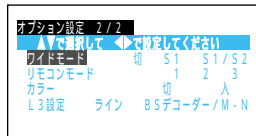
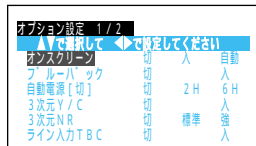


- 1 「メニュー」ボタンを押し、「オプション設定」が選ばれていることを確認して、「実行」ボタンを押す

テレビ画面



- 2 「△▽」で設定する項目を選び、「<>」で設定する



- 3 「メニュー」ボタンを押す「オプション設定」画面が消えます。

## 「オプション設定」の内容

**オンスクリーン**

切： テレビ画面に表示を出しません。編集時に表示を出したくないときなどはこの位置にしてください。

入： テレビ画面に常に表示を出します。

自動： ビデオを操作したときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出します。

**ブルーバック**

切： 放送されていないチャンネルを選んだときに、ブルーバック(青い)画面になりません。

入： 放送されていないチャンネルを選んだときに、ブルーバック(青い)画面になります。

**自動電源 [切]** (右ページ 1)

切： 自動電源[切]機能が解除されます。

2H： 何の操作もせず約2時間以上放置すると、自動的にビデオの電源を「切」にします。

6H： 何の操作もせず約6時間以上放置すると、自動的にビデオの電源を「切」にします。

**3次元 Y/C**

切： 動きの早い映像に起こる残像現象をおさえないときは、この位置にしてください。

入： より高画質の録画ができます。(通常はこの位置)

**3次元 NR**

切： 動きの早い映像に起こる残像現象をおさえないときは、この位置にしてください。

標準： より高画質の再生ができます。(通常はこの位置)

強： 画面にノイズが多いときは、この位置にしてください。

## 「オプション設定」の内容 ( は、工場出荷時の設定です)

**ライン入力 TBC** ( 2)

切： 「入」に設定してダビングした画像が乱れていた場合は、この位置にしてください。

入： ほかのビデオ機器で記録したテープを本機にダビングする際、画面の細かいゆれやゆがみをおさえます。

**ワイドモード**

切： テレビのS映像入力端子がふつうのS映像端子のときは、この位置にしてください。

S1： テレビのS映像入力端子がS1映像端子のときは、この位置にしてください。(「ワイドフル」モードの映像をテレビに送るとテレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります)

S1/S2： テレビのS映像入力端子がS1/S2映像端子のときは、この位置にしてください。(「ワイドフル」モードや「ワイドクリアビジョン」の映像をテレビに送ると、テレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります)

テレビと本機の「外部入力3」のS映像端子に接続したときは、「ワイドクリアビジョン」の映像を送っても、テレビ画面は「フル」に切り換わりません。

**リモコンモード** (P81)

1： 通常はこの位置でご使用ください。

2： 2台の当社製ビデオを使用するときは、この位置にしてください。(リモコンのモードも「リモコン2」にしてください)

3： 2台以上の当社製ビデオを使用するときは、この位置にしてください。(リモコンのモードも「リモコン3」にしてください)

**カラー**

切： 白黒で録画されているテープを再生するときは、この位置にしてください。「オンスクリーン表示」も出なくなります)

入： 通常はこの位置でご使用ください

**L3 設定**

ライン： 外部入力端子3にBSデコーダー/M-Nコンバーター以外の機器を接続しているときは、この位置にしてください。

BSデコーダー/M-N： 外部入力端子3にBSデコーダーまたはM-Nコンバーターを接続しているときは、この位置にしてください。

**お願い/ヒント**

工場出荷時の設定に戻すときは左ページの手順①のオプション設定画面で、「オプション初期化」を選び、「実行」ボタンを押す。

「オプションを初期化しました」のメッセージが表示され、「オプション設定」が工場出荷時の設定に戻ります。

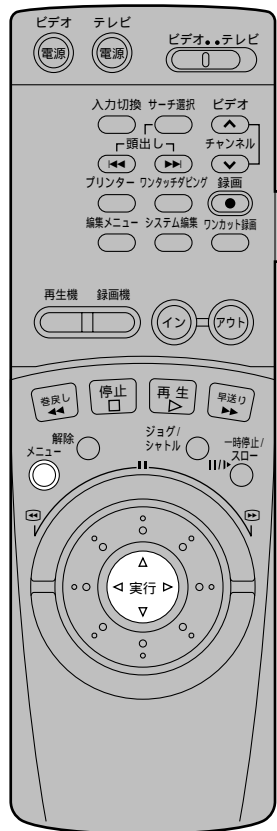
- 1 「自動電源 [切]」について  
むだな電力の消費を防ぐため、長時間何も操作しなかったときに自動的にビデオの電源を「切」にする機能です。
- 2 「ライン入力 TBC」について  
外部機器からの映像を本機で録画するときには働きます。再生画像の細かいゆれやゆがみをおさえて録画することができます。(DV入力から入力した画像にこの機能は働きません)

ビデオの機能を変更する (オプション設定) その他

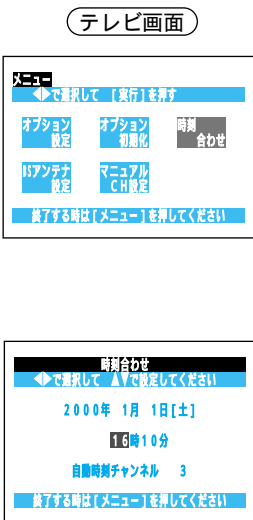
# 時刻を合わせ直す

必要なときは、下記の手順で時計を合わせ直してください。

**準備** ビデオとテレビの電源を「入」にする。  
テレビにビデオの画面を出す。(P46)



- 1 「メニュー」ボタンを押す
- 2 「<>」で「時刻合わせ」を選び、「実行」ボタンを押す  
「時刻合わせ」画面が表示されます。
- 3 「<>」で各項目を選び、「△▽」で設定する  
「<>」を押すごとに、  
「時」  
「分」  
「自動時刻チャンネル」(下記参照)  
(「△▽」でNHK教育テレビに合わせてください)  
「年」  
「月」  
「日」  
の順で変わります。



- 4 「メニュー」ボタンを押す  
「時刻合わせ」画面が消え、時計が動き始めます。

## 「自動時刻合わせ」機能

「自動時刻チャンネル」をNHK教育テレビに合わせておくと、12、19時の時報に合わせて時計の誤差を自動的に修正します。

2分以内の誤差が修正されます。

次のようなときは働きません。

- 時報が放送されなかったとき
- 「自動時刻チャンネル」を「—」にしているとき (「自動時刻合わせ」機能が解除されます)
- 時報が放送される時刻にビデオの電源が「入」になっているとき
- 時報のバックに音楽が流れているとき
- 「ポップポップーン」の「ポーン」のみの時報のとき

「自動時刻チャンネル」を「自動」にすると、ビデオが自動的にNHK教育テレビをさがし出します。  
(地域により、さがし出すまでに数週間かかる場合もありますので、あらかじめNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)  
電源コードを抜いたあとや、停電のあとなどは、「自動時刻合わせ」機能が働いていない状態になります。

## お願い/ヒント

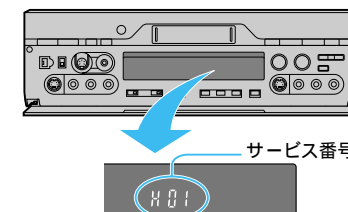
時計は24時間表示です。  
1988年～2087年まで合わせることができます。  
「バックアップ」機能では、受信チャンネルの設定や予約録画の内容も記憶しています。

# 自己診断表示機能 (サービス番号)

本機は、異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。

本機の設置中や使用中に異常を検出すると、ビデオ表示部に下表のサービス番号を表示します。

サービス番号は、例えば「H01」のように、英文字と2ケタの数字で表示されます。



サービス番号	本機の状態	対応のしかた	ページ
U10	つゆつきが起こっています。	表示が消えるまでお待ちください。	12
U11	ビデオヘッドがよごれています。	ビデオヘッドをクリーニングしてください。	13
U50	BSアンテナ線がショートしています。	本機が自動的にBS電源を「切」にします。 BSアンテナ線がショートしていないことを確認し、正しく接続し直したあと、BS電源を再設定してください。	28
H	異常と思われます。	下記の「困ったとき!?」の項目に従って点検してください。	それでもサービス番号が消えないときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などお知らせください。
F	(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)		

# 困ったとき!?

下記の項目に従って点検してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店、または「お客様ご相談センター」(P102)にお問い合わせください。

## 電源

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから外れていませんか?	—
電源は入っているのに、ビデオが操作できない	予約録画の待機中ではありませんか? (ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか?) 「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消してください。	65
	つゆつきが起こっていませんか? (ビデオ表示部に「d」が点滅し、「U10」表示が出ていませんか?) 「d」、「U10」表示が消えるまでお待ちください。(約2時間程度)	12
	各種安全装置が働いている場合があります。 電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから外し、約1分後、再びコンセントに差し込んでから電源を「入」にしてみてください。(直る場合があります)	—
電源が、自動的に「切」になった	「自動電源 切」機能が働いています。(不要な電力の消費をおさえる機能です) 「ビデオ電源」ボタンを押し、電源を「入」にしてください。	90
	各種安全装置が働いている場合があります。 「ビデオ電源」ボタンを押し、電源を「入」にしてください。	—
電源は「切」なのに、内部冷却用ファンが回転している	本機の電源が「切」のときにも、「自動時刻合わせ」機能の動作時(12、19時の前後・数分から数10分程度)は、内部の保護のために自動的に回転します。	—

時刻を合わせ直す  
自己診断表示機能  
困ったとき!?

その他

## 困ったとき!?(つづき)

### カセット

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
カセットが入らない	電源プラグがコンセントから外れていませんか?	—
	テープの見える面を上にして入れていますか?	42
カセットが取り出せない	予約録画の待機中、または実行中ではありませんか? (ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか?) 取り出したいときは、「タイマー切/入」ボタンを押し、ビデオ表示部の「予約」表示を消してください。	65
	録画中ではありませんか? 取り出したいときは、「停止」ボタンを押し、録画をやめてください。	—
	各種安全装置が働いている場合があります。 ①「電源」ボタンを押し、ビデオの電源を「切」にする ②電源プラグを抜く ③約1分後に、電源プラグを差し込み、ビデオの電源を「入」にする ④「取出し」ボタンを押し 2~3回上記の操作をくり返してみてください。それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

### テレビ画面

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
ビデオを接続したら、テレビの映りが悪くなった	テレビとビデオに電波を分けたためです。 市販のブースターなどを使用すると改善されます。 (効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)	—
テレビにビデオの画面が出ない	テレビの入力を「ビデオ」にしていますか? ビデオを接続している入力に切り換えてください。	46

### 音声

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
2種類の音声がまざって聞こえる	「ステレオ1+2(ミックス)」音声が選ばれていませんか? 「ステレオ切換」ボタンで聞きたい音声トラックを選んでください。	44
	「左+右」音声が選ばれていませんか? 「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	44
音声が聞こえない	何も録音されていない「ステレオ2」トラックが選ばれていませんか? 「ステレオ切換」ボタンで聞きたい「ステレオ1」トラックを選んでください。	44
二重放送時に聞きたい音声が聞こえない	聞きたい音声が選ばれていますか? 「音声切換」ボタンで聞きたい音声を選んでください。	44
音声がステレオ音声ではない	ステレオ音声が選ばれていますか? 「音声切換」ボタンで「左+右」音声を選んでください。	44

### 録画

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
録画ができない	カセットの誤消去防止つまみが「SAVE」側になっていませんか?	42
	著作権保護のための信号が記録されたソフトや放送は録画できません。	4

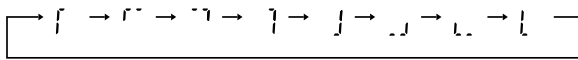
### 再生

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
テレビに再生画像が出ない	テレビにビデオの画面を出しましたか?	46
再生画像にモザイク状のノイズが出る	ビデオヘッドがよごれていませんか? 付属のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーでクリーニングしてください。	13
	ビデオヘッドが磨耗していませんか? ビデオヘッドの交換が必要です。販売店にご相談ください。	—
	テープが古くなったりいたんだりしていませんか?	13
早送り/巻き戻し/静止画/スロー再生が自動的に解除された	早送り/巻き戻し/スロー再生は約10分、静止画再生は約5分で解除されます。 (テープとビデオヘッドの保護のためです)	47
再生画面が黒い画面になる	未録画部分や記録状態の悪い部分を再生すると、黒い画面になります。	13
	よごれたりいたんだりしたテープを使用すると、ビデオが故障し、黒い画面になる場合があります。このときは、販売店にご相談ください。	—

### ワンタッチダビング

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
ビデオの操作ができない	ビデオメーカー番号は合っていますか? 正しい番号に合わせてください。 (メーカーや機種によっては、操作できない場合があります)	57
ビデオが設定したように動作しない	当社製のビデオを接続していませんか? 本機と、もう1台のビデオのリモコンモードが同じの場合は、誤操作することがあります。	81
	本機か、もう1台どちらかのビデオのリモコンモードを変えたあと、もう1度メーカー番号設定を行ってください。(機種によっては、操作できない場合があります)	57

### 表示

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
テープカウンター表示の値が変わらない	テープの未録画部分では変わりません。「秒」表示部分が下記のように変わります。 	—
時計表示が「0:00」で点滅している	時計が合っていない。 時刻を合わせ直してください。	92

# 困ったとき!?(つづき)

## 予約録画

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
予約録画が正しくできない	予約内容(開始時刻や終了時刻など)が間違っていないですか? 予約内容を確認しながら、手順どおりに予約し直してください。	62 64
	ビデオ表示部に「予約」表示が出ていますか? 「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を出しておいてください。	65
	予約録画の時間帯が重なっていませんか?	-
	時計は合っていますか? 時刻を合わせ直してください。	92
	デジタルCS放送の、コピーガードのかかった番組を予約していませんか? このときは、モザイク状の映像が記録されてしまいます。	56
Gコード予約ができない	ガイドチャンネルは正しく設定されていますか? ガイドチャンネルを正しく設定してください。	35
	複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されていませんか? 不要なチャンネルはとばしておいてください。	38
	時計は合っていますか? 時刻を合わせ直してください。	92
予約録画中に、ビデオの電源が「切」になった	予約録画中にテープの終端になると、電源を「切」にします。 予約した番組よりも、余裕のあるカセットを入れておいてください。	-
予約録画が終了しても、予約内容が消えない	毎日/毎週予約は消えません。 最大8番組の予約ができますが、不要なものは取り消しておいてください。	64

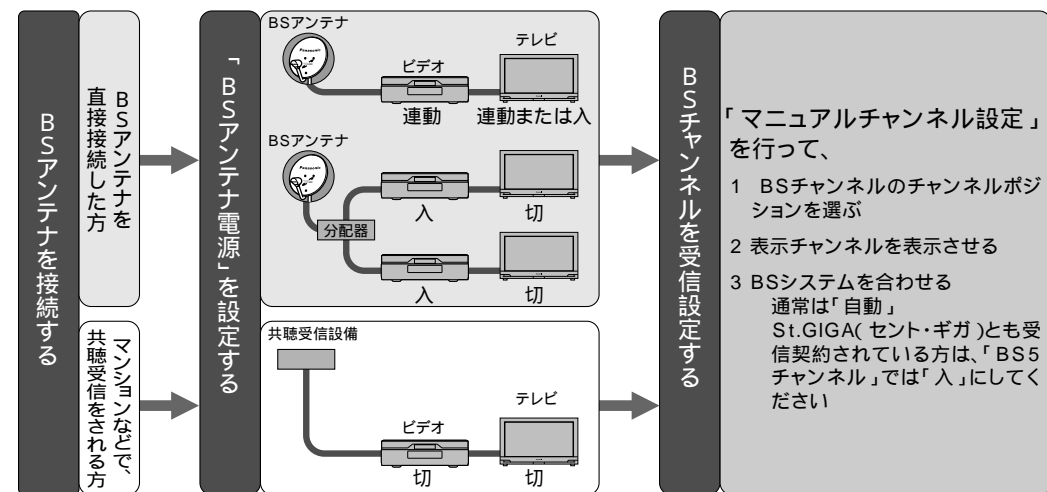
## リモコン

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
ビデオの操作ができない	ビデオ表示部に「予約」表示が出ていませんか? 「タイマー切/入」ボタンを押し、「予約」表示を消してから操作してください。	65
	ビデオ本体とリモコンモードは合っていますか? リモコンモードは必ず合わせておいてください。	81
	電池は消耗していませんか? 新しい電池と交換してください。(「ジョグ/シャトル」ボタンを押しても、ボタンが点灯しなくなったら、電池を取りかえてください)	17
	ビデオ本体のリモコン受信部に向けて操作していますか? ビデオ本体との間に障害物はありませんか?	20 20
テレビの操作ができない	テレビメーカー番号は合っていますか? 正しい番号に合わせてください。 (メーカーや機種によっては、操作できない場合があります)	82

## BS(衛星放送)

こんなとき	ここをお確かめください	ページ
「市外局番入力チャンネル設定」をしたが、BS放送がとばされている	BSアンテナは正しく接続されていますか? BSアンテナを正しく接続してください。	28
	「BS電源」は正しく設定されていますか? 「BS電源」を正しく設定してください。	29
WOWOWが映らない	BSデコーダーは正しく接続されていますか? WOWOWを見るには別売のBSデコーダーが必要です。	68
	「BSシステム」が「切」になっていませんか? 「BSシステム」を「デコーダー[自動]」にしてください。	36
ハイビジョン放送が映らない	M-Nコンバーターは正しく接続されていますか? M-Nコンバーターを正しく接続してください。 「BSシステム」が「切」になっていませんか? 「BSシステム」を「デコーダー[自動]」または「M-Nコンバーター」にしてください。	70 36
映像も音声も出ない	放送自体が中断されていませんか? 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止される場合があります。	-
映像の映りが悪い、または音声にノイズが入る	BSアンテナは正しい方向を向いていますか? 正しい方向から少しでもずれると、BS放送は受信できなくなります。 豪雨などで電波が減衰したり、強風でBSアンテナがゆれたりしていませんか? 気象条件による一時的なものは、故障ではありません。	- -
	BSアンテナ線が劣化していませんか? くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。	-
	Aモード番組の受信時に、テレビの音声が出ない	「独立音声」を選んでいませんか? 「TV/独立」ボタンを押し、「テレビ音声」を選んでください。

BS放送がきれいに受信できない場合は、もう一度下記の手順で受信の設定をし直してください



困ったとき!?(つづき)

その他

## 困ったとき!?(つづき)

### テレビ画面にメッセージが出る時

本機を誤って操作したときなどは、テレビ画面に「エラーメッセージ」を出します。「エラーメッセージ」には、下記のようなものがあります。

エラーメッセージ	ビデオの状態
カセットが入っていません	カセットを入れずに、再生や録画などをしようとしたとき。 カセットを入れずに、予約録画の待機状態にしようとしたとき。
クリーニングカセットをおためしてください	ビデオヘッドのよごれを検知したとき。 (ビデオ表示部に、サービス番号「U11」も出ます)
このカセットでは記録できません	誤消去防止つまみを「SAVE」側(左側)にしたカセットで、 録画をしようとしたとき。 誤消去防止つまみを「SAVE」側(左側)にしたカセットで、 予約録画の待機状態にしようとしたとき。
カセットを確認ください	本機で使用できないカセットを入れたとき。
コピーガードがかかっています	コピーガードのかかった番組などを録画しようとしたとき。 録画中に、コピーガードを検知したとき。
予約内容にミスがあります	予約内容の設定が正しくないとき。
予約チャンネルを合わせてください	ガイドチャンネルが設定されていないチャンネルの番組をGコ ード予約しようとしたとき。
BS アンテナ電源を「切」にしました	BS アンテナ線がショートしたとき。
接続 / 設定を確認ください	ビデオ本体の「編集端子切替」スイッチを「プリンター/静止画」 にせず、リモコンの「プリンター」ボタンを押したとき。

操作によっては、メッセージが二重に出る場合があります。  
プリンターに紙が入っていないなど、ビデオプリンター側の不具合を示すメッセージは出ません。

## 別売品

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。  
サービスルート扱いなどをご用意しておりますので、ご注文ください。  
品番 / 標準価格は、1999年5月現在のものです。また、消費税や工事代などは含まれておりません。

品名	品番	標準価格	特記事項
映像・音声コード	RP-CVP2G10	1,200円	1.0 m (ステレオモノラルタイプ)
混合器	VUA7053	600円	
分波器	VUA7052F	800円	
アンテナプラグ	VUA7050	300円	
BS・CS/UV分波器	TY-6S7BCS	2,400円	
BS同軸ケーブル	VW-KBS1	1,500円	
映像・音声コード	VUA7040	600円	1.5 m (ステレオステレオタイプ)
映像・音声コード	RP-CVP1G10	1,100円	1.0 m (モノラルモノラルタイプ)
ツイン映像コード	VUA7043	600円	1.5 m、2本入り
S映像コード	VUA7041	700円	1.5 m
75 同軸ケーブル	VUA7051	400円	1.4 m
デジタルビデオ用 ヘッドクリーナー	VFK1449S	1,800円	ミニDVカセット用
システムコード	VW-CA5	1,800円	1.3 m
パソコン静止画キット	VW-DTA2W	19,800円	Windows® 95用
	VW-DTA2M	19,800円	Macintosh用
カセットテープ	AY-DVM30E	900円	SP30分/LP45分
	AY-DVM60E	1,100円	SP60分/LP90分
	AY-DVM80E	1,700円	SP80分/LP120分

## ア行

頭出し	78
アッセンブル編集	編集編
アフレコ編集	編集編
今すぐ再生	82
インデックスサーチ	78
裏番組録画	50
オーディオインサート	編集編
オプション設定	90
オンスクリーン表示	88
音声切換	44
音声モード	43

## カ行

ガイドチャンネル	31
外部入力録画	56

## サ行

再生	47
市外局番入力チャンネル設定	30
時刻合わせ	92
自己診断表示	93
自動CM 早送り再生	49
終了時刻予約録画	51
ジョグ/シャトル	48
ステレオ切換	44
ゼロストップ	80

## タ行

タイムコード	88
ダビング編集	編集編
テープカウンター	88
テープ残量	89
デジタルCS 放送	74
テレビメーカー設定	82

## ハ行

ハイビジョン	70、72
パソコン	86
ビデオインサート	編集編
ビデオプリンター	84
表示	88
フォトサーチ	78

## マ行

マニュアルチャンネル設定	34
ミックスダビング編集	編集編

## ヤ行

予約録画	60
Gコード予約	60
フリーセット予約	62

## ラ行

リモコンモード	81
録画	50

## ワ行

ワンカット録画	52
ワンタッチダビング	57

## アルファベット順

AV インサート	編集編
BS	
BS アンテナ	28
BS デコーダー	68
St. GIGA (セント・ギガ)	69
WOWOW	68
CATV 放送	76
Gコード予約	60
M-N コンバーター	70、72
SP/LP モード	50
St. GIGA (セント・ギガ)	69
WOWOW	68

電源	AC 100V ± 10%, 50/60Hz ± 0.5%
消費電力	25W (電源「切」の時 約 4.5W)

録画方式	Mini DV 方式 (民生用デジタル VCR SD 規格)
テープ速度	SP:18.812mm/秒 LP:12.555mm/秒
使用テープ	ビデオカセット (6.35mm 幅デジタルビデオテープ)
録画時間	最大 2 時間 (DVM80 使用の場合) SP 60 分、LP 90 分 (DVM60 使用の場合)
早送り・巻き戻し時間	約 80 秒 (DVM60 使用の場合)
デジタル静止画	デジタル静止画出力、制御信号入出力 (転送レート: 最大 115kbps)
テレビジョン方式	NTSC 方式: 525 本、60 フィールド
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM 48kHz, 16bit (2ch) / 32kHz, 12bit (4ch)
受信チャンネル	VHF 1CH ~ 12CH UHF 13CH ~ 62CH CATV C13CH ~ C63CH BS 1,3,5,7,9,11,13,15CH

## 映像

入出力	1.0Vp-p, 75 (ピンジャック)
S 映像入出力	Y:1.0Vp-p, 75 (セパレート YC 信号端子) C:0.286Vp-p, 75

## 音声

ライン入力	309mV, 入力インピーダンス 47k (ピンジャック)
ライン出力	309mV, 出力インピーダンス 1k (ピンジャック) 負荷インピーダンス 10k

## BS

検波入出力	0.67Vp-p, 75 (ピンジャック)
ビットストリーム入出力	0.5Vp-p, 75 (ピンジャック)

## VHF/UHF 一軸アンテナ入力

BS 入力端子	アンテナ入力 75 BS アンテナ用電源出力 (DC15V, 最大 4W)
---------	---------------------------------------

## 外形寸法

幅 280 × 高さ 91.5 × 奥行 225mm
----------------------------

## 本体質量

約 2.8kg
---------

## 許容周囲温度

5 ~ 40
--------

## 許容相対湿度

35% ~ 80%
-----------

## 時計部

クォーツ制御 24 時間デジタル表示
--------------------

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ  
 などのご相談は...  
 まず、お買い上げの販売店へ  
 お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は...  
 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！  
 その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼される時

93 ~ 98 ページの「困ったとき!？」に従って確認のあと、直らないときは、(ビデオ表示部に「サービス番号 (93 ページ)」が表示されている場合はその番号を確認の上) 電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック  
**お客様ご相談センター**

フリーダイヤル (料金無料) **0120-878-365**

365日 / 受付9時 ~ 20時

Help desk for foreign residents in Japan  
 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)  
 Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

ナショナル/パナソニック  
**修理ご相談窓口**

修理のご相談は **ナビダイヤル (全国共通番号) ☎ 0570-087-087**

お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口へ直接おかけください。(ナビダイヤルはご利用頂けません)

北海道地区		近畿地区	
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	滋賀 守山市勝部町6丁目2-1 ☎(077)582-5021	奈良 大和郡山市推木町404-2 ☎(0743)59-2770
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	函館 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631	京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(0734)75-1311
		大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645
東北地区		中国地区	
青森 青森市大字八ッ字矢作1-37 ☎(0177)39-9712	宮城 仙台市泉区市名坂字清水端59-2 ☎(022)375-2512	鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100	米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301	松江 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128	山口 山口市鑄銭司字鑄銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050
		出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	
		浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	
首都圏地区		四国地区	
栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2551	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(0888)66-3142
群馬 高崎市秋原町沖中205-18 ☎(027)352-1109	東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5450-7431	徳島 徳島県板野郡北島町網浜字かや108 ☎(0886)98-1125	愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(0552)22-5171		
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)840-3155		
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)729-2102	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725		
中部地区		九州地区	
石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719	佐賀 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151	天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010	長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613	大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380	宮崎 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530	
		沖縄地区	
		沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。


0999

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。

Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検		長年使用のビデオの点検を!	
	<p>こんな症状はありませんか</p>	<p>再生しても映像や音が出ない 煙が出たり、異常なおい や音がする 水や異物が入った 時計表示などに異常がある テープをいためた その他の異常や故障がある</p>	<p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。</p>

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	NV-DM1
販売店名	☎ ( ) -	☎ ( ) -	お客様ご相談窓口

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

ビデオシステム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

VQT8144-3

F0599C3109 ( )

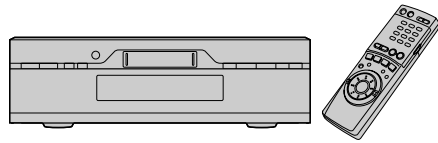




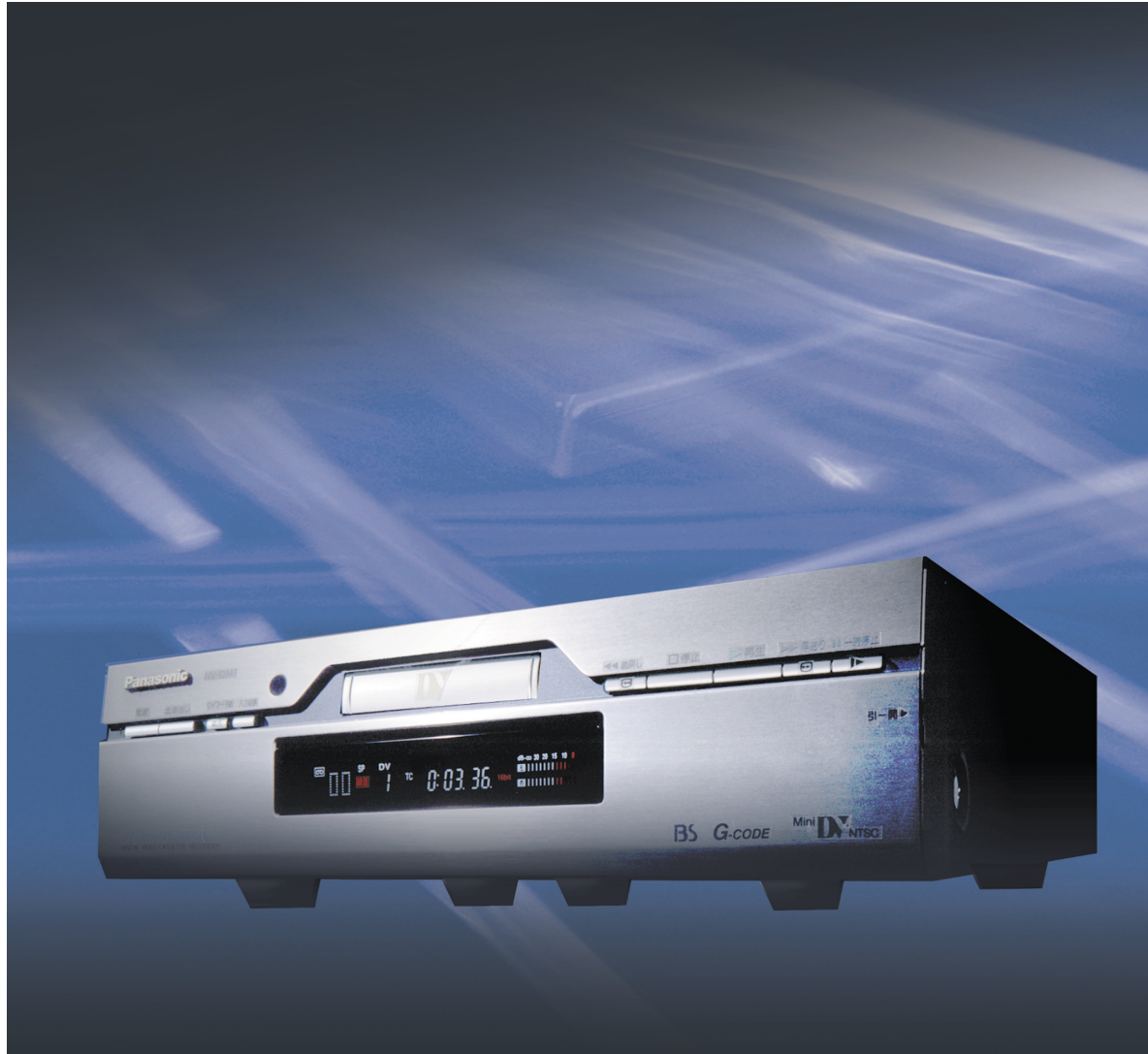
# Panasonic

BSチューナー内蔵 / Hi-Fi (ステレオ) タイプ  
デジタルビデオカセットレコーダー

## 取扱説明書・編集編



品番 NV-DM1



Mini DV NTSC

VQT8145-1

準備

編集を行う前に .....4  
 編集用テープを作る .....7  
 接 続 .....8  
 DV ケーブルを使って接続する .....8  
 システム（編集）コードを使って接続する .....10  
 LANC コードを使って接続する .....12  
 編集に必要な設定をする .....14  
 音声ステレオ・ワンタッチ編集・カウンタ修正・ワンカット録画

マニュアル  
編集

直接機器を操作して編集する（ダイレクト編集）.....16  
 ワンタッチ編集 .....18  
 ワンタッチアッセンブル編集  
 （必要な場面をつなぎ合わせる） .....18  
 ワンタッチインサート／アフレコ編集  
 （映像や音声を差し替える／音声を追加する） .....20  
 ワンタッチミックスダビング編集  
 （元の音声と新しい音声をミックスする） .....22  
 システムマニュアル編集 .....24  
 システムダビング編集（映像・音声をコピーする）.....24  
 システムインサート編集（映像や音声を差し替える）.....26  
 ビデオインサート／オーディオインサート／AV インサート  
 システムアフレコ編集（音声を追加する）.....28

プログラム  
編集

プログラム編集 .....30  
 プログラムアッセンブル編集  
 （必要な場面をつなぎ合わせる） .....30  
 プログラムインサート編集  
 ビデオインサート／オーディオインサート／AV インサート  
 （映像や音声を差し替える） .....34  
 プログラムアフレコ編集  
 （音声を追加する） .....38  
 登録した内容の確認／変更（修正／挿入／削除／消去）をする .....42

その他

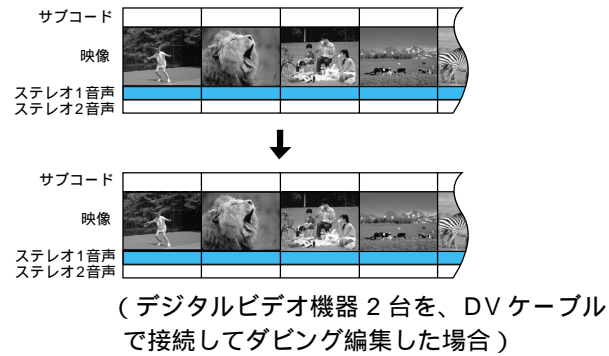
編集タイミングがずれるとき .....44  
 システムマニュアル編集時 .....44  
 プログラム編集時 .....45  
 困ったとき!? .....48  
 用語解説 .....50  
 テープトレード機能 .....52  
 編集操作の流れ .....53  
 システムマニュアル編集 .....53  
 プログラム編集 .....54  
 索引 .....裏表紙

## 編集を行う前に

本機では、ビデオやビデオカメラを接続して、次のような種類の編集ができます。

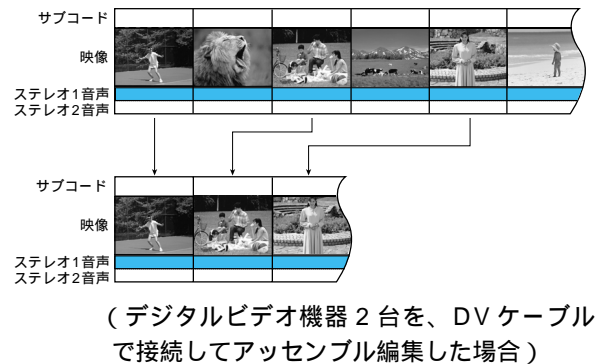
### ダビング編集

録画済みテープの映像と音声を、そのまま別のテープに録画します。



### アッセンブル編集

元になるテープから、必要な部分（映像と音声の両方）を抜き出して、つないでいきます。



### インサート編集

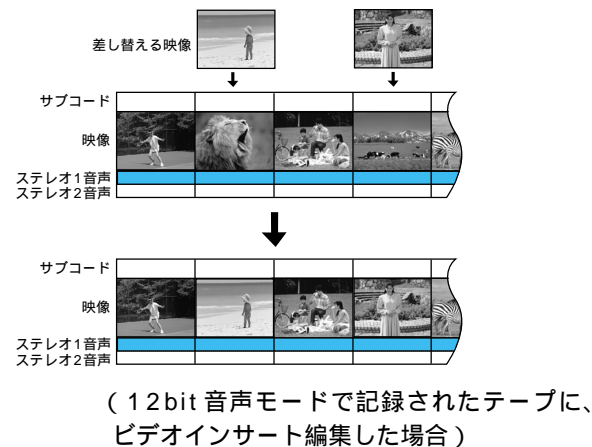
本機では、3 種類のインサート編集ができます

#### ビデオインサート

録画された映像に、別の内容を置き換えます。

映像だけが差し替えられて、音声は元のまま変わりません。

LP モードで記録されたテープに、ビデオインサートはできません。



### インサート編集(つづき)

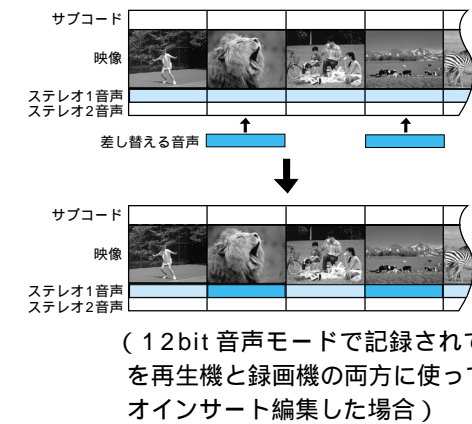
#### オーディオインサート

記録された音声に別の音声を置き換えます。音声だけが差し替えられて、映像は元のまま変わりません。

12bit 音声モードで記録されたテープには、「ステレオ 1」トラックの音声だけが差し替えられます。

(「ステレオ 2」トラックに、オーディオインサートはできません)

LP モードで記録されたテープに、オーディオインサートはできません。



#### 編集後の音声について

デジタルビデオテープにオーディオインサートをすると、編集後の音声は「音声ステレオ」(C15)で選択された音声モードに関係なく決定されます。

映像・音声コードで接続して編集すると、再生機側テープの音声モードにかかわらず、録画機側テープに記録されている音声モードに従います。

DV ケーブルで接続して編集すると、録画機側テープの音声モードにかかわらず、再生機側テープの音声モードに従います。

入力信号	再生機側テープの音声	録画機側テープの音声	編集後の音声	
外部入力 (L1~L3)	12bit	12bit	12bit	ステレオ 1 の音声へ (元の音声は消去)
		16bit	16bit	再生側の音声 (元の音声は消去)
	16bit	12bit	12bit	ステレオ 1 の音声へ (元の音声は消去)
		16bit	16bit	再生側の音声 (元の音声は消去)
DV 入力	12bit	16bit	12bit	再生側のステレオ 1 + 2 (元の音声は消去)
		12bit	12bit	(元の音声は消去)
	16bit	12bit	16bit	再生側の音声 (元の音声は消去)
		16bit	16bit	(元の音声は消去)

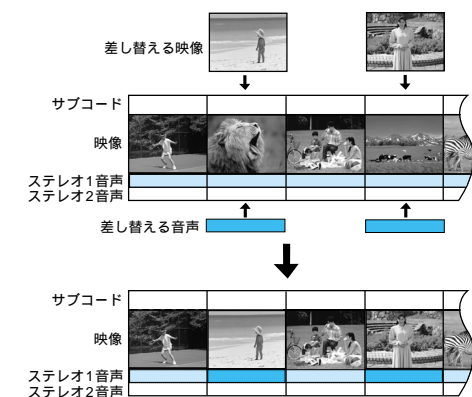
#### AV インサート

記録されている映像・音声に、別の映像・音声を置き換えます。

元の映像・ステレオ 1 の音声は消され、新しい映像・ステレオ 1 音声だけが差し替えられます。(ステレオ 2 の音声は元のまま変わりません)

編集後の音声モードは、再生機側テープの音声モードにかかわらず、録画機側テープに記録されている音声モードに従います。

16bit 音声モードや LP モードで記録されたテープに、AV インサートはできません。



## 編集を行う前に(つづき)

### アフレコ編集

本機では、2種類のアフレコ編集ができます。

#### アフレコ

12bit 音声モードで記録されたテープの「ステレオ2」トラックに、新しく別の音声を追加します。元の映像と「ステレオ1」の音声は変わりません。

#### ミックスダビング

12bit 音声モードで記録されたテープの「ステレオ2」トラックに、「ステレオ1」の元の音声と、外部入力からの新しい音声をミックスして録音します。元の映像と「ステレオ1」の音声は変わりません。

16bit 音声モードやLPモードで記録されたテープに、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。

本機では、接続する機器や目的に応じて、各編集を行う方法を選ぶことができます。

編集制御端子のないビデオや、オーディオ機器などを接続して編集するときは

#### ダイレクト編集(☞16)

編集制御コードを接続せずに、各機器を直接操作して、各種編集を行います。

#### DV端子、システム(編集)端子または、LANC端子のあるビデオと編集するときは

##### ワンタッチ編集(☞18~23)

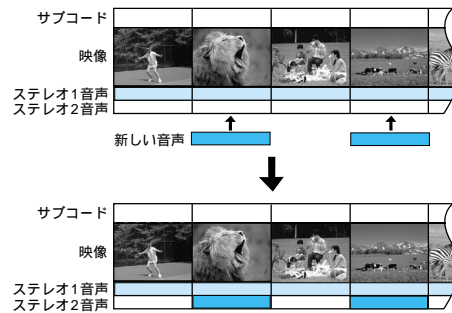
本機を録画機として、本機から再生機側をコントロールしながら、編集開始位置を指定して各編集を行います。

##### システムマニュアル編集(☞24~29)

本機で他機をコントロールしながら、メニュー画面にしたがって、編集開始位置を指定して1プログラムずつ各編集を行います。

##### プログラム編集(☞30~41)

本機で他機をコントロールしながら、複数の場面の編集開始点/終了点を登録して、各編集を自動的に行います。



### 編集用テープを作る

編集時には、次のようなテープをお使いください

編集開始点の手前20秒間の映像・音声が、正しく記録されている **再生機** **録画機**

本機は、編集開始点より前の部分までテープを巻き戻してから編集を開始します。そのため、編集開始点の手前20秒間が未記録になっていたり、正しく記録されていないときは、正確な編集ができません。

タイムコードが連続して記録されている

**再生機** **録画機**

とぎれとぎれに記録されていたり、途中に未記録部分があると、タイムコードが不連続になり、編集が中断されます。

SPモードで録画されている **録画機**

(インサート、アフレコ、ミックスダビング時のみ)

LPモードで録画されているテープでは、上記の編集ができません。

12bit 音声モードで記録されている

**録画機**

(AVインサート、アフレコ、ミックスダビング時のみ)

16bitの音声モードで記録されているテープでは、上記の編集ができません。

また、ほかのビデオ機器で録画したテープをインサート、アフレコ、ミックスダビングに使用すると、音声が劣化したり、画像が乱れたりする場合があります。

上のようなテープがないときや、他のビデオ機器で録画したテープを編集に使うときは、右の手順でダビングを行い、編集用のテープを新しく作ってください

#### お願い/ヒント

DVケーブルを使って、デジタルダビングすると画質の劣化はほとんどありません。デジタルビデオテープをDVケーブルで接続せずにダビングすると、元のサブコードデータ(フォトショットインデックス信号、日付情報など)はコピーされません。

#### ダビングの手順

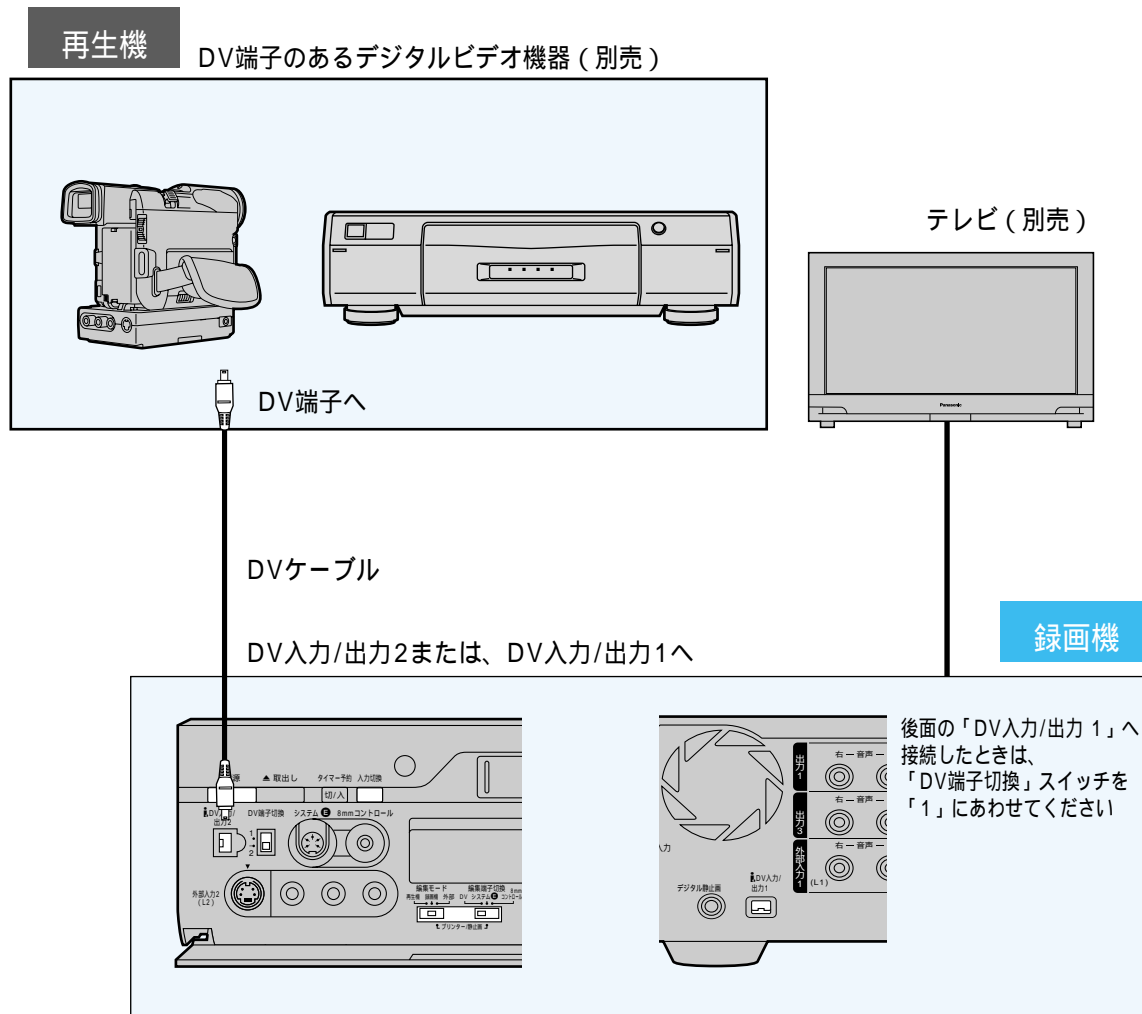
- ① 元になるカセットテープを再生機に、新しいカセットテープを録画機(本機)にそれぞれ入れる
- ② 再生機と録画機(本機)を接続する  
元のカセットの内容を、デジタル信号でそのままダビングするときはDVケーブルで、映像・音声端子からの信号でダビングするときは映像・音声コードで接続してください。(16bit音声モードのテープを12bitに変えたいときは、映像・音声コードで接続してください。また、「音声ステレオ」(☞15)の設定も「12bit」にしておいてください。)
- ③ 「編集モード」スイッチが「録画機」になっていることを確認する
- ④ 本機のテープ速度を「SP」にする
- ⑤ 約20秒ほど何も映っていない画面を録画する  
再生機を停止状態にし、録画機(本機)の入力切換を「外部入力(L1~L3)」にして、「録画」ボタンを押す。
- ⑥ 録画機(本機)の入力を切り換える  
手順②で、DVケーブルで接続したときは「DV入力」に、映像・音声コードで接続したときは「外部入力端子(L1~L3)」に切り換えてください。
- ⑦ 再生機の再生ボタンを押し、元のテープの再生を始める
- ⑧ 録画機(本機)の「録画」ボタンを押し、ダビングを始める

タイムコードは、録画をすると同時にテープのサブコード上に記録されます。サブコードには、このほかフォトショット用インデックス信号や録画した日付の情報などが記録されています。(タイムコードについては、用語解説も参照してください)

# DV ケーブルを使って接続する

再生機として当社製のデジタルビデオ機器を接続して、録画機側（本機）から再生機側をコントロールする場合の接続例

この接続で、次の編集ができます  
 ダビング編集 アッセンブル編集  
 ビデオインサート オーディオインサート



## お願い/ヒント

接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。  
 デジタルビデオカメラの電源は、編集時のバッテリー切れのないよう、ACアダプターのご使用をおすすめします。  
 再生機側の説明書もよくお読みください。  
 編集や録画の途中で、「DV端子切換」スイッチを切り換えしないでください。

## 当社製のビデオと接続するときは

本機と同じ方式のリモコンが使われているため、正常に動作しない場合があります。どちらかのリモコンモードを変えてから、編集操作を行ってください。（『基本編-81』）

後面の「DV入力/出力1」へ接続したときは、「DV端子切換」スイッチを「1」にあわせてください

## 再生機

- 1 電源を「入」にする
- 2 コントロールされる状態にしておく  
再生機の説明書をよく読んで、必要な設定を行ってください。

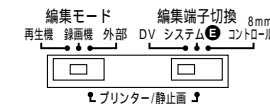
### 本機を2台使って編集する場合

- 1 接続したDV入力/出力端子に、「DV端子切換」スイッチを合わせる  
 後面の端子「1」につないだとき 「1」  
 前面の端子「2」につないだとき 「2」
- 2 再生機側のスイッチを以下のように設定する  
 「編集端子切換」スイッチ： 「DV」  
 「編集モード」スイッチ： 「外部」
- 3 「入力切換」ボタンを押して、機器を接続していない外部入力チャンネルを選ぶ

## 録画機

（本機）

- 1 電源を「入」にする
- 2 接続したDV入力/出力端子に、「DV端子切換」スイッチを合わせる  
 後面の端子「1」につないだとき 「1」  
 前面の端子「2」につないだとき 「2」
- 3 「編集モード」スイッチを「録画機」にする



- 4 「編集端子切換」スイッチを「DV」にする
- 5 「入力切換」ボタンを押して、「DV入力」にする

## お願い/ヒント

DVケーブルだけの接続では、次の編集はできません。  
 AVインサート アフレコ ミックスダビングシステム（編集）コードと、S映像（映像）・音声コードで接続を行ってください。（『10』）

DV端子に接続して編集したときは、映像・音声端子で接続の場合に比べて、一部機能が異なります。くわしくは、用語解説（『51』）をごらんください。

接続する機器によっては、正常に動作しない場合があります。

DVケーブルで接続してダビング、アッセンブル編集をすると、再生機側テープのサブコードデータもコピーされます。

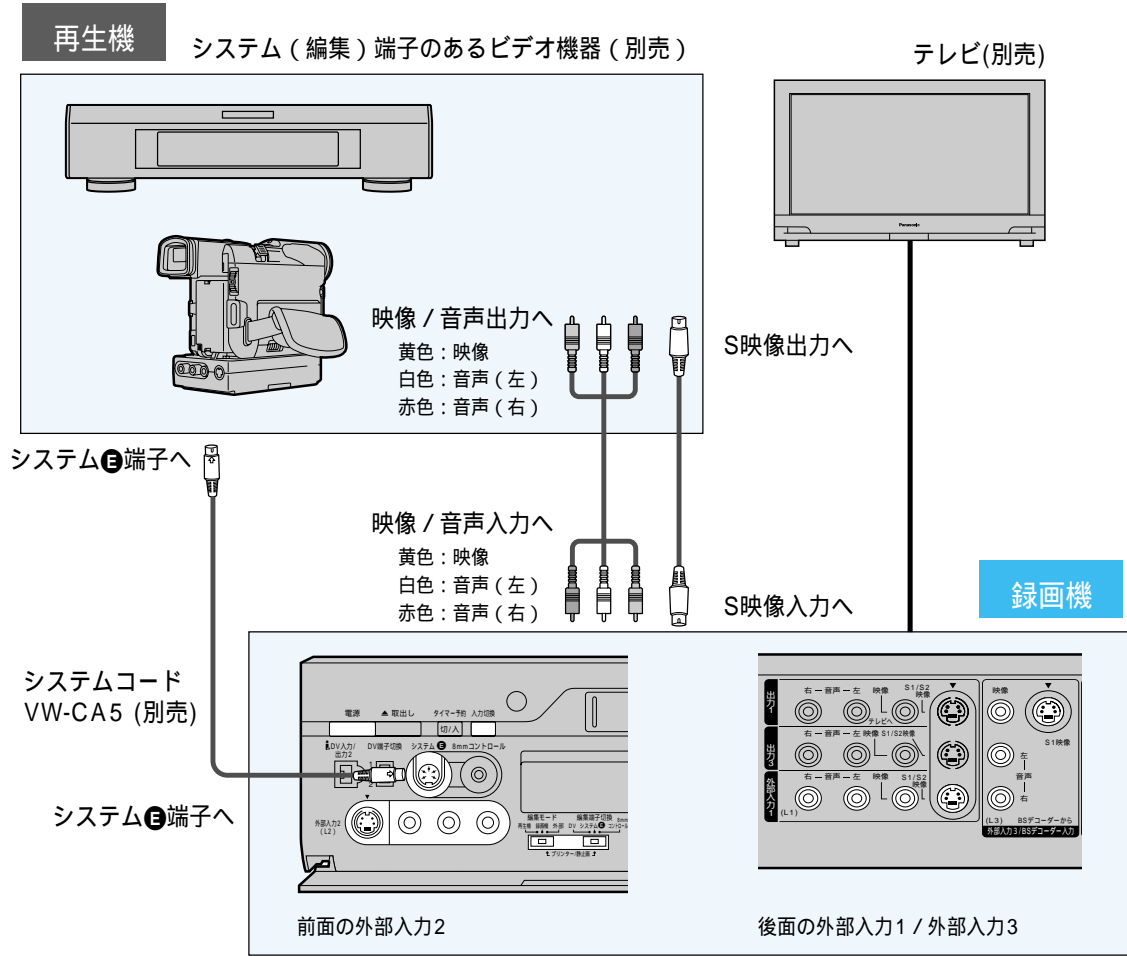
準備

DVケーブルを使って接続する

# システム(編集)コードを使って接続する

再生機としてシステム(編集)端子をもつビデオ機器(S-VHSビデオなど)と、別売のシステムコードで、録画機側(本機)から再生機側をコントロールする場合の接続例  
デジタルビデオ機器と接続して、AVインサートやアフレコ編集を行うときも、このページの接続を行ってください。

この接続で、次の編集ができます  
ダビング編集 アッセンブル編集 ビデオインサート オーディオインサート  
AVインサート アフレコ ミックスダビング



## 接続時のお願い

接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。  
デジタルビデオカメラの電源は、編集中のバッテリー切れのないよう、ACアダプターのご使用をおすすめします。  
再生機と本機をS映像コードで接続した場合、S映像からの映像が優先して録画されます。S映像端子のない機器を再生機にするときは、本機からS映像コードを外してください。  
再生機の機器の説明書をよくお読みください。

## 当社製のビデオと接続するときは

本機と同じ方式のリモコンが使われているため、正常に動作しない場合があります。どちらかのリモコンモードを変えてから、編集操作を行ってください。(基本編-81)

## 再生機

(システム端子のあるビデオ機器)

- 1 電源を「入」にする
- 2 コントロールされる状態にしておく  
再生機の説明書をよく読んで、必要な設定を行ってください。

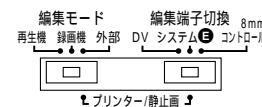
### 本機を2台使って編集する場合

- 1 再生機側のスイッチを以下のように設定する  
「編集端子切換」スイッチ: 「システムE」  
「編集モード」スイッチ: 「外部」
- 2 「入力切換」ボタンを押して、機器を接続していない外部入力チャンネルを選ぶ

## 録画機

(本機)

- 1 電源を「入」にする
- 2 「編集モード」スイッチを「録画機」にする
- 3 「編集端子切換」スイッチを「システムE」にする
- 4 「入力切換」ボタンを押して、接続した外部入力端子の「外部入力チャンネル(L1~L3)」を選ぶ  
後面の外部入力端子「L1」: 「L1」  
前面の外部入力端子「L2」: 「L2」  
後面の外部入力端子「L3」: 「L3」



## お願い/ヒント

### 本機を再生機にする場合

(この接続で、オーディオインサート、AVインサート編集はできません)  
以下の手順で行ってください

- ・本機と録画機のシステムE端子をシステムコードで接続する。
- ・本機の出力端子と、録画機の入力端子をS映像(映像)・音声コードで接続する。
- ・本機の「編集端子切換」スイッチを「システムE」に、「編集モード」スイッチを「再生機」に設定する。
- ・本機の「入力切換」ボタンを押して、機器を接続していない外部入力チャンネルを選ぶ。
- ・本機と録画機の両方に、テレビを1台ずつ接続する。(各機の映像を見るため)
- ・録画機の編集コントロール設定を行う。(機器の説明書をお読みください)

### DV入力から映像・音声を入力する場合

左ページの接続図で、映像・音声コードのかわりにDVケーブルを接続すると、映像・音声を高画質・高音質で編集することができます。  
(この接続で、AVインサート編集、アフレコ、ミックスダビング編集はできません)  
以下の手順で行ってください

- ・本機と再生機のシステムE端子をシステムコードで接続する。
- ・本機と再生機のDV端子をDVケーブルで接続する。
- ・接続したDV入力/出力端子に、「DV端子切換」スイッチを合わせる。  
後面の端子「1」につないだとき: 「1」  
前面の端子「2」につないだとき: 「2」
- ・本機の「編集端子切換」スイッチを「システムE」に、「編集モード」スイッチを「録画機」にする。
- ・本機の「入力切換」ボタンを押して、「DV入力」を選ぶ。

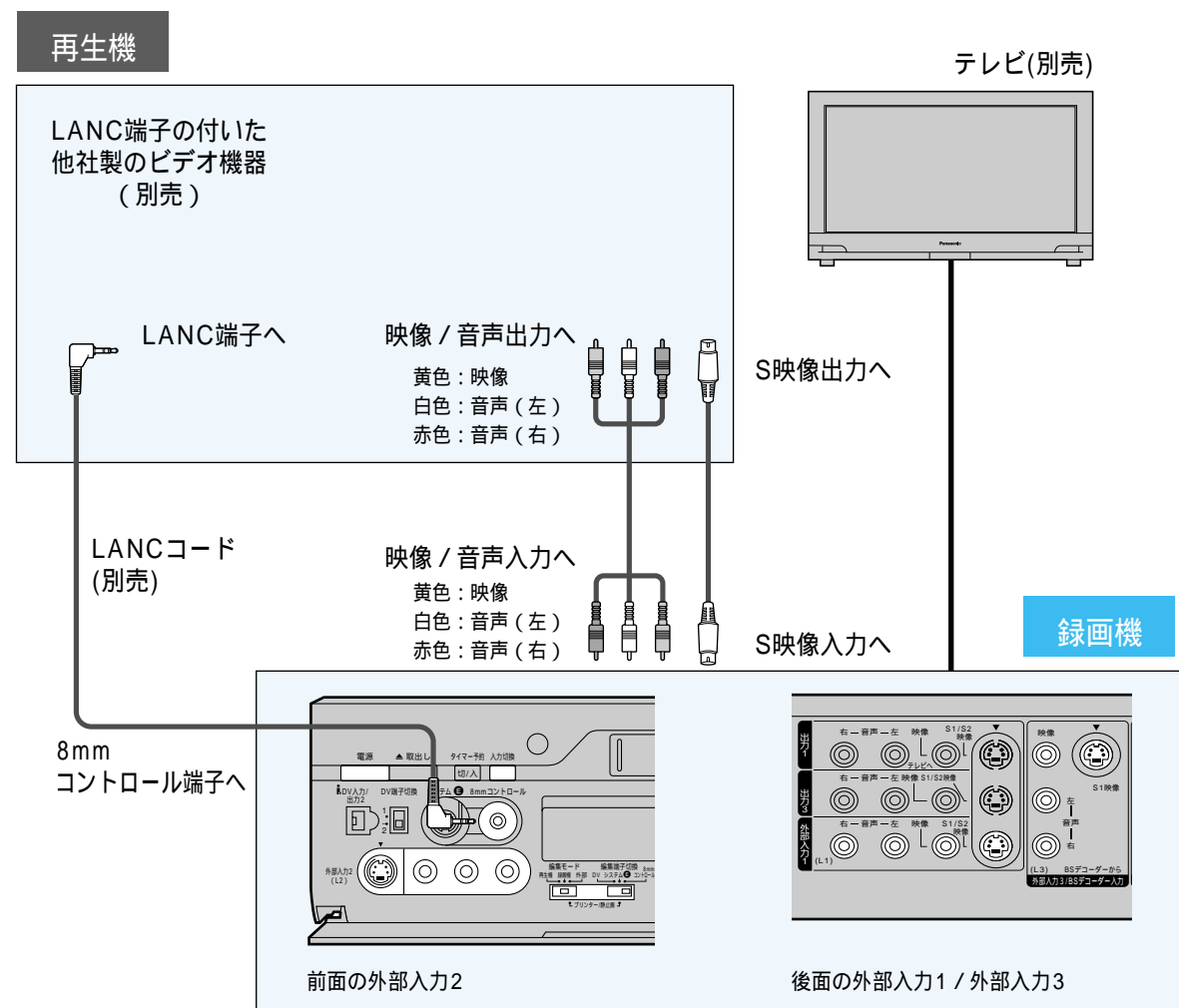
このとき、外部入力端子に映像・音声コードを接続したまま、本機の入力切換を「外部入力(L1~L3)」にすると、テレビ画面が乱れたり、ノイズが出たりする場合があります。  
(編集結果に影響はありません)  
DVケーブルで接続してダビング、アッセンブル編集をすると、再生機側テープのサブコードデータもコピーされます。

準備

システム編集コードを使って接続する

# LANCコードを使って接続する

他社製のLANC端子を持つビデオ機器を再生機として本機と接続し、録画機側（本機）から再生機側をコントロールする場合の接続例



## 接続時のお願い

接続を行う際、各機器の電源は「切」にしてください。  
再生機と本機をS映像コードで接続した場合、S映像からの映像が優先して録画されます。S映像端子のない機器を再生機にするときは、本機からS映像コードを外してください。  
再生機の機器の説明書をよくお読みください。

## 再生機

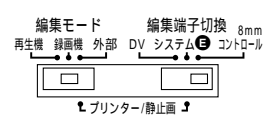
(LANC端子のあるビデオ機器)

- 1 電源を「入」にする
- 2 コントロールされる状態にしておく  
再生機の説明書をよく読んで、必要な設定を行ってください。

## 録画機

(本機)

- 1 電源を「入」にする
- 2 「編集モード」スイッチを「録画機」にする
- 3 「編集端子切換」スイッチを「8mmコントロール」にする
- 4 「入力切換」ボタンを押して、接続した外部入力端子の「外部入力チャンネル(L1 ~ L3)」を選ぶ  
後面の外部入力端子「L1」： 「L1」  
前面の外部入力端子「L2」： 「L2」  
後面の外部入力端子「L3」： 「L3」



## お願い / ヒント

### LANC端子付きビデオについて

LANC端子付きビデオ機器で本機をコントロールすることはできません。  
LANC端子の種類によっては、本機の「8mmコントロール」端子と形状の異なるものがあります。接続する機器によっては、正常に動作しない場合があります。

### DV入力から映像・音声を入力する場合

左ページの接続図で、映像・音声コードのかわりにDVケーブルを接続すると、映像・音声を高画質・高音質で編集することができます。(この接続で、AVインサート編集、アフレコ、ミックスダビング編集はできません)  
以下の手順で行ってください

- ・本機の8mmコントロール端子と再生機のLANC(8mmコントロール)端子をLANCコードで接続する。
- ・本機と再生機のDV端子をDVケーブルで接続する。
- ・接続したDV入力/出力端子に、「DV端子切換」スイッチを合わせる。
- 後面の端子「1」につないだとき： 「1」  
前面の端子「2」につないだとき： 「2」
- ・本機の「編集端子切換」スイッチを「8mmコントロール」に、「編集モード」スイッチを「録画機」に設定する。
- ・本機の「入力切換」ボタンを押して、「DV入力」を選ぶ。

このとき、外部入力端子に映像・音声コードを接続したまま、本機の入力切換を「外部入力(L1 ~ L3)」にすると、テレビ画面が乱れたり、ノイズが出たりする場合があります。

(編集結果に影響はありません)

DVケーブルで接続してダビング、アッセンブル編集をすると、再生機側テープのサブコードデータもコピーされます。  
DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子で接続の場合に比べて、一部機能が異なります。くわしくは、用語解説(『51)をごらんください。

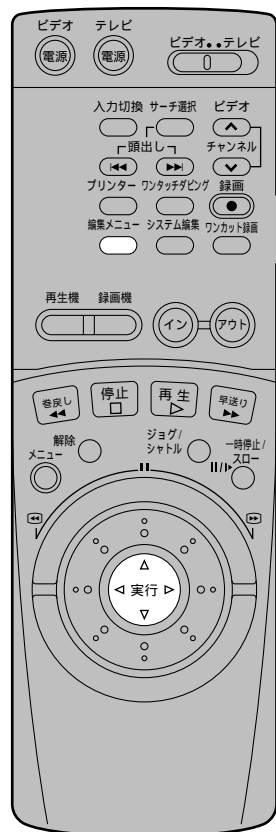
準備

LANCコードを使って接続する

# 編集に必要な設定をする

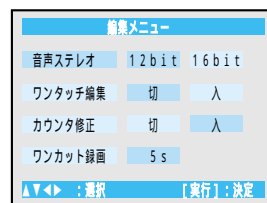
接続する機器や、行う編集に応じた設定を画面で設定します。

**準備** 各機器との接続 ( 8 ~ 13 ) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。



1 「編集メニュー」ボタンを押す  
編集メニュー画面が表示されます。

2 「△▽」で設定する項目を選んだ  
あと、「<>」で必要な設定を行  
い、「実行」ボタンを押す



「編集メニュー設定」の内容 ( は、工場出荷時の設定です )

## 音声ステレオ

記録する音声モード ( 基本編、45 ) を選択します。

12bit : 音声領域を2つに分けて、「ステレオ1」と「ステレオ2」の2種類のステレオ音声を記録します。

16bit : 音声領域のすべてを使って、より高音質の音声を記録します。

## ワンタッチ編集

切 : ワンタッチ編集以外の編集を行うときは、この位置にしてください。

入 : ワンタッチ編集 ( 18 ~ 23 ) を行うとき。  
ワンタッチ編集は、「編集モード」スイッチが「録画機」に設定されているときに、働きます。

## カウンタ修正

切 : デジタルビデオ機器以外の機器と接続しているときは、この位置にしてください。  
デジタルビデオ機器と接続していても、カウンターモードがタイムコード表示以外になっているときは、「切」にしてください。  
編集端子切替スイッチが「DV」になっているときは、自動的にカウンタ修正が働きます。

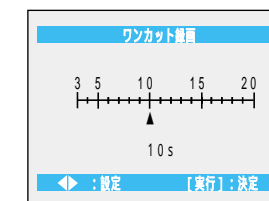
入 : 接続した機器のカウンターモード ( テープの時間表示 ) が、DV方式のタイムコード表示になっているときはこの位置にしてください。

## ワンカット録画

ワンカット録画 ( 基本編 ) の記録時間 ( 秒 ) を設定します。

左ページの手順 2 で「ワンカット録画」を選んで、「実行」ボタンを押すと、ワンカット録画の時間設定画面が表示されます。

「<>」で時間を設定して、「実行」ボタンを押す



## お願い/ヒント

12bitモードの音声トラックについて  
通常の録画では、音声は「ステレオ1」に記録されます。本機でアフレコ編集をしたときなどは、「ステレオ2」トラックに新しい音声記録されます。

「DV入力」チャンネルを選んでいるときは  
「音声ステレオ」の設定に関係なく、「DV入力」端子に送られてくる信号に合わせて、自動的に「12bit」または「16bit」が選ばれます。

「ワンカット録画」記録時間は、工場出荷時には、「5s (秒)」に設定されています。  
「カウンタ修正」については、用語解説 ( 51 ) の「ドロップフレーム」の項目をお読みください。

準備

編集に必要な設定をする

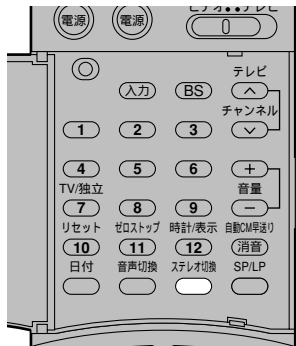
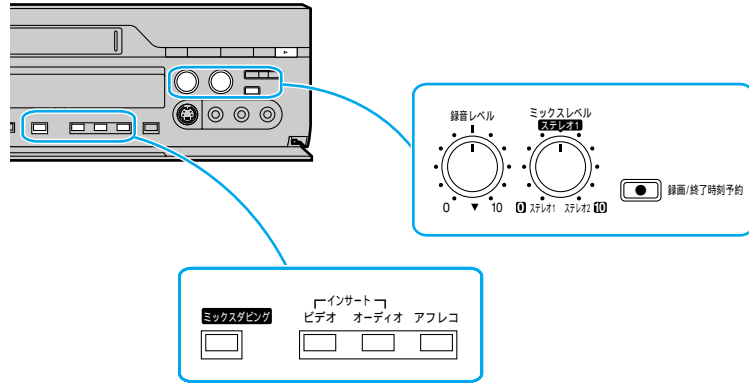


# 直接機器を操作して編集する (ダイレクト編集)

録画機と再生機を直接操作して各種編集を行います。



機器に合わせて必要な接続を完了させる。(☞基本編-54)  
 録画機の「入力切換」を、再生機と接続している入力チャンネルに合わせる。  
 必要なときは、「オプション設定」(☞基本編-90)、「編集に必要な設定」(☞14 ~ 15)を完了させておく。  
 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する(☞7)



- 再生機を操作して、再生機側の編集を開始する部分をさがし、静止画再生にしておく
- 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
ジョグ/シャトルボタンが点灯します。  
本機が静止画再生になります。
- 本機のジョグ/シャトルを使って、録画機側(本機)の編集を開始する部分をさがす

### お願い/ヒント

ダビングはLPモードでも行えますが、LPモードで記録したテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。(☞7)  
 本機のカウンターモードを、テープカウンター表示にしてインサート編集を行うと、カウンター値が「0:00.00」の点で本機の編集動作は自動的に止まります。

### 正しく編集できないときは

「困ったとき!?(☞48)を参照してください。

- 編集するモードのボタンを押す  
映像と音声のコピー(ダビング)する場合は、「録画」ボタン  
映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」ボタン  
音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」ボタン  
映像と音声の両方を入れ換える場合は「ビデオインサート」と「オーディオインサート」のどちらかのボタンを先に押し、その後もう一方を押す  
新しく音声を追加する場合は「アフレコ」  
ミックスダビングの場合は「アフレコ」を押した後、「ミックスダビング」を押す  
本機が録画(録音)一時停止になります。



- 本機の「一時停止/スロー」ボタンと再生機の一時停止ボタンを同時に押す  
編集が始まります。

### 編集をやめるとき

本機の「停止」ボタンを押したあと、再生機の「停止」ボタンを押す

### マイクを使ってアフレコ編集(ミックスダビング)をする場合

- マイク端子のあるオーディオ機器を本機に接続する。
- オーディオ機器にマイクを接続する。
- 本機の「入力切換」ボタンを押し、オーディオ機器に接続している外部入力チャンネルを選ぶ。
- 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す。
- 本機のジョグ/シャトルを使って編集開始点を探す。
- 本機の「アフレコ」ボタンを押す。  
(ミックスダビングのときは、「ミックスダビング」ボタンも押す)  
本機の「録音レベル」つまみで、入力音量レベルを調節する。

- 本機の「一時停止/スロー」ボタンを押す。  
編集が始まります。  
編集をやめるときは、本機の「停止」ボタンを押す。

### アフレコ編集後の音声について

再生中に、リモコンの「ステレオ切換」ボタンを押して、「ステレオ2(ST2)」トラックを選ぶと聴くことができます。  
 「ステレオ1+2(ミックス)」を選んでいるときは、ビデオ本体の「ミックスレベル/ステレオ1」つまみでステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調節することができます。

## ワンタッチアッセンブル編集 (必要な場面をつなぎ合わせる)

ワンタッチ編集機能を使うと、本機から再生機を操作してアッセンブル編集ができます。



各機器との接続ページ(☞8 ~ 13)を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
必要なときは、「編集に必要な設定」(☞14 ~ 15)を完了させておく。  
(編集メニューの「ワンタッチ編集」を「入」にする)  
編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する(☞7)



- 1 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
ジョグ/シャトルボタンが点灯します。  
本機が静止画再生になります。
- 2 本機のジョグ/シャトルを使って、録画機側(本機)の編集を開始する部分をさがす
- 3 本機の「録画」ボタンを押す  
本機が録画一時停止になります。  
再生機側が静止画再生になり、再生機側の画面に切りかわります。

- 4 本機のジョグ/シャトルを使って、再生機側の編集を開始する部分をさがす
- 5 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

### 続けて編集をするとき

本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、手順 4 ~ 5 を繰り返す

### 編集をやめるとき

本機の「停止」ボタンを押す

ワンタッチ編集をしないときは、編集メニューの「ワンタッチ編集」を「切」にしてください。

### お願い/ヒント

アッセンブル編集はLPモードでも行えますが、LPモードで記録したテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。(☞7)

### 「ジョグ/シャトル」ボタンについて

「ジョグ/シャトル」ボタンを押して約 30 秒以上経過すると、電池消費を防ぐためボタンの点灯が消えます。

録画機側の編集開始点を設定した後に(手順 2)、  
「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯した場合は、再度「ジョグ/シャトル」ボタンを押して点灯させてから、再生機側の編集開始点をさがしてください。

再生機側の編集開始点を設定した後に(手順 4)消灯した場合は、「ジョグ/シャトル」ボタンを 2 回押すと編集が始まります。

### 正しく編集できないときは

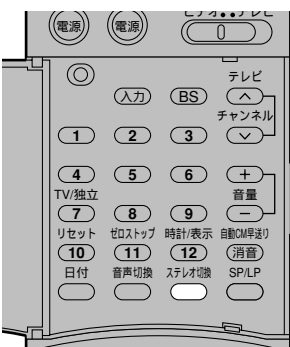
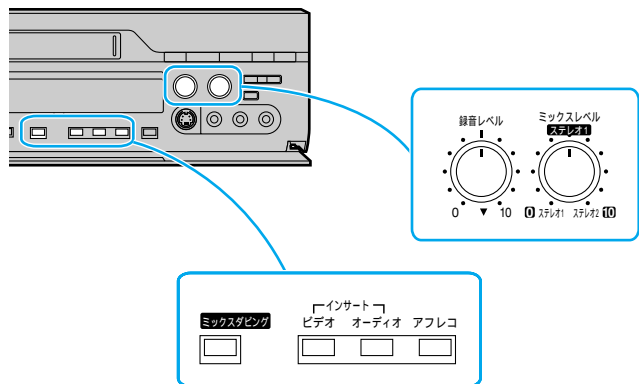
「困ったとき!?(☞48)を参照してください。

## ワンタッチインサート/アフレコ編集 (映像や音声を差し替える/音声を追加する)

ワンタッチ編集機能を使うと、本機から再生機を操作してインサート編集 (ビデオインサート、オーディオインサート、AV インサート)、アフレコ編集ができます。



- 各機器との接続ページ (P8 ~ 13) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。
- 必要なときは、「編集に必要な設定」(P14 ~ 15) を完了させておく。  
(編集メニューの「ワンタッチ編集」を「入」にする)
- 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する (P7)



- 1 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
ジョグ/シャトルボタンが点灯します。  
本機が静止画再生になります。
- 2 本機のジョグ/シャトルを使って、録画機側 (本機) の編集を開始する部分をさがす

### お願い/ヒント

本機のカウンターモードを、テープカウンター表示にしてインサート編集を行うと、カウンター値が「0:00.00」の点で本機の編集動作は自動的に止まります。

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

- 録画機側 (本機) のテープが
  - ・LP モードで録画されている
  - ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AV インサート編集、アフレコ編集はできません

- 録画機側 (本機) のテープが
  - ・16bit 音声モードで記録されている
  - ・LP モードで録画されている
  - ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
- 入力切換が「DV 入力」のとき

### 3 編集するモードのボタンを押す

- 映像のみを入れ換える場合は「ビデオインサート」
- 音声のみを入れ換える場合は「オーディオインサート」
- 映像と音声の両方を入れ換える場合は「ビデオインサート」と「オーディオインサート」のどちらかのボタンを先に押し、その後もう一方を押す
- 新しく音声を追加する場合は「アフレコ」

本機が録画 (録音) 一時停止になります。再生機側が静止画再生になり、再生機側の画面に切りかわります。

### 4 本機のジョグ/シャトルを使って、再生機側の編集を開始する部分をさがす

### 5 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す

再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。

### 続けて編集をするときは

本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、手順 4 ~ 5 を繰り返す

### 編集をやめるときは

本機の「停止」ボタンを押す

ワンタッチ編集をしないときは、編集メニューの「ワンタッチ編集」を「切」にしてください。

### 「ジョグ/シャトル」ボタンについて

「ジョグ/シャトル」ボタンを押して約 30 秒以上経過すると、電池消費を防ぐためボタンの点灯が消えます。

録画機側の編集開始点を設定した後に (手順 2)、 「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯した場合は、再度「ジョグ/シャトル」ボタンを押して点灯させてから、再生機側の編集開始点をさがしてください。

再生機側の編集開始点を設定した後に (手順 4) 消灯した場合は、「ジョグ/シャトル」ボタンを 2 回押しと編集が始まります。

### アフレコ編集後の音声について

再生中に、リモコンの「ステレオ切換」ボタンを押して、「ステレオ 2 (ST 2)」トラックを選ぶと聴くことができます。

「ステレオ 1 + 2 (ミックス)」を選んでいるときは、ビデオ本体の「ミックスレベル/ステレオ 1」つまみでステレオ 1 とステレオ 2 の音声のバランスを調節することができます。

### 正しく編集できないときは

「困ったとき!？」(P48) を参照してください。

### ビデオ表示部



ビデオインサートの場合



オーディオインサートの場合



AVインサートの場合



アフレコの場合

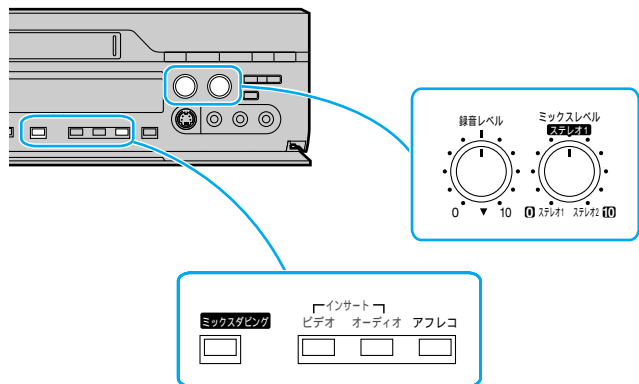
## ワンタッチミックスダビング編集(元の音声と新しい音声をミックスする)

すでに記録されているステレオ1の音声と、外部入力(L1~L3)からの音声をミックスさせて、ステレオ2の音声トラックに録音する編集です。

- 準備**
- 各機器との接続ページ(☞10~13)を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。
  - 必要なときは、「編集に必要な設定」(☞14~15)を完了させておく。  
(編集メニューの「ワンタッチ編集」を「入」にする)
  - 編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることを確認する(☞7)

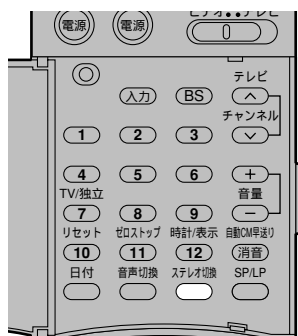


- 1 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
ジョグ/シャトルボタンが点灯します。  
本機が静止画再生になります。



- 2 本機のジョグ/シャトルを使って、録画機側(本機)の録音を開始する部分をさがす

- 3 本機の「アフレコ」ボタンを押す  
本機が録音一時停止になります。  
再生機側が静止画再生になり、再生機側の画面に切りかわります。



### お願い/ヒント

次のようなとき、ミックスダビング編集はできません

- 録画機側(本機)のテープが
  - ・16bit音声モードで記録されている
  - ・LPモードで録画されている
  - ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
- 入力切替が「DV入力」のとき

- 4 本機の「ミックスダビング」ボタンを押す  
ボタンが点灯します。

- 5 本機のジョグ/シャトルを使って、再生機側の入れ換えたい音声の最初の部分をさがす

- 6 本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯し、編集が始まります。  
必要なときは、「ミックスレベル/ステレオ1」つまみで元の音声(ステレオ1)を、「録音レベル」つまみで再生機側(外部入力)からの音声の大きさを調節する

### 続けて編集をするときは

本機の「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、手順5~6を繰り返す

### 編集をやめるときは

本機の「停止」ボタンを押す  
ワンタッチ編集をしないときは、編集メニューの「ワンタッチ編集」を「切」にしてください。

### ミックスダビング後の音声について

再生中に、リモコンの「ステレオ切替」ボタンを押して、「ステレオ2」トラックを選ぶと、聴くことができます。  
元の音声(ステレオ1)と外部入力(L1~L3)からの音声の大きさを変えて録音し直したいときは、  
・元の音声(ステレオ1)の大きさは、「ミックスレベル/ステレオ1」つまみで  
・ライン入力(L1~L3)からの音声の大きさは、「録音レベル」つまみで  
それぞれ調節して録音し直してください。  
つまみは1回押すと出てきます。

### 正しく編集できないときは

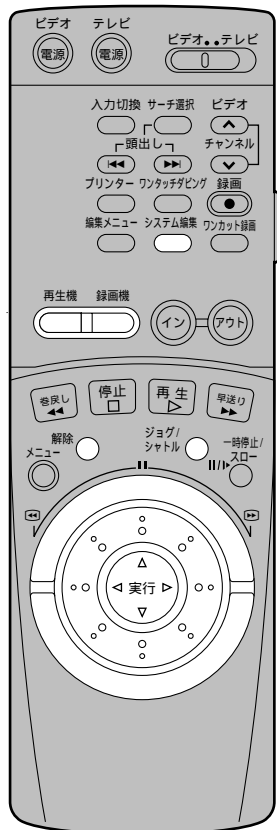
「困ったとき!?(☞48)を参照してください。

# システムダビング編集 (映像・音声をコピーする)

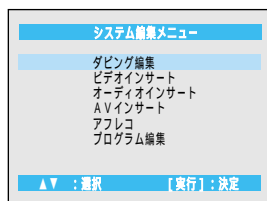
接続した機器と本機の動作を画面で確認しながら、ダビング (映像・音声のコピー) ができます。



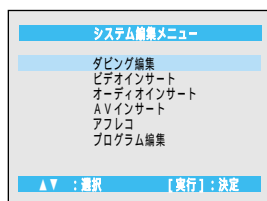
各機器との接続ページ (P8 ~ 13) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(P14 ~ 15) を完了させておく。  
 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する (P7)



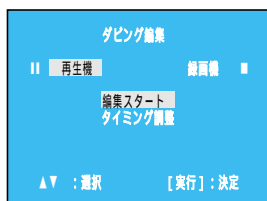
1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。



2 「ダビング編集」が選ばれていることを確認し、「実行」ボタンを押す  
 ダビング編集画面が表示されます。

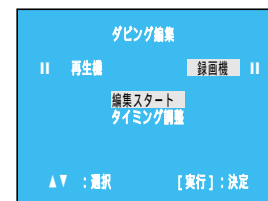


3 再生機の編集開始点を決める  
 1 「再生機」ボタンを押す  
 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、  
 ジョグ/シャトルモードにする  
 静止画再生の画面になります。  
 3 ジョグ/シャトルを使って、コピー  
 したい最初の部分をさがし、一時停  
 止状態にしておく

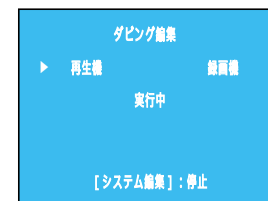


4 録画機の編集開始点を決める

1 「録画機」ボタンを押す  
 2 ジョグ/シャトルを使って、録画を  
 開始する部分をさがし、一時停止状  
 態にしておく  
 「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯し  
 ている場合は、ボタンを点灯させて  
 から、ジョグ/シャトルを操作してく  
 ださい。



5 「実行」ボタンを押す  
 再生機側のテープが巻き戻されたあと、  
 編集が始まります。



## 編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
 手順 3 の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場  
 面を訂正することができます。

## システムダビング編集の画面を解除するときには

「解除」ボタンを押す  
 通常の状態に戻ります。

## お願い/ヒント

ダビングはLPモードでも行えますが、LPモ  
 ードで記録したテープにインサート編集、アフレコ  
 編集、ミックスダビング編集はできません。SP  
 モードでダビングし直してから編集してくださ  
 い。(P7)

## お願い/ヒント

画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再  
 生している場合も、機器により静止画再生の表示  
 (II) になることがあります。  
 指定した編集開始点のタイミングがずれる場合  
 は、±約1秒の誤差を修正することができます。  
 「編集タイミングがずれるとき (システムマニ  
 ュアル編集時)」(P44) を参照してください。

## 正しく編集できないときは

「困ったとき!」(P48) を参照してください。

# システムインサート編集 (映像や音声を差し替える)

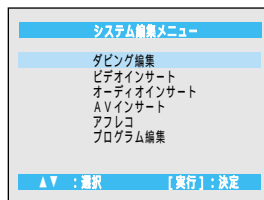
接続した機器と本機の動作を画面で確認しながら、インサート編集 (映像・音声の差し替え) ができます。



各機器との接続ページ (P8 ~ 13) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(P14 ~ 15) を完了させておく。  
 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する (P7)

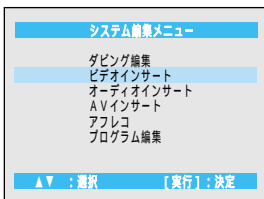


1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。



2 「△▽」で編集モードを選び、「実行」ボタンを押す

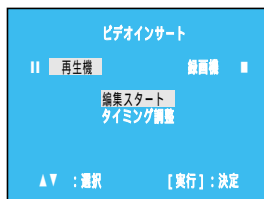
映像を入れ換える場合は  
 「ビデオインサート」  
 音声を入れ換える場合は  
 「オーディオインサート」  
 映像と音声の両方を入れ換える場合は  
 「AV インサート」



選んだ編集モードの編集画面が表示されます。

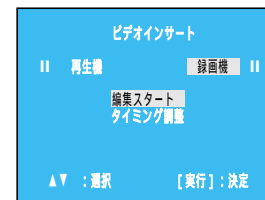
3 再生機の編集開始点を決める

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、ジョグ/シャトルモードにする  
 静止画再生の画面になります。
- 3 ジョグ/シャトルを使って、編集を開始する部分をさがし、一時停止状態にしておく

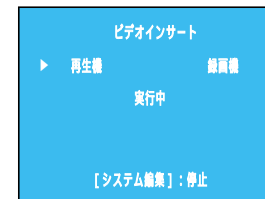


4 録画機の編集開始点を決める

- 1 「録画機」ボタンを押す
- 2 ジョグ/シャトルを使って、編集を開始する部分をさがし、一時停止状態にしておく  
 「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯している場合は、ボタンを点灯させてから、ジョグ/シャトルを操作してください。



- 5 「実行」ボタンを押す  
 再生機側のテープが巻き戻されたあと、編集が始まります。



## 編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
 手順 3 の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場面を訂正することができます。

## システムインサート編集の画面を解除するときは

「解除」ボタンを押す  
 通常の状態に戻ります。

## お願い/ヒント

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません  
 録画機側 (本機) のテープが  
 ・LP モードで録画されている  
 ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AV インサート編集はできません  
 録画機側 (本機) のテープが  
 ・16bit 音声モードで記録されている  
 ・LP モードで録画されている  
 ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき  
 入力切換が「DV 入力」のとき

## お願い/ヒント

画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再生している場合も、機器により静止画再生の表示 (II) になることがあります。  
 指定した編集開始点のタイミングがずれる場合は、±約 1 秒の誤差を修正することができます。  
 「編集タイミングがずれるとき (システムマニュアル編集時)」(P44) を参照してください。

## 正しく編集できないときは

「困ったとき!」(P48) を参照してください。

# システムアフレコ編集 (音声を追加する)

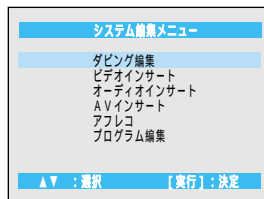
接続した機器と本機の動作を画面で確認しながら、アフレコ編集(「ステレオ2」トラックに音声を追加する)ができます。



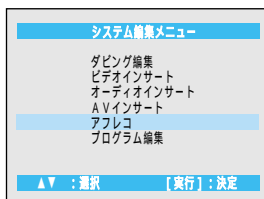
各機器との接続ページ(☞10~13)を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(☞14~15)を完了させておく。  
 編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることを確認する(☞7)



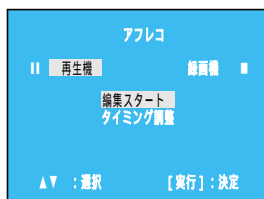
1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。



2 「△▽」で「アフレコ」を選び、  
 「実行」ボタンを押す  
 アフレコ編集画面が表示されます。

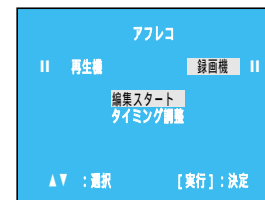


3 再生機の編集開始点を決める  
 1 「再生機」ボタンを押す  
 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押し、  
 ジョグ/シャトルモードにする  
 静止画再生の画面になります。  
 3 ジョグ/シャトルを使って、編集を  
 開始する部分をさがし、一時停止状  
 態にしておく



4 録画機の編集開始点を決める

1 「録画機」ボタンを押す  
 2 ジョグ/シャトルを使って、編集を  
 開始する部分をさがし、一時停止状  
 態にしておく  
 「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯し  
 ている場合は、ボタンを点灯させ  
 てから、ジョグ/シャトルを操作して  
 ください。



5 「実行」ボタンを押す  
 再生機側のテープが巻き戻されたあと、  
 編集が始まります。



## 編集をやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
 手順③の画面に戻りますので、続けて編集することや編集を開始する場  
 面を訂正することができます。

## システムアフレコ編集の画面を解除するとき

「解除」ボタンを押す  
 通常の状態に戻ります。

## お願い/ヒント

次のようなとき、アフレコ編集はできません

- 録画機側(本機)のテープが
  - ・16bit 音声モードで記録されている
  - ・LPモードで録画されている
  - ・何も記録されていない、あるいは途中で未記録  
部分に変わっているとき
- 入力切替が「DV入力」のとき

## お願い/ヒント

画面の再生機側の動作表示は、再生機をスロー再  
 生している場合も、機器により静止画再生の表示  
 (II)になることがあります。  
 指定した編集開始点のタイミングがずれる場合  
 は、±約1秒の誤差を修正することができます。  
 「編集タイミングがずれるとき(システムマニ  
 ュアル編集時)」(☞44)を参照してください。

## 正しく編集できないときは

「困ったとき!？」(☞48)を参照してください。

## アフレコ編集後の音声について

再生中に、リモコンの「ステレオ切替」ボタンを  
 押して、「ステレオ2(ST2)」トラックを選ば  
 と聴くことができます。  
 「ステレオ1+2(ミックス)」を選んでるとき  
 は、ビデオ本体の「ミックスレベル/ステレオ1」  
 つまみでステレオ1とステレオ2の音声のバラ  
 ンスを調節することができます。

# プログラムアッセンブル編集 (必要な場面をつなぎ合わせる)

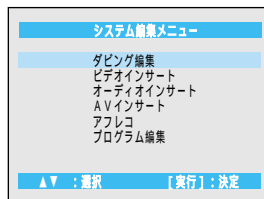
必要な場面だけを登録して、一度に1本のテープにまとめて編集することができます。



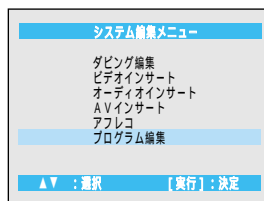
各機器との接続ページ(☞8~13)を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(☞14~15)を完了させておく。  
 編集開始点の手前20秒間が正しく記録されていることを確認する(☞7)



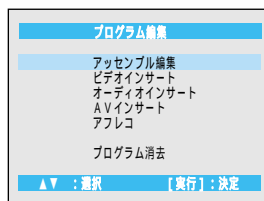
1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。



2 「△▽」で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す  
 プログラム編集モードメニューが表示されます。



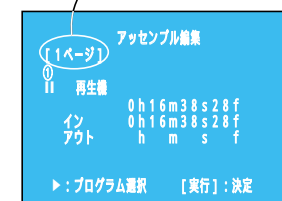
3 「△▽」で「アッセンブル編集」を選び、「実行」ボタンを押す  
 再生機側の編集点設定画面になります。



4 再生機側の編集開始(イン)点を決める

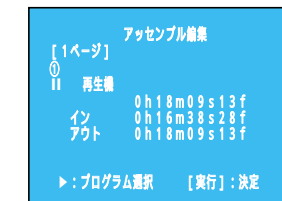
- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
 再生機側の静止画再生の画面になります。
- 3 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす
- 4 「イン」ボタンを押す  
 「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

ページ表示  
 アッセンブル編集では、  
 最大20プログラム  
 (1ページに10プログラム)  
 まで登録できます。



5 再生機側の編集終了(アウト)点を決める

- 1 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最後の部分をさがす  
 編集が正確に行われるために、1プログラムあたりの時間は最低4秒以上で設定してください。
- 2 「アウト」ボタンを押す  
 「アウト」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



(次のページにつづく)

## お願い/ヒント

一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」(☞43)を行ってください。  
 電源をはずすと、登録したプログラムは消去されます。

次のようなときは、手順③で編集モードを選ばないと、「プログラム消去」画面(☞43)が表示されません

タイムコード表示で編集点の登録を行った後、本機または再生機のカウンターモード(タイムコード/テープカウンター表示)を変えたとき

## お願い/ヒント

アッセンブル編集はLPモードでも行えますが、LPモードで記録したテープにインサート編集、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。SPモードでダビングし直してから編集してください。(☞7)

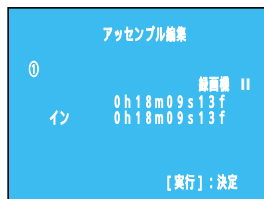
設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。機器によっては、フレーム値のないものでも、手順4、5でイン/アウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。





6 録画機側の編集開始 (イン) 点を決める

- 1 「録画機」ボタンを押す
- 2 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす  
「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯している場合は、ボタンを点灯させてから、ジョグ/シャトルを操作してください。
- 3 「イン」ボタンを押す  
「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

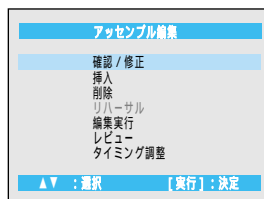


「アッセンブル編集」の録画機側の設定は、最初のプログラムのイン点の登録で完了します。

続けて登録するときは

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「◀▶」を押して、プログラム番号を選ぶ  
最大 20 プログラムまで登録できます。  
1 ページに 10 登録でき、10 をこえると次のページに自動的に移ります
- 3 手順 4 ~ 5 を繰り返す

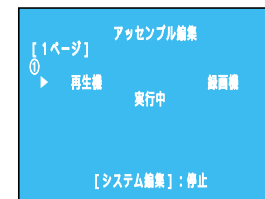
- 7 「実行」ボタンを押して、プログラム内容を確定する  
プログラム編集メニューが表示されます。



登録内容の確認/修正/挿入/削除/消去をするときは

「登録内容の確認/変更をする」(P42) をご覧ください。

- 8 実際の編集を実行する  
プログラム編集メニューの「編集実行」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻されたあと、番号順に編集が始まります。(実際に記録されます)



- 9 編集結果を確認する  
プログラム編集メニューの「レビュー」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
編集された内容を再生します。



編集を途中でやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
再生機と録画機が停止します。

プログラム編集の画面を解除するには

「解除」ボタンを押す

お願い/ヒント

アッセンブル編集では、リハーサルはできません。編集の結果が、登録した編集開始/終了点とずれていた場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき(プログラム編集時)」(P45)を参照してタイミングの調整を行ってください。

正しく編集できないときは

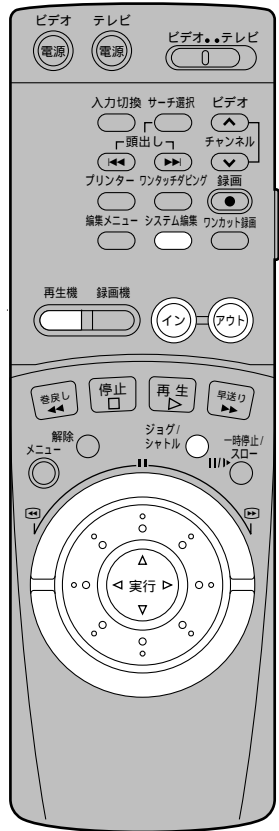
「困ったとき!？」(P48)を参照してください。

# プログラムインサート編集 (映像や音声を差し替える)

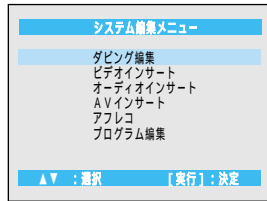
差し替えたい映像や音声を登録して自動的に編集をすることができます。



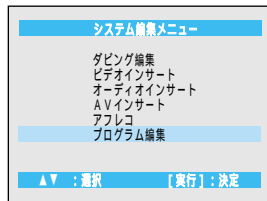
各機器との接続ページ (P8 ~ 13) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(P14 ~ 15) を完了させておく。  
 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する (P7)



1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。

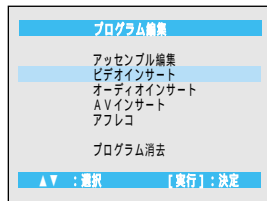


2 「△▽」で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す  
 プログラム編集モードメニューが表示されます。



3 「△▽」で編集モードを選び、「実行」ボタンを押す

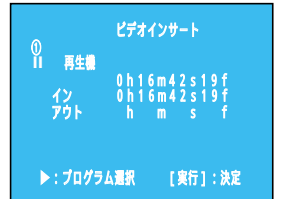
映像を入れ換える場合は「ビデオインサート」  
 音声を入れ換える場合は「オーディオインサート」  
 映像と音声の両方を入れ換える場合は「AVインサート」  
 選んだ編集モードの編集点設定画面が表示されます。



ビデオインサートを選んだ場合

4 再生機側の編集開始 (イン) 点を決める

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
 再生機側の静止画再生の画面になります。
- 3 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす
- 4 「イン」ボタンを押す  
 「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



5 再生機側の編集終了 (アウト) 点を決める

- 1 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最後の部分をさがす  
 編集が正確に行われるために、1 プログラムあたりの時間は最低 4 秒以上で設定してください。
- 2 「アウト」ボタンを押す  
 「アウト」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



(次のページにつづく)

## お願い/ヒント

次のようなとき、ビデオインサート編集、オーディオインサート編集はできません

- 録画機側 (本機) のテープが
  - ・ LP モードで録画されている
  - ・ 何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき

次のようなとき、AV インサート編集はできません

- 録画機側 (本機) のテープが
  - ・ 16bit 音声モードで記録されている
  - ・ LP モードで録画されている
  - ・ 何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
- 入力切替が「DV入力」のとき

一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」(P43) を行ってください。

電源をはずすと、登録したプログラムは消去されます。

次のようなときは、手順 3 で編集モードを選ばないと、「プログラム消去」画面 (P43) が表示されず、タイムコード表示で編集点の登録を行った後、本機または再生機のカウンターモード (タイムコード/テープカウンター表示) を変えたとき

## 編集点の登録について

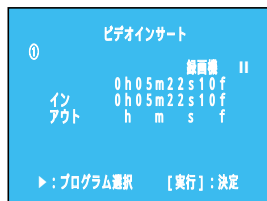
プログラムインサート/アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の 3 点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の 3 点の設定のみでも編集が行えます。再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。設定時間が 4 秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。

タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。機器によっては、フレーム値のないものでも、手順 4、5 でイン/アウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。



6 録画機側の編集開始 (イン) 点を決める

- 1 「録画機」ボタンを押す
- 2 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす  
「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯している場合は、ボタンを点灯させてから、ジョグ/シャトルを操作してください。
- 3 「イン」ボタンを押す  
「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。

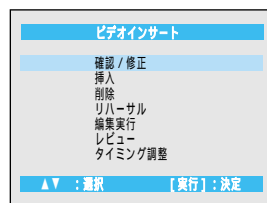


続けて登録するときは

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「<|>」を押して、プログラム番号を選ぶ  
最大 10 プログラムまで登録できます。
- 3 手順 4 ~ 6 を繰り返す

7 「実行」ボタンを押して、プログラム内容を確定する

プログラム編集メニューが表示されます。



ビデオインサートを選んだ場合

登録内容の確認 / 修正 / 挿入 / 削除 / 消去をするときは

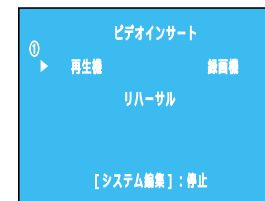
「登録内容の確認/変更をする」(P42) をごらんください。

編集点の登録について

プログラムインサート/アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の3点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の3点の設定のみでも編集が行えます。再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。

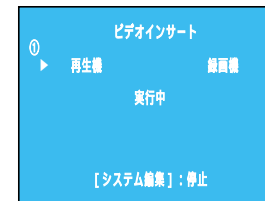
8 編集のリハーサルを実行する

プログラム編集メニューの「リハーサル」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻された後、これから開始する編集をリハーサルします。(実際には記録されません)  
リハーサル画面の録画機側の表示は、「(録画)」になりますが、実際は録画されません。  
リハーサルは、確認のためです、必要でない場合は、この手順をとばしてください。



9 実際の編集を実行する

プログラム編集メニューの「編集実行」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻されたあと、番号順に編集が始まります。(実際に記録されます)



10 編集結果を確認する

プログラム編集メニューの「レビュー」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
編集された内容を番号順に再生します。



編集を途中でやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
再生機と録画機が停止します。

プログラム編集の画面を解除するには

「解除」ボタンを押す

お願い/ヒント

編集の結果が、登録した編集開始/終了点とずれていた場合は、±約1秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき(プログラム編集時)」(P45)を参照してタイミングの調整を行ってください。

正しく編集できないときは

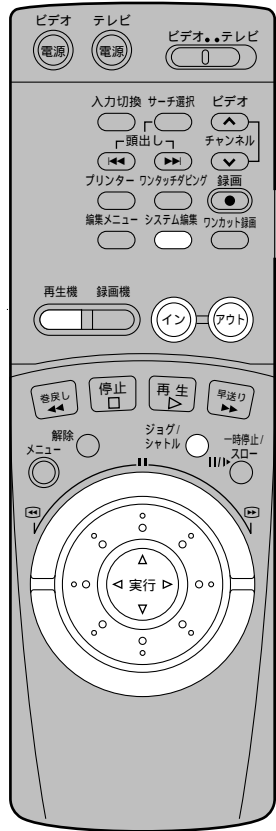
「困ったとき!？」(P48)を参照してください。

# プログラムアフレコ編集 (音声を追加する)

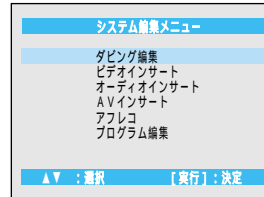
新しい音声を追加する場面を登録して、自動的に編集をすることができます。



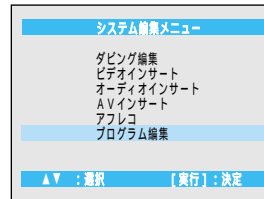
各機器との接続ページ (☞10 ~ 13) を参照し、機器にあった接続・設定を完了させる。  
 必要なときは、「編集に必要な設定」(☞14 ~ 15) を完了させておく。  
 編集開始点の手前 20 秒間が正しく記録されていることを確認する (☞7)



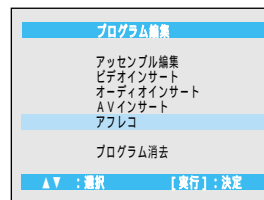
1 「システム編集」ボタンを押す  
 システム編集メニューが表示されます。



2 「△▽」で「プログラム編集」を選び、  
 「実行」ボタンを押す  
 プログラム編集モードメニューが表示  
 されます。



3 「△▽」で「アフレコ」を選び、  
 「実行」ボタンを押す  
 再生機側の編集点設定画面になります。



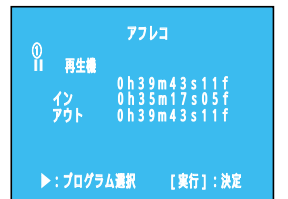
4 再生機側の編集開始 (イン) 点を決める

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「ジョグ/シャトル」ボタンを押す  
 再生機側の静止画再生の画面になります。
- 3 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす
- 4 「イン」ボタンを押す  
 「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



5 再生機側の編集終了 (アウト) 点を決める

- 1 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最後の部分をさがす  
 編集が正確に行われるために、1 プログラムあたりの時間は最低 4 秒以上で設定してください。
- 2 「アウト」ボタンを押す  
 「アウト」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



(次のページにつづく)

## お願い/ヒント

次のようなとき、アフレコ編集はできません

- 録画機側 (本機) のテープが
  - ・ 16bit 音声モードで記録されている
  - ・ LP モードで録画されている
  - ・ 何も記録されていない、あるいは途中で未記録部分に変わっているとき
- 入力切替が「DV 入力」のとき

一度プログラムを登録して、続けて別の編集モードのプログラム登録をしようとすると、登録画面に前の編集モードの登録内容が残ってしまいます。誤った編集を防ぐため、違う編集モードのプログラム登録をするごとに「プログラム消去」(☞43) を行ってください。  
 電源をはずすと、登録したプログラムは消去されます。

次のようなときは、手順 ③ で編集モードを選ぶと、「プログラム消去」画面 (☞43) が表示されます

タイムコード表示で編集点の登録を行った後、本機または再生機のカウンターモード (タイムコード/テープカウンター表示) を変えたとき

## 編集点の登録について

プログラムインサート/アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の 3 点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の 3 点の設定のみでも編集が行えます。再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。  
 設定時間が 4 秒以内のプログラムは、編集が正確に行えないことがあります。

タイムコード表示あるいはテープカウンター表示にフレーム値を持たない機器は、フレーム値の表示部分が「00f」、または空白になります。機器によっては、フレーム値のないものでも、手順 4、5 でイン/アウトボタンを押すと、その点のフレーム値が表示されることがあります。



6 録画機側の編集開始 (イン) 点を決める

- 1 「録画機」ボタンを押す
- 2 ジョグ/シャトルを使って、必要な場面の最初の部分をさがす  
「ジョグ/シャトル」ボタンが消灯している場合は、ボタンを点灯させてから、ジョグ/シャトルを操作してください。
- 3 「イン」ボタンを押す  
「イン」の時間に、ボタンを押した時点のタイムコードが表示されます。



続けて登録するときは

- 1 「再生機」ボタンを押す
- 2 「<|>」を押して、プログラム番号を選ぶ  
最大 10 プログラムまで登録できます。
- 3 手順 4 ~ 6 を繰り返す

- 7 「実行」ボタンを押して、プログラム内容を確定する  
プログラム編集メニューが表示されます。



登録内容の確認 / 修正 / 挿入 / 削除 / 消去をするときは

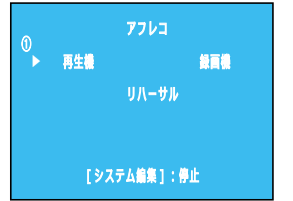
「登録内容の確認/変更をする」(P42) をご覧ください。

編集点の登録について

プログラムインサート/アフレコ編集では、再生機側イン点とアウト点、録画機側イン点の 3 点、または、再生機側イン点、録画機側イン点とアウト点の 3 点の設定のみでも編集が行えます。再生機側と録画機側両方のイン点、アウト点を設定した場合に、双方の設定時間が一致しないときは、設定時間の短い方のアウト点で編集は止まります。

8 編集のリハーサルを実行する

プログラム編集メニューの「リハーサル」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻された後、これから開始する編集をリハーサルします。  
(実際には記録されません)  
リハーサル画面の録画機側の表示は、「(録画)」になりますが、実際は記録されません。  
リハーサルは、確認のためです、必要でない場合は、この手順をとばしてください。



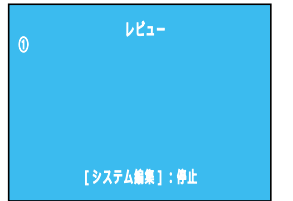
9 実際の編集を実行する

プログラム編集メニューの「編集実行」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
再生機、録画機両方のテープが編集開始点まで巻き戻されたあと、番号順に編集が始まります。(実際に記録されます)



10 編集結果を確認する

プログラム編集メニューの「レビュー」を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
編集された内容を番号順に再生します。



編集を途中でやめるときは

「システム編集」ボタンを押す  
再生機と録画機が停止します。

プログラム編集の画面を解除するには

「解除」ボタンを押す

お願い/ヒント

編集の結果が、登録した編集開始/終了点とずれていた場合は、±約 1 秒の誤差を修正することができます。「編集タイミングがずれるとき(プログラム編集時)」(P45)を参照してタイミングの調整を行ってください。

正しく編集できないときは

「困ったとき!？」(P48)を参照してください。

アフレコ編集後の音声について

再生中に、リモコンの「ステレオ切替」ボタンを押して、「ステレオ 2 (ST 2)」トラックを選ぶと聴くことができます。「ステレオ 1 + 2 (ミックス)」を選んでいるときは、ビデオ本体の「ミックスレベル/ステレオ 1」つまみでステレオ 1 とステレオ 2 の音声のバランスを調節することができます。

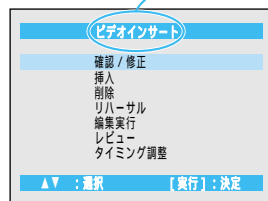
# 登録した内容の確認 / 変更 (修正 / 挿入 / 削除 / 消去) をする

登録したプログラムの内容を確認したり、修正などを行うことができます。



プログラム編集で登録を完了させると、右のような「プログラム編集メニュー」画面が表示されます。登録したプログラムの内容の確認や変更をするときは、この画面から項目を選びます。

登録した編集モードが表示されます



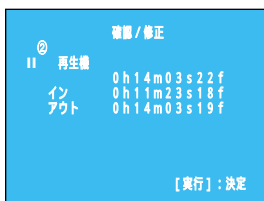
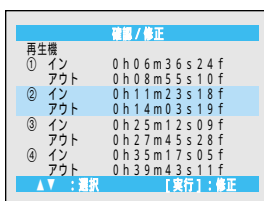
「プログラム編集メニュー」画面

## プログラム内容を確認する

- 「プログラム編集メニュー」画面を表示させる
- 「△▽」で「確認 / 修正」を選び、「実行」ボタンを押す  
再生機側の確認 / 修正画面が表示されます。  
録画機側の確認 / 修正をするときは、「録画機」ボタンを押す  
確認のみの場合は「システム編集」ボタンを押す  
プログラム編集メニューに戻ります。

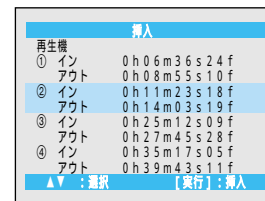


- 「プログラム編集メニュー」画面を表示させる
- 「△▽」で「確認 / 修正」を選び、「実行」ボタンを押す
- 修正したいプログラム番号を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
録画機側の修正をするときは、「録画機」ボタンを押す  
選んだプログラム番号の編集点修正画面になります。
- 「ジョグ / シャトル」ボタンを押す
- ジョグ / シャトルを使って、修正したい編集点をさがす
- 開始点を修正した場合は「イン」ボタンを押す  
終了点を修正した場合は「アウト」ボタンを押す
- 修正が終わったら、「実行」ボタンを押す  
プログラム編集メニューに戻ります。



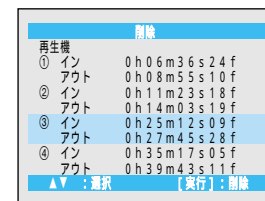
## 新しいプログラムをすでにあるプログラムの間に挿入する場合は

- 左ページ上の「プログラム編集メニュー」画面を表示させる
- 「△▽」で「挿入」を選び、「実行」ボタンを押す  
挿入画面が表示されます。
- 挿入したいプログラム番号を「△▽」で選び、「実行」ボタンを押す  
編集点挿入画面になります。
- 各編集の編集イン / アウト点設定のページ (P.30 ~ 41) を参照して新しいプログラムを登録する
- 登録が終わったら、「実行」ボタンを押す  
プログラム編集メニューに戻ります。



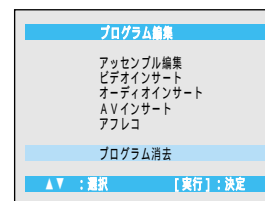
## プログラムを削除する場合は

- 左ページ上の「プログラム編集メニュー」画面を表示させる
- 「△▽」で「削除」を選び、「実行」ボタンを押す  
削除画面が表示されます。
- 「△▽」で削除したいプログラム番号を選び、「実行」ボタンを押す  
プログラム編集メニューに戻ります。  
削除しないで前の画面に戻るときは、「システム編集」ボタンを押す



## すべてのプログラムを消去する場合は

- 「プログラム編集メニュー」画面が表示されているときに、「システム編集」ボタンを2回押す  
プログラム編集モードメニューが表示されます。
- 「△▽」で「プログラム消去」を選び、「実行」ボタンを押す  
プログラム消去画面が表示されます。
- 「<>」で「はい」を選び、「実行」ボタンを押す  
プログラム編集モードメニューに戻ります。



「プログラム編集モードメニュー」画面



「プログラム消去」画面

## プログラム編集モードメニュー画面の出しかた

- 「システム編集」ボタンを押す  
システム編集メニューが表示されます
- 「△▽」で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す

## お願い / ヒント

アッセンブル編集で、録画機側のプログラム挿入、削除はできません。

登録した内容の確認 / 変更 (修正 / 挿入 / 削除 / 消去) をする

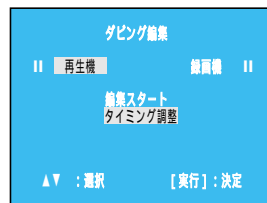
プログラム編集

## 編集タイミングがずれるとき (システムマニュアル編集時)

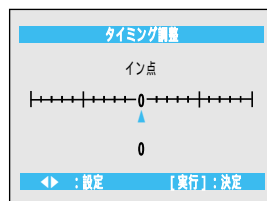
システムマニュアル編集 (☞24 ~ 29) の結果にずれがあった場合、再生機側の編集開始 (イン) 点のタイミングを ± 約 1 秒 (30 フレーム) まで調整することができます。各編集モードの編集開始点登録時に以下の操作を行ってください。



- 1 「△▽」で「タイミング調整」を選び、「実行」ボタンを押す  
編集開始 (イン) 点のタイミング調整画面が表示されます。



- 2 編集開始 (イン) 点を調整する
  - 1 「◀▶」を押して、フレーム値を調整する  
編集開始点が登録した位置よりも早くなるときは、「▶」を押す  
編集開始のタイミングが遅くなります。  
編集開始点が登録した位置よりも遅くなるときは、「◀」を押す  
編集開始のタイミングが早くなります。  
キーを押すごとに約 1 フレーム動き、± 30 フレーム (30 フレーム = 約 1 秒) まで調整できます。
  - 2 調整が完了したら「実行」ボタンを押す



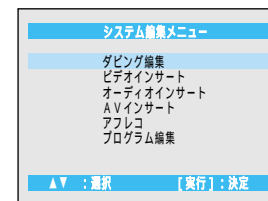
- 3 「△▽」で「編集スタート」を選び、「実行」ボタンを押す  
編集の結果、調整が不十分なときは、手順 ① ~ ② を繰り返してください。

## 編集タイミングがずれるとき (プログラム編集時)

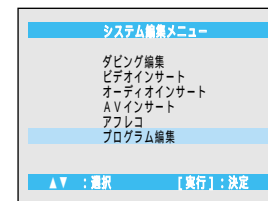
プログラム編集 (☞30 ~ 41) で登録した点と実際の結果がずれているときは、再生機側の編集開始 (イン) 点、終了 (アウト) 点のタイミングを ± 約 1 秒まで調整し、誤差を修正することができます。編集開始 / 終了点を登録後、「編集実行」をしてみると、接続する機器によって、編集点が設定した位置よりも早くなっていたり、遅くなっていたりすることがあります。以下の操作で、再生機側の編集開始点、終了点の ± 約 1 秒以内の誤差を修正し、タイミングの調整をすることができます。



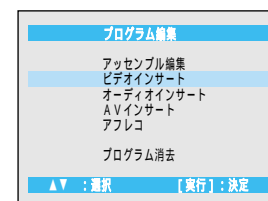
- 1 「システム編集」ボタンを押す  
システム編集メニューが表示されます。



- 2 「△▽」で「プログラム編集」を選び、「実行」ボタンを押す  
プログラム編集モードメニューが表示されます。



- 3 「△▽」で修正したい編集モードを選び、「実行」ボタンを押す  
選んだ編集モードの編集点設定画面が表示されます。



ビデオインサートを選んだ場合

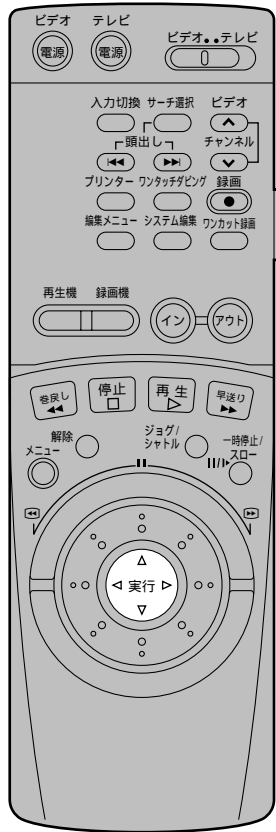
(次のページにつづく)

### お願い/ヒント

このページの手順は、一度システム編集モードを解除してからの操作です。「編集実行」「レビュー」をした後の場合は、手順 ⑤ のプログラム編集メニューから行ってください。  
調整したフレーム値は、すべての編集に適用されます。

編集タイミングがずれるとき

その他



4 「実行」ボタンを押す  
プログラム編集メニューが表示されます。

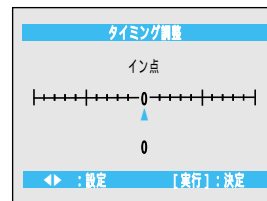
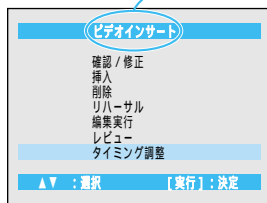
5 「△▽」で「タイミング調整」を選び、「実行」ボタンを押す  
編集開始(イン)点のタイミング調整画面が表示されます。

6 編集開始(イン)点を調整する  
1 「◀▶」を押して、フレーム値を調整する

編集開始点が登録した位置よりも早くなるときは、「▶」を押す  
編集開始のタイミングが遅くなります。  
編集開始点が登録した位置よりも遅くなるときは、「◀」を押す  
編集開始のタイミングが早くなります。  
キーを押すごとに約1フレーム動き、±約30フレーム(±約1秒)まで調整できます。

2 調整が完了したら「実行」ボタンを押す  
編集終了(アウト)点の編集タイミング調整画面が表示されます。

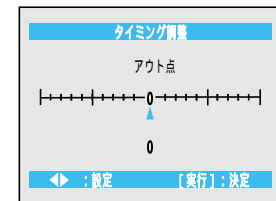
登録した編集モードが表示されます



7 編集終了(アウト)点を調整する  
1 「◀▶」を押して、フレーム値を調整する

編集終了点が登録した位置よりも早くなるときは、「▶」を押す  
編集終了のタイミングが遅くなります。  
編集終了点が登録した位置よりも遅くなるときは、「◀」を押す  
編集終了のタイミングが早くなります。  
キーを押すごとに約1フレーム動き、±約30フレーム(±約1秒)まで調整できます。

2 調整が完了したら「実行」ボタンを押す



8 「△▽」で「編集実行」を選び、「実行」ボタンを押す

編集の結果、調整が不十分なときは、手順5～7を繰り返してください。



ビデオインサートを選んだ場合



## 困ったとき!?

こんなとき	原因と対応のしかた	ページ
ワンタッチ編集が実行できない	編集メニュー設定の「ワンタッチ編集」は「入」になっていますか？	15
再生機側の編集開始点設定中に、本機が録画一時停止から停止になった	本機はテープとヘッドの保護のため、録画一時停止状態が5分以上続くと、自動的に停止します。	-
再生機側の画面が映らない	接続した端子と入力切替は一致していますか？	8~13
	再生機との接続コードはしっかり接続されていますか？	-
編集が実行できないまたは途中で止まってしまう	次のような原因が考えられます。 録画機側テープが途中で未記録部分になった 録画機側テープのテープ速度（SP / LP）、音声モード（12 / 16bit）が途中で変わった 編集中に本機のテープが終端になった 接続した機器を本機がコントロールできなくなった 不連続なタイムコードを持つテープや、同じタイムコード値が2つ存在するテープを使用している 入力切替、編集端子切替スイッチを編集集中に切り換えた 編集点をテープの始端から約20秒以内のところで設定した	-
システム編集ボタンを押しても、システム編集モード画面が表示されない	本機の設定が以下のようになっていませんか？ 編集端子切替スイッチが「DV」で、編集モードスイッチが「再生機」または「外部」のとき（本機2台を接続時） 編集端子切替スイッチが「システム」で、編集モードスイッチが「外部」のとき	-
編集集中に再生機をコントロールできなくなった	再生機側の一時停止状態が5分以上続いた場合、テープとヘッド保護のため、再生機側が自動的に停止することがあります。	-
	再生機側がビデオカメラの場合、撮影（カメラ）モードになっていると制御できません。再生（ビデオ）モードにしてください。	-
システム編集メニュー画面で、「プログラム編集」が選択できない	タイムコードあるいはテープ（リニア）カウンター表示のない機器を再生機として接続しているとき、プログラム編集はできません。	-
編集点を設定後、実行ボタンを押しても次の画面に変わらない	再生機側、録画機側両方のイン点、アウト点のうち3点が設定されていますか？ 3点以上が設定されていないと、プログラムの登録は完了しません。	-
	イン点とアウト点の時間が逆転していませんか？	30~41
プログラムの登録ができない	すでに登録がいっぱいになっていませんか？ 確認 / 修正画面で登録内容を確認してください。	43
登録したプログラムがとばされてしまう	イン点とアウト点の間が4秒以内で設定されていませんか？ 設定時間が4秒以内のプログラムは、編集が正しく行えない場合があります。	-
タイミング調整ができない	本機で再生機をコントロールできる接続はされていますか？	8~13
	再生機がタイムコードあるいはテープ（リニア）カウンター表示のない機器のとき、タイミング調整はできません。	-

## テレビ画面にメッセージが出るとき

本機を誤って操作したときなどは、テレビ画面に「エラーメッセージ」を出します。「エラーメッセージ」には、下記のようなものがあります。

エラーメッセージ	原因と対応のしかた	ページ
LP録画部のため記録できません	LPモードで録画されたテープや、テープ速度が途中でSPモードからLPモードに変わっているテープに編集はできません。テープ速度をSPモードにしてダビングしたテープをお使いください。	7
16bit記録部のため記録できません	テープの音声モードが途中で変わっていませんか？ AVインサート編集、アフレコ編集は、12bitの音声モードで記録されたテープにのみ行えます。	-
このカセットでは記録できません	未記録のテープ、または途中で未記録部分に変わっているテープを編集に使用していませんか？ 未記録（タイムコードのない）部分に編集はできません。編集に使用する場合は、何も記録されていないテープでも、連続したタイムコードを記録するために一度ダビングしてください。	7
コピーガードがかかっています	著作権保護のためのコピーガード信号が入っているテープは、再生機側、録画機側のどちらにも使用できません。	-
接続 / 設定を確認ください	再生機を制御するのに必要なコード（システムコード、LANCコード、DVケーブル）は接続されていますか？	8~13
	再生機側の電源が「切」になっていませんか？	-
	本機の「編集モード」スイッチ、「編集端子切替」スイッチ、「入力切替」は、行う編集に合わせて正しく設定されていますか？	8~13
	2台以上のデジタルビデオ機器（パソコンを含む）を本機と接続していませんか？	-
DV入力のため記録できません	デジタルビデオ機器と接続しているとき、本機と本機に接続した機器との両方が、相手側を制御するモードになっていませんか？	8~11
	「外部入力（L1~L3）」からの信号を入力して行う編集（AVインサート、アフレコなど）の途中で、入力切替を「DV入力」に変えると、編集ができなくなります。	-
DV入力を選択ください	編集端子切替スイッチが「DV」に設定されているときに、本機の入力切替が「DV入力」以外になっていませんか？	-
設定を確認してください	イン点、アウト点の時間が正しく登録されているかを確認してください。	30~39

操作によっては、メッセージが二重に出る場合があります。

## イン点/アウト点

編集を行うときに設定する、編集の開始/終了点のことです。

## タイムコード

録画されたテープ上に記録される時間の情報のことで、時(h)、分(m)、秒(s)のほかにフレーム(f)という単位で表されます(1秒はおよそ30フレーム)。タイムコードは録画と同時に記録され、テープの始端から連続して記録した場合は、録画した映像や音声のテープ上での絶対的位置を知ることができます。

新しい(何も記録されていない)カセットで録画を始めると、タイムコードはゼロから記録されます。途中まで記録されたカセットの続きから録画を始めると、その値の続きから記録されます。ただし、テープの途中に空白(無録画部分)があると、その後再びタイムコードをゼロから記録し始めます。

1フレームの値は約1/30秒のため、長時間記録していると、タイムコードと実時間の間にずれが生じてきます。デジタルビデオSD規格では、ドロップフレーム方式(ドロップフレームの項参照)を採用して、実時間との時間のずれを補正しています。

## テープカウンター(リニアカウンター)

録画や再生の経過時間を表示するためのカウンターモードです。テープの走行をカウントして(数えて)その値を表示するので、タイムコードと異なり正確なテープの位置を表示することはできません。カセットの出し入れでゼロに変わり、リセットボタンを押すと好きな地点でゼロにすることができます。録画や再生を始めた位置でリセットしておくと、その時点からの経過時間を表示することができます。

## デジタルビデオ

デジタルビデオは、映像・音声をデジタル信号に変換して記録します。デジタル信号で記録すると、画質や音声の劣化の少ない記録・再生が可能になります。

このほか、以下のような特長があります。

- 高解像度、高S/N比
- 色のにじみが少なく、安定した画面
- ダビング時の画質劣化が少ない
- デジタルPCM音声
- 長時間記録(LP)モードでも画質劣化が少ない
- タイムコード(記録時間情報)編集

### PCM音声について

本機の音声サンプリング周波数は、

16bit 48kHz 2トラック記録

12bit 32kHz 4トラック記録

の2種類から選択して記録することができます。

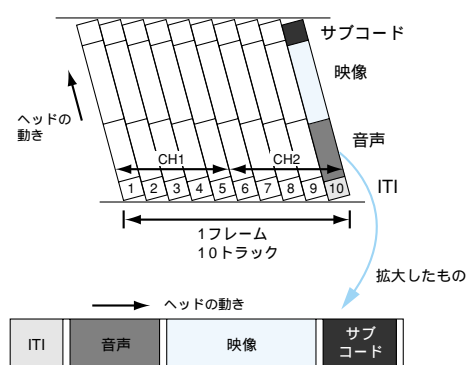
16bitモードでは、DATと同等の高音質で記録することができます。

12bitモードでは、音声トラックを2つに分けて(ステレオ1+2)、アフレコ編集やミックスダビング編集などができます。

### サブコード

デジタルビデオテープは、映像・音声信号のほかに、タイムコードや録画時の日付、フォトショット用インデックス信号などを記録することができます。サブコードはこれらのデータを記録している部分です。

デジタルビデオテープの記録方式



インサート アンド トラック インフォメーション  
ITI: Insert and Track Information

## ドロップフレーム(カウンタ修正)

NTSC方式のタイムコードのフレーム(f)値は、1フレームが約1/30秒にあたるため、長時間記録していると、実時間との時間のずれが生じてきます。

ドロップフレームは、0、10、20、30、40、50分を除く毎分の00秒の時に、00フレームと01フレームをとばして、この誤差を自動的に補正する働きです。

## 入力切替

本機と接続する外部機器の入力チャンネルの切替のことです。本機の入力切替ボタンで、チューナー、外部入力(L1~L3)、DV入力を選ぶことができ、切り換えられた映像がモニターに映ります。アフレコ編集やAVインサート編集のときは、DV入力での編集ができません。外部入力に切り換えてください。

## フレーム

ビデオの映像は、映画のフィルムと同じように連続した静止画の集まりで動きが作られています。その静止画の数は1秒に30枚あり、フレームはその静止画1枚のことです。NTSC方式のタイムコードの1フレームは、約1/30秒にあたります。

## DV端子

デジタルビデオ機器の映像・音声データの入力/出力を行うための端子です。

映像・音声データはDVケーブルを通じてデジタル信号のまま送られるため、ダビングを行っても、画質や音質の劣化はほとんどありません。また、機器の状態により信号の流れる方向を自動的に判断するので、従来の映像・音声コードのように入力/出力に応じて端子の接続をつなぎ変える必要がありません。

このほか、本機のDV端子では編集の制御信号も送ることができます。DV端子の付いた当社製のデジタルビデオ機器を再生機として使うと、DVケーブル1本の接続だけで、次の編集が行えます。

- ダビング編集 アッセンブル編集
- ビデオインサート オーディオインサート
- (AVインサート、アフレコ編集、ミックスダビング編集は、DVケーブルのみの接続ではできません)

DV端子で接続して編集したときは、映像・音声端子の場合と比べて一部機能が異なります。

- 再生機側からの音声を、録画機側でレベル調整して録音することはできません。
- 2カ国語放送などの二重音声(主/副)が録音されたテープを再生した場合、音声切替(主/副)の設定に関係なく、主音声と副音声の両方が出力されます。
- 再生機側の元のサブコードデータ(記録日付情報、フォトショットインデックス信号など)は、そのまま録画機側にコピーされます。(タイムコードはコピーされません)
- 録画機側に記録される音声モード(12/16bit)は、再生機側に記録されている音声モードと同じになります。(音声モードを変えて記録したい場合は、DV端子ではなく映像・音声端子に接続してください)

## SP/LPモード

デジタルビデオのテープ速度には「SP」と「LP」の2種類があります。

- SPは、Standard Play(標準)を、
- LPは、Long Play(長時間)を意味します。LPモードは、SPモードの記録時間より1.5倍長く記録することができます。SPモードと比較しても画質の劣化はありませんが、他のビデオ機器で再生したときや、スロー/コマ送りのときにモザイク状のノイズが出るなど正常な再生ができない場合があります。また、LPモードで記録されたテープには、インサート、アフレコ、ミックスダビング編集はできません。

# テープトレード機能

本機と当社製のデジタルビデオカメラをシステムコードとDVケーブル（映像・音声信号を送るケーブルとして）で接続してプログラム編集をするときは、本機を使って再生機側テープの編集点設定操作も行うことができます。

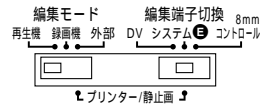
再生機側の機器動作に依存することなく、編集点の設定に大切なジョグ/シャトルを使った操作が、同じ操作感覚で簡単にできます。

必ず再生機と本機を接続した状態で行ってください。（☞11）

この機能を使ってAVインサート、アフレコ編集、ミックスダビング編集はできません。

## 再生機側テープの設定をする

- 再生機側に使うテープを本機に入れて、本機のスイッチを次の通り設定する

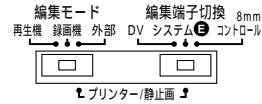


- 再生機側のプログラムを登録する  
(30～37ページのプログラム編集の手順をごらんください)

- 再生機側に使うテープを本機から取り出し、再生機側のデジタルビデオカメラに入れる  
(デジタルビデオカメラを再生できる状態にしておいてください)

## 録画機側テープの設定をする

- 録画機側に使うテープを本機に入れて、本機のスイッチを次の通り設定する

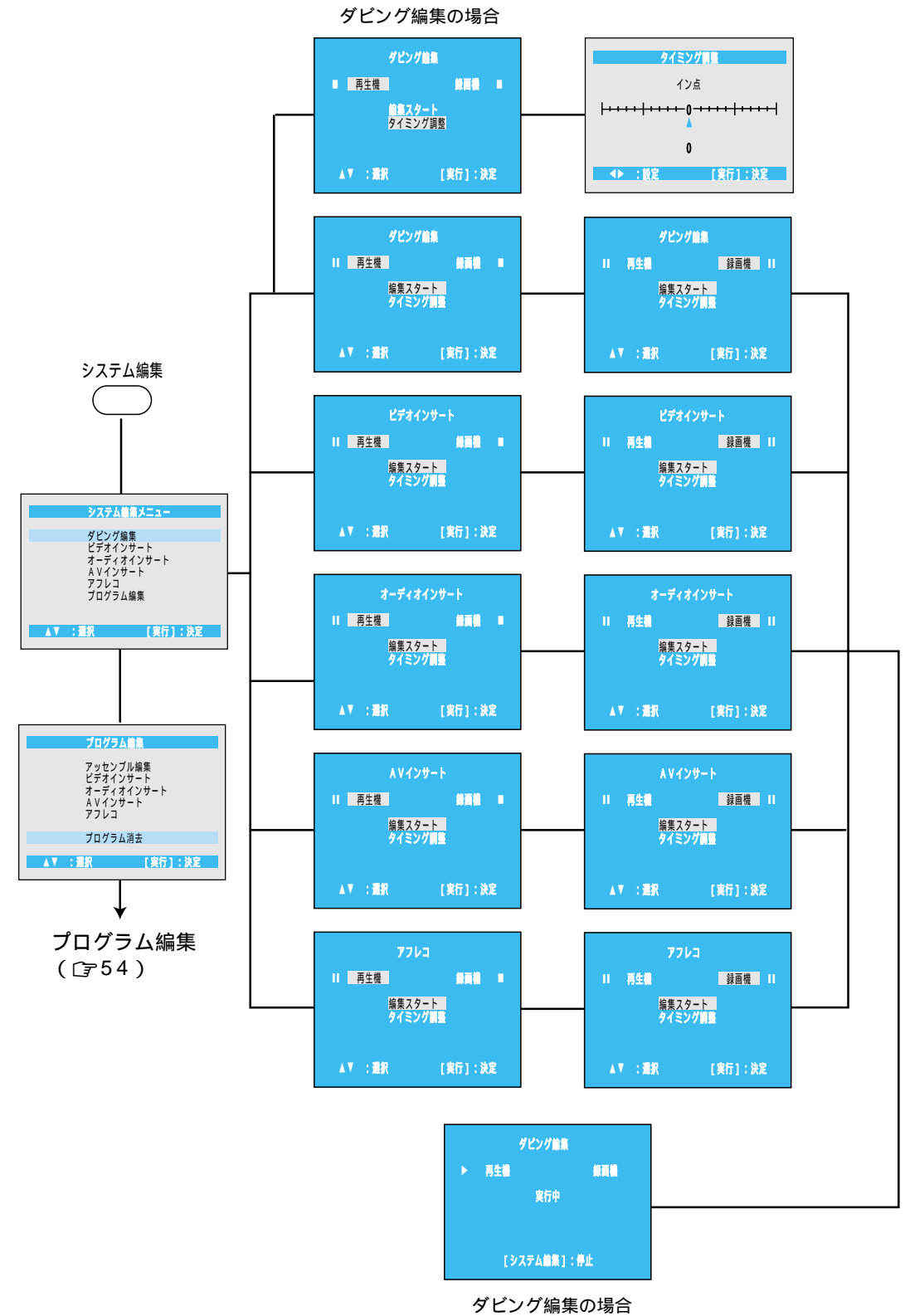


- 録画機側のプログラムを登録する  
(30～37ページのプログラム編集の手順をごらんください)

- 登録したプログラムを実行する  
(30～37ページのプログラム編集の手順をごらんください)

# 編集操作の流れ

## システムマニュアル編集



テープトレード機能  
編集操作の流れ

その他



# 索引

## ア行

アッセンブル	4
ワンタッチアッセンブル	18
プログラムアッセンブル	30
アフレコ	6
ダイレクトアフレコ	16
ワンタッチアフレコ	20
システムアフレコ	28
プログラムアフレコ	38
インサート	4、5
(ビデオインサート、オーディオ インサート、AVインサート)	
ダイレクトインサート	16
ワンタッチインサート	20
システムインサート	26
プログラムインサート	34
オーディオインサート	5
音声ステレオ	15

## カ行

外部入力録画	基本編-56
カウンタ修正	15、51

## サ行

接続	
編集制御端子のあるビデオと	
DVケーブルで	8
システムコードで	10
LANCコードで	12
編集制御端子のないビデオと	
本機が録画機るとき	
基本編-54	
本機が再生機るとき	
基本編-55	

## タ行

タイムコード	7、50
ダビング	4
ダイレクトダビング	16
システムダビング	24
テープカウンター	50
テープトレード機能	52

## ハ行

ビデオインサート	4
プログラム編集	
プログラムアッセンブル	30
プログラムインサート	34
プログラムアフレコ	38
プログラムの確認、変更、消去	42
編集タイミング調整	
システムマニュアル編集時	44
プログラム編集時	45

## マ行

ミックスダビング	6
ダイレクトミックスダビング	16
ワンタッチミックスダビング	22

## ラ行

リハーサル	37、41
レビュー	33、37、41

## ワ行

ワンカット録画	15、基本編-52
ワンタッチダビング	基本編-57
ワンタッチ編集	
ワンタッチアッセンブル	18
ワンタッチアフレコ	20
ワンタッチインサート	20
ワンタッチミックスダビング	22

## アルファベット順

AVインサート	5
DV端子	51
SP/LPモード	51

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

ビデオシステム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

